

一八 穀盜科 Osmiidae

(Trogositidae)

世界共有。

黒色。觸角の基部、腹面節及び跗節は赤褐色。體長五分内外。これは朽木にて捕獲し得べしと雖も稀なり。

分布 樺太、北海道、本州。

オホコクヌスツト……………(一九六)

Tennochilus japonica Keitt.

♀



體は光澤ある黒色。跗節は褐色。體長四分八厘

内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、小蠹蟲を捕食するを以て有益なり。

分布 北海道、本州。

ナミコクヌスツト(コクヌスツト)……………(一九九)

Tennochilus mauritanica L.

♀



體は褐色乃至赤褐色。體長二分六厘内外。これは米穀に有害なる種類にして、又樹皮下に在て材質部をも食害す。最近砂糖の中にも発見せられたり。

觸角十一節、稍、連鎖狀を呈し、複眼前方の下方より出で、末端の三節は太く、鋸齒狀をなす、第一節大なり。大臑は太く、少しく内方に曲り、外側は突出す。小臑は四節、末端節長く、圓柱形を呈し、其末端少しく細し。前胸背前縁の兩側は多少突出す。脚短かく、前肢の基節は圓柱形にして、横置せられ、中肢の基節球形、跗節は五節より成り、第五節は大にして、長く、二個の長爪あり、前肢の脛節端に一鈎ありて尖れり。多くは扁平なる種類にして、樹皮下に多く、又厨房にありて穀物を食害し、時に他蟲を捕食して有益なるものもあり。本邦學名を有するもの十數種あり。



ヒラシテモ
ドキ……………(一九七)

Grynocheilus

pinus japonica

tenno Keitt.

體は光澤ある

一九 大木吸科 Helotiinae

觸角十一節、末端の三節は杓子狀に膨大し、前頭は突出す。上唇は隠れて見えぬ。大臑は大きく、末端は鋭尖にして二分す。小臑及び下唇の末端節は圓柱形、末端は少しく細く、截斷狀に終る。複眼は圓形。前中兩肢の基節は球形、跗節は發達して少しく弓狀に曲り、跗節は五節、第五節は他の四節を合したるものより長し。本邦に産するもの八種あり。

ミドリオホキスヒ……………(二〇〇)

Helota ceropunctata Leav.

頭部、前胸背の外縁、小楯板、腿節の一部及び脛節は青銅色にして金綠色の光澤を有す。體長一分七厘内外。これは樹液に捕



得べしと雖も稀なり。
分布 北海道、本州。

テウセンオホキスヒ……………(二〇一)

Helota fulviventris Kolbe

♀



體帶銅藍色。腹節は淡赤色。前胸背の兩側は鋸齒狀。脚は光澤ある黒色若くは黒褐色。體長四分六厘。これは稀なり。同じく樹液を吸收す。

分布 四國、朝鮮。

ヨツボシオホキスヒ……………(二〇二)

Helota gamata Gorham

♀



黒褐色。脚及び腹部は黄褐色。觸角は赤褐色。翅鞘の斑紋は黄色。體長四分五厘内外。これは札幌地方に最も普通なる種類にして、樹液を吸收す。

分布 北海道、本州、四國、九州。

ムナビロオホキスヒ……………(二〇三)

Helota japonica Ohta



ツマアカオホキスヒ……………(二〇四)

Neohelota timakata Ohta

♀

青銅色。複眼の内方、頭部の前縁、前胸背の外縁、翅鞘の基部及び小楯板は金綠色。觸角は赤褐色。末端の數節は暗色。體長三分六厘。これは臺灣に産するも少ない。

分布 臺灣。

二〇 擬木吸科

Byturidae

觸角は十一節、鋸齒状、末端の三節は棍棒状、前胸下に深き溝ありて、觸角は其内に嵌入す。上唇の前縁は圓く、大腮は短、末端は二分せず、小腮は二葉に分れ、小腮の末端節は大にして斧状を呈す。跗節五節、第三節は葉状をなす。本邦に産するもの八種あり。

♂



角は赤褐、先端の三節は黄褐。上部は灰黄色の短毛を密生す。體長一分三厘。これは北海道に産するもの少し。

分布 北海道。

ハヒロキスヒモドキ……………(1107)

Byturus tomentosus F.

♂



黒褐。口部、前胸背の兩側、翅鞘端、觸角及び脚は褐色。腹節は赤褐。全面灰白毛を以て蔽はる。體長一分三厘。これは樺太に稀ならず。

分布 樺太、本州。

ムナグロキスヒモドキ……………(1108)

Tetobyturnus shibakawai Ohia

頭部及び前胸背は黒色、翅鞘は赤褐。上部は黄白色の短毛を密生す。脚及び觸角は赤褐色。體長一分五厘内外。これは本州に産するもの少ない。

♂



分布 本州。

ツグロキスヒモドキ……………(1105)

Byturus atricollis Keitt.

♀



赤褐。口部、觸角、脚及び後端の二、三の腹節は褐色。前胸背は黒褐。黄色の短毛を密生す。

分布 本州。

サビイロキスヒモドキ……………(1106)

Byturus ochraceus Ohia

暗褐色。頭部、前胸背及び翅鞘は帯赤褐色。觸

二一 出尾蟲科 Nitidulidae

觸角十一節、稀に十節、末端の三節は球桿状をなして少しく平たく、複眼の前方より起る。前頭は突出し、上唇は往々隠れて見えず、大腮は鈎状を呈し、兩方に細毛を装ふ。前中兩肢の基節は卵形、横置せられ、脚短、腿節及び跗節端は膨大し、跗節甚だ小、五節より成り、稀に雄に限り後跗節の四節なることあり。腹節は五節、皆自在に動く。花蜜若しくは樹液を吸収す。本邦に産するもの數十種あるも、微小なる爲め、注意せざれば捕獲困難なり。

マルケシキスヒ……………(1109)

Atarphia quadrangulata Keitt.

♀



體は暗褐、觸角上唇、前胸の周圍及び脚は淡褐。翅鞘の斑紋は黄褐。前胸背に黄毛を粗生し、後縁に淺き二横環あり。體長一分乃至一分二厘。これは本邦普通の種類にして、樹液を吸収す。

分布 北海道、本州。

分布 北海道、本州。

クロハナケシキスヒ……………(1110)

♀



體は黒色。全面灰色毛の斑紋を装ふ。觸角は黒色、末端の三節は膨大す。脚は黒色、跗節端及び爪は黄褐。體長一分二厘内外。これは花に普通なる種類にして、殊に蒲公英に多し。

分布 北海道、本州、西比利亞。

ヨツボシマルケシキスヒ……………(1111)

Cybebranus variegatus Herbst

♀



黄褐、黄褐色を密生す。前胸背に暗褐の四紋ありて、弓状に横列す。翅鞘の兩側は暗褐、翅底の淡色なるものあり。體下及び脚は黄褐。體長一分五厘。これは樹液に捕獲し得べし。

分布 北海道、本州。

クロケシキスヒ……………(1112)

Cybebranus ater Herbst

♀



光澤ある黒色。觸角の球桿及び跗節は赤褐。頭部及び前胸背の兩側に灰色の長毛あり。體下は黒色。脚は暗褐。體長一分四厘。樹液に集来すれども餘り多からず。

分布 北海道、本州。

ヒラタケシキスヒ……………(1113)

Epuraea funeraria Keitt.

♀



體は黒色、長楕圓形にして、扁平なり。觸角、兩肢、大腮、上唇及び脚は赤褐。前胸背の側縁は赤褐、後縁の兩側に各一箇の凹陥あり。體下は黒褐。體長一分四厘。樹皮下に捕獲し得べし。

分布 北海道、本州。

コヨツボシケシキスヒ……………(1114)

子 *Glyptotrochilus japonicus* Reitt. ヨツボシケシキ



本端二分すれども、廣く分離せず。翅鞘の斑紋殊に翅底にあるものは甚だ大なり。體長二分内外。樹液に集來すれども、稀なる種類なり。
分布—北海道、本州。

子 *Glyptotrochilus guttatus* F. キボシケシキ



體は褐色。翅鞘の四紋は黄色。觸角は黄褐、末端の卵形に膨大せる部分は黒褐。前胸背尾端及び脚は赤褐。各腹節の後縁は黄色。體長二分内外。これは樹液に集る普通種なり。
分布—北海道、本州、歐洲。

子 *Physoronia bilberi* Reitt. キボシホネムシ



體は暗褐。觸角、大腮、上唇、前胸背の兩側、翅鞘の斑紋及び脚は黄褐。全體灰黄の短毛を裝ふ。翅鞘は長くして尾端を蔽ひ翅鞘の三分の一は黄色、殘部は黒褐。體長一分内外。これは動物の屍骨に普通なり。
分布—北海道、本州。

子 *Glyptotrochilus japonicus* Motsch. ヨツボシケシキ



體は光澤ある黒色。觸角は細く、暗黄の短毛を密生す。小腮は黄色。小腮體は赤褐。前頭及び後頭は赤褐。前胸背の點刺中或るものは短黒毛を生ず。翅鞘の斑紋は赤色。體下及び脚は黒褐、黄色の短毛を裝ふ。體長三分五厘。これは南日本に多き種類にして、北海道には産せず。
分布—本州、四國、九州、支那。

子 *Glyptotrochilus rufiventris* Reitt. アカハラケシキ



體は光澤ある黒色。觸角及び兩體は暗黄。翅鞘の二紋は紅色。腹部は赤黄。脚は黒色、跗節は黄色。體長一分八厘内外。これは樹液に集來する普通種にして、札幌地方に多し。
分布—北海道、本州。

子 *Physoronia explanata* Reitt. ナカモンホネムシ



黒褐。大腮、觸角、脚、前胸背の兩側、翅鞘の中央にある共通の大紋並に翅鞘の周圍は赤褐。前胸背の後縁に三四陷を具へ、翅鞘には黄白の短毛多し。體長一分一厘内外。これは本州に産する普通種にして、屍骨に集來する微小種なり。

本州。

マダラカハネムシ *Zoronia japonica* Reitt. (三三〇)



黄褐。觸角の球程は暗褐、大腮は赤褐、前胸背の中央に凹凸多し。暗褐紋を散在す。翅鞘にも暗褐紋を散在す。體下及び脚は黄褐。體長一分四厘内外。これは屍骨は普通なる種類なり。
分布—北海道、本州。

三三 扁蝨科 Ctenijidae

子 *Ctenijus coccinatus* Leew. ベニヒラタ



觸角十一節、絲狀若しくは末端の三節は棍棒状を呈す。前、中兩肢の基部は球形、相隔離し、突出せず。後肢の基部は横置せられ、相接す。跗節は五節、時に雄に限り後肢の四跗節なることあり、腹部は五節。體は普通扁平なり。本邦學名を有するもの二十數種あり。多く樹皮下にありて他蟲を捕食し、又室内にありて穀粉に有害なるものあり。
觸角は朱色。大腮は黄褐の剛毛を粗生す。稜状部は黒色。體下は褐色の短毛を裝ふ。脚は黒色、跗節端並に轉節は赤褐。體長(雄)三分五厘、(雌)四分五厘。これは樹皮下に普通なり。幼蟲は食肉性なり。
分布—北海道、本州。

子 *Ctenijus miszechii* Gronv. ルリヒラタ



黒色。翅鞘は青藍色。體下及び脚は光澤ある黒色。體長八分内外。これは大形の種類にして高山に棲息すれども少なし。
分布—本州。

カラフトベニヒラタ (三三二)

子 *Laemophloeus testaceus* F. カクムネヒラタ

黄褐。體下及び脚は黄褐。前胸背の兩側に各一

♀



條の縦隆ありて、後縁角は稍々直角、翅鞘は前胸背より少しく廣く四縦隆あり

體長六厘内外。穀物に普通なる種類なり。
分布—世界共有。

コナヒラタ

Oryzaephilus surinamensis L.

(三三五)

♂



赤褐若しくは黄色。前胸背の中央に三縦隆ありて、兩側には各六個

の鋸状齒あり。體長一分内外。これは穀物、種子、其他干菓子類の害蟲なり。
分布—世界共有。

ヒメヒラタ

Chroeta japonica L.

(三三六)

黒褐。全面短かき剛毛を被ふ。體長一分五厘内外

大草蟲科 *Erotylidae*



外。これは札幌地方に普通なる種類にして、樹皮下に捕獲し得べし。

分布—北海道、歐洲。

觸角十一節、末端の三節は肥大し、側扁。大臑端は普通分岐して突出せず。小臑は二葉に分る。趾節は五節なれども、第四節は第三節下に隠れて判然せず。前肢の基部は球形にして、突出せず。腹部は五節、皆自在に動く。光澤ある種類にして、草叢を以て食とす。農作物を害するものなし。本邦學名を有するもの七十種あり。

カタモンオホキノコ (ムシ)

Anlaechinus japonicus Grotch

♀



體は光澤ある黒藍色。觸角、脚及び體下は黒色。翅鞘に斜傾せる二赤帯あり。體長二分五厘内外。これは東京附近に普通なる種類にして草に捕へ得べし。

分布—本州、四國、朝鮮。

オホキノコ

Eroctostus japonalis Lew.

(三三八)

體は光澤ある黒色。前胸背に大なる黄赤紋を裝

♀



ひ、その中央に四個の黒紋を横列す。翅鞘の肩部及び翅端に近き一紋は黄赤。體長九分内外。これは本邦稀ならざる種類にして、草に捕へ得べし。

分布—北海道、本州。

エゾオホキノコ

Episcapha gorbunni Lew.

(三三九)

♀



體は黒色。翅鞘中の一横帯及び翅底に近き一帯は黄赤、この中に二黒紋あり。

體長五分内外。これは札幌附近に普通なる種類にして、草叢に多し。

♀



體は黒色、翅鞘紋は赤色。翅底に近き赤紋はその中に二個の黒紋を有し、後縁に犬牙状の凹凸あり、後方の赤紋にも凹凸多し。體長五分内外。これは本邦何れの地方にも普通なる種類にして、前種同様に草に捕へ得べし。

分布—日本全土、朝鮮、臺灣。

ヨツボシオホキノコ

Eutripilax tuberculifrons Lew.

♀



體は光澤ある黒色。前胸背及び腹部は黄色。前胸背に圓形の四黒紋と稜状部の前方に一黒紋とを具ふ。體長二分五厘内外。これは草に

稀ならざる種類なり。

分布—北海道、本州。

クロオホキノコ

Neotripilax atrata Lew.

♀



全體光澤ある黒色。體長二分内外。これは草に捕へ得べしと雖ども稀なり。

分布—本州。

アカオホキノコ

Neotripilax lewisii Grotch

♀



體は赤褐、光澤あり。觸角は黒色。翅鞘に判然せざる點刻列を具ふ。脚は黒色。體長二分内外。これは東京附近に多く、草に捕へ得べし。

分布—本州。

アラバオホキノコ

Tripilax amoenus Solsky

(三四)

♀



體は黒色。前胸背の兩側は赤黄。翅鞘は光澤ある黒藍色、少しく綠色を帯ぶ。體長二分内外。これは樺太に稀ならず。同じく藁に捕へ得べし。
分布 樺太、西比利亞。

二四 木吸蟲科

Cryptophagidae

觸角十一節、稀に十節、末端の二節乃至四節は太き棍棒狀、稀に基部より次第に棍棒狀をなすものあり。上唇は普通突出す。大腮は大、短かく、其基部に隆起を具へ、其上に更に凹線を有す。跗節は五節、雌の後肢には四跗節を具へ、第一節の下方には細毛を裝ふ、二爪あり、前肢の基部は球形、後肢の基部は互に相隔離す。腹部は五節、第一節は長大、楕圓形若しくは卵形。何れも小形種にして、普通前胸背の兩側に波狀の突起あり。翅鞘に光澤ある細毛を裝ひ、樹液若しくは菌叢を以て食とし、又時に花蜜を以て食とするものあり。本邦學名を有するも二十數種あるも、何れも微小なるが爲め注意せざれば捕獲し難し。

ケブカキスヒ

(三三)



Crypto-phagus phagus Crypt. 赤褐乃至

二五 姬花蟲科

Phalacridae

觸角十一節、端直、末端の三節は大、長く、棍棒狀をなす。上唇は往々隠れて見えす。大腮端は鈎狀をなして尖り、内方に細毛を裝ひ、下唇鬚は多少肥大す。前肢の基部は圓柱形、後肢の基部は半圓柱形、跗節は五節、第一節及び第四節は甚だ小、稀に後跗節の四節なることあり。卵形の微小種にして、花蜜を吸收し、又菌叢を食す。本邦學名を有するもの數種あり。

フタホシヒメハナムシ

Phalacrus bimaculatus Mats. (三三六)



♀ 光澤ある黒色。翅鞘の斑紋は紅色。翅端は淡黄褐。觸角及び脚は黄褐、跗節は少しく淡色。體下は暗褐。體長七厘内外。これは本州に産する普通種なるが、微小なるが爲め捕へ難し。
分布 本州。

二六 姬薪蟲科

Lathridiidae

觸角八節乃至十一節、末端は棍棒狀。大腮の末端に二齒を有するものあり。下唇鬚三節、稀に二節。跗節は三節、稀に前跗節の四節なることあり、前肢の基部は球形。腹部は五節より成る。皆、微小の種類にして、樹皮下に多く、又薪木の上に目撃すること多し。本邦學名を有するもの數種あり。

ヒメマキムシ

Lathridius chinensis Reitt. (三三七)



♀ 赤褐。觸角及び脚は黄褐。體長七厘内外。これは普通なる種類なれども、微小なるを以て注意せざれば捕獲し難し。
分布 樺太、北海道、本州。

二七 小藁蟲科

Mycetophagidae

觸角は十一節、末端に至るに従ひ次第に膨大して棍棒狀をなす。上唇は發達して大腮を蔽ふ。大腮は鈎狀に曲り、末端には二齒を有し、基部に突起あり。小腮は二葉に分れ、小腮鬚狀にして、太く、四節より成る。脚は四跗節、稀に五跗節なることあり。前肢の基部は球形、後肢の基部は圓柱形。腹部は五節。何れも微小種にして、藁、稀に樹液に捕獲し得べし。本邦學名を有するもの十數種あり。

ヒライコキノコ(ムシ)

Mycetophagus hillerianus Reitt. (三三八)



栗色。黄色の短毛を密生す。觸角の膨大せる部分は褐色、殘部は黄褐。翅鞘の斑紋は黄色。脚は黄褐。體長一分四厘内外。これは藁に普通なり。
分布 北海道、本州、九州、西比利亞。

二八 細堅蟲科 Colydiidae

觸角十一節、稀に八節乃至十節、末端は棍棒狀若しくは球桿狀。大腮及び兩腿は甚だ短。前中兩腿の基部は球形、後腿の基部は横置せられ、半圓柱形をなす、四跗節あり。腹部は五節、其内初めの三節乃至四節は癒着す。多くは樹皮下にありて糞を食す、又樹液を吸飲するものあり。本邦學名を有するもの數種あり。

ヒラタホソカタ(ムシ)……………(三九)

Colobiscus marginatus Er.

♀



暗褐。觸角、前頭、前胸背及び翅鞘の周縁赤褐、全面に灰白毛及び灰色の鱗毛多し。脚は赤褐、灰白の鱗毛多し。體長一分四厘内外。北海道に普通種なる種類にして、樹液に捕へ得べし。

分布 北海道、西比利亞。

クビカクシホソカタ

Pseudocryptus lewisi Vahl.

(三〇)

♀



暗褐。脚は暗褐、跗節は赤褐。體長一分六厘内外。これは朽木に稀ならざる種類なり。

分布 北海道、本州。

二九 偽瓢蟲科 Endomychidae

Endomychidae

觸角は十一節、末端は棍棒狀、複眼の中間に起り、頭下に伸縮する事能はず。大腮は弓狀に曲り、末端の二分せるものあり。小腮は二葉に分る。跗節は四節、第三節は第二節の基部に隠れて判然せず、爪に齒を缺く。翅鞘に瓢蟲に類する斑紋を有すれども、何れも長形、稍平たく、前胸の兩側には縱溝を有するを以て、容易に區別し得べし。本邦學名を有するもの十數種あり。何れも植物性の腐敗物を食し、時に馬糞に發見し得べし。

ヨツホシテンタウタマシ……………(三四)

Ancylopus melanoccephalus Oliv.

♂



頭、觸角及び脚黑色。翅鞘の斑紋は黑色。脛節及び跗節は黒褐、爪は黄褐。體長一分六厘。これは牧草下に捕獲し得べし。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

ルリテンタウタマシ……………(三三)

三〇 瓢蟲科 Coccinellidae

Coccinellidae

觸角十一節なれども、稀に九節若しくは八節なる事あり、末端は棍棒狀を呈し、複眼の前方に起り、頭下に伸縮し得べし。大腮の末端稀に二分乃至四分すること事あり。小腮は二葉に分れ、小腮の末端は斧狀を呈し、前腿の基部は圓柱形、脚は伸縮に適し、爪は有齒若しくは分枝せり。腹部は五節、皆自在に運動す。本邦學名を有するもの約百種あり。大部は好蟲、介殼蟲を捕食して有益なるも、稀には二十八星の如く食草性のものあり。

アミダテンタウ……………(三五)

Ambia tricolor Har.

♂



體は黄褐。頭部並に前胸背は赤褐。翅鞘は黄褐、斑紋は赤褐並に黑色。脚並に觸角は黄褐。複眼は黑色なり。體長一分四厘。これは本邦餘

Cyananizus gorhami Laev.



黒色。翅鞘は美麗なる青藍色、第三跗節の末端並に爪は黄褐。體長一分六厘内外。これは草に捕へ得べし。

分布 北海道、本州。

キイロテンタウタマシ……………(三四)

Sadlia japonica Gorb.

♀



黄色乃至黄褐。觸角黑色、基部の三節は暗黄。頭及び前胸背は黄褐。脚は黒褐なり。體長一分二厘。これは樟樹に普通なり。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

キボシテンタウタマシ……………(三四)

Synhiles japonensis Gorb.



光澤ある黒色。觸角は基部を除き褐色。前胸背の兩側は

り多からざる種類たり。
分布 本州。

ジフニホシテンタウ……………(二四六)



子
Galvia duodecimmaculata Gahl.
黒色。頭頂、前胸背の前縁及び翅鞘の斑紋は淡黄色。體長一分三厘。これは本邦普通の種類なり。
分布 北海道、本州、歐洲。

キイロテンタウ……………(二四七)



子
Calvia 14-guttata L.
暗黄。頭部、前胸背及び翅鞘上にある斑紋は黄白。體長一分八厘二分。これは果樹園にありて好蟲を食す。
分布 北海道、本州、歐洲。

アカホシテンタウ……………(二四八)



子
Chilocorus rubidus Hope
黄色。體上は光澤ある黒褐。翅鞘の斑紋は黄赤色

なり。體長二分五厘内外。これは介殼蟲を捕食して有益なり。何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、九州。

ヒメアカホシ……………(二四九)



子
Chilocorus similis Ross.
光澤ある黒色。翅鞘の斑紋は紅色なり。體長一分五厘内外。これは介殼蟲を食す。本邦に於て最も普通なる種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

アイヌテンタウ……………(二五〇)



子
Coccinella sibiu Lew.
體は黒色。頭部並に翅鞘は黒色。斑紋は黄色。翅鞘は赤褐。斑紋は黒色。體下及び脚は黒色。後者には黄白

の剛毛多し。體長一分六厘内外。これは北海道には餘り多からざる種類なり。
分布 北海道。

ナナホシテンタウ……………(二五一)



子
Coccinella brunckii Muls.
黒色。翅鞘は橙黄色。頭頂の斑紋は淡黄。前胸背の前縁は淡黄。翅鞘の斑紋は黒色。體長二分六厘。これは好蟲を捕食する普通種なり。
分布 北海道、本州、四

チシマテンタウ……………(二五二)



子
Coccinella nivicola Muls.
體は黒色。頭部並に前胸背は黒色。斑紋は黄色。翅鞘は赤褐。斑紋は黒色。脚は黒色。跗節は暗色。觸角は赤褐なり。體長二分四厘内外。これは千島に産するも、多からざる種類なり。

千島、西比利亞。

カラフトテンタウ……………(二五三)



子
Coccinella sachalinensis Ohta
黒色。前胸背の前縁角、翅鞘は赤褐。翅鞘の斑紋は黒色なり。體長一分五厘。稀太に普通の種類なり。

類なり。
分布 稀太。
附言 これに左の一變形あり。
マダナ形 ♀ magna Ohta



本變形は翅鞘基部の二紋連結して帶状をなせるを以て原種と區別せらる。本種はカラフトイチゴハムシの幼蟲並に卵を食す。

トホシテンタウ……………(二五四)



子
Epilachna admirabilis Orotch.
黄色。前胸背は黒色。翅鞘は黄褐。翅鞘の斑紋は黒色。稜状部は黄色なり。體長二分五厘内外。これは何れの地方にも普通なるも、北海道に産せず。食草性にして、種々の雜草を食す。
分布 本州、九州、四國。

オホニシフヤホシ……………(二五五)



子
Epilachna niponica Lew.
橙黄色。斑紋黒色。脚は黄色。體長二分五厘一分八厘。茄科及び葫蘆科植物の害蟲にして、北海道に普通なり。
分布 北海道、本州。

ニシフヤホシ……………(二五六)

Epilachna 28-maculata Motsch.

黄褐。斑紋は黒色。脚及び體下は淡色。體長二分五厘。茄科、葫蘆科其他二十餘科の植物を食害する大害蟲なり。
分布 本州、四國、九州



臺灣、朝鮮、滿洲。

ジフサンホシテンタウ……………(二五七)



子
Higodamia 13-punctata L.
黒色。體上は橙黄色。頭部前胸背及び翅鞘の斑紋は黒色。體長二分内外。これは本邦普通の種類なり。
分布 北海道、本州、歐洲。

カメノコテンタウ……………(二五八)



子
Xithone hexaspilota Hope
黒色。前胸背の斑紋は黄色。翅鞘の斑紋は黄赤色。體長四分四分五厘。これは葉蟲の幼蟲を捕食する有益の瓢蟲

にして、何れの地方にも稀ならず。

分布 北海道、本州、九州。

アトホシヒメテンタウ……………(三九九)

Neplus bipunctatus Kugel



雌 體は黒色。翅鞘は黒色、斑紋及び翅鞘の後縁は帯黄赤色。觸角、口部及び脚は帯黄赤色。前腿節は時に基部のみ暗色なることあり。體長六厘半。これは介殼蟲を捕食するも、微小なる爲め人の注意を惹かず。

分布 北海道、本州、四國、九州、歐洲。

マルヒメテンタウ……………(三六〇)

Parachitostichus ovatus Ohta



雌 體は赤褐。頭部並に前胸背は赤褐。翅鞘は黒色、其外縁は赤褐。觸角並に脚は赤褐。複眼は黒色なり。體長七厘内外。これは臺灣にて餘り多からざる種類なり。

分布 臺灣。

ナミテンタウ(テンタウムシ)……………(三六一)

Pyelamatis asyrius Pall.



雌 黄色。翅鞘の斑紋は黒色。これは頗る變異性に富み、其斑紋は一定せず。體長二分二分五厘。本邦何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、支那。

ツマアカヒメテンタウ……………(三六二)

Pullus doratonioides Weise



雌 體下は黒色。頭部並に前胸背は黄褐。翅鞘は黒色、その後縁は黄褐。觸角並に脚は黒色。前胸並に腹端は黄褐。體長六厘内外。これも亦介殼蟲を捕食する普通種なるが、小形なる爲め捕へ損ふものなり。

分布 本州、四國、臺灣。

クロヒメテンタウ……………(三六三)

Pullus ferrugatus Moil.



雌 黒色。頭部及び前胸背は赤褐。前胸背の斑紋は黒色。翅鞘は黒色、その末端は赤褐。脚は赤褐なり。體長一分内外。これは北海道及び本州に産する普通種なるが、前種同様に介殼蟲を捕食して有益なり。

分布 北海道、本州。

コクロヒメテンタウ……………(三六四)

Pullus luharis Motsch.



雌 體は黒色。頭部は赤褐。前胸背並に翅鞘は黒色、翅鞘端は赤褐。脚及び最後の腹節は赤褐。體長八厘内外。これは本邦稀ならざる種類なり。同じく介殼蟲を捕食する有益種

なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

アカスチヒメテンタウ……………(三六五)

Pullus niponiensis Law.



雌 體は黒色。頭部並に觸角は赤褐。前胸背は黒色、其兩側は赤褐、翅鞘は赤褐、接合部並に基部は黒色。脚及び腹節は赤褐なり。體長七分内外。これは本邦最も普通の種類にして、同じく介殼蟲を捕食す。

分布 本州、九州、四國、臺灣。

デメヒメテンタウ……………(三六六)

Pullus rectus Ohta



雌 體は黒色。頭部並に前胸背は黄褐。翅鞘は黒色、翅鞘端は赤褐。觸

分布 九州。

エゾヒメテンタウ……………(三六七)

Pullus sapyrensis Ohta



雌 體は黒色。頭部並に前胸背は黒色。口部は赤褐。翅鞘は黒色、斑紋は赤褐。脚は赤褐。體面は灰白色の短毛にて蔽はる。複眼は黒色なり。體長六厘内外。これは稀なる種類にして、北海道外よりは未だ知れ居らず。

分布 北海道。

ベニヘリテンタウ……………(三六八)

Rodolia himalata Motsch.



雌

黒色。前胸背の兩縁は赤黄。翅鞘は赤色、斑紋は黒色なり。體長一分六厘。これは本州及び九州に産すも、北海道には産せず。介殼蟲を捕食す。

分布 本州、九州、滿洲。

オホテンタウ……………(三六九)

Synonyella grandis Thunb.



雌 鞘甲様の暗黄色。前胸背及び翅鞘の斑紋は黒色。脚は黄褐若くは暗褐なり。體長四分四分五厘。これは本州以南に産するものにして、葉蟲の幼

分布 本州、九州、琉球、臺灣。

ムラセテンタウ……………(三七〇)

Vibinia murasei Ohta

雌 黄褐。前胸背及び翅鞘の斑紋は黄色。體長二分六厘。これは樺太に産すれども稀なるが如し。



分布 樺太。

三二 鱗節蟲科 Dermestidae

觸角は五節乃至十一節、短かく、末端の三節は棍棒状若しくは球桿状、前胸下に溝ありて其内に觸角を藏む。頭は伸縮に適す。前肢の基部は圓錐形、中肢の基部は卵形、傾斜す、後肢の基部は扁平、廣し、短形、伸縮に適し、五跗節あり。腹部は五節、自在に動き得べし。多くは動物性の食物を嗜好し、時に蠶繭に大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの十數種あり。

シモフリマルカツラ (ブシムシ) (三七二)

Anthrenus fuscus Oliv.



暗褐。觸角は黄褐。前胸背及び翅鞘に白色の鱗毛を散在す。翅鞘の一部及び脛節は赤褐。體下には灰白の鱗毛多し。體長六厘—八厘。これは微小種にして

動物性の標本に有害なり。
分布 北海道、本州、九州、歐洲。

シラオビマルカツラ (三七三)

Anthrenus japonicus F.

褐。脚は黒褐、灰白毛多し。體長二分五厘内外。これは少なし。
分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣、朝鮮、西比利亞。



分布 本州、朝鮮、歐洲。

ヒメマルカツラ (三七三)

Anthrenus verkasai L.



黒色。觸角は黒色、黄色及び白色の鱗毛あり。翅鞘には黄色と白色の鱗毛よりなる三帯あり。脛節及び跗節は赤褐乃至暗褐。體長八厘—一分。これは動物標本に大害あり。
分布 本州、九州、四國、北海道、朝鮮、臺灣。

ヒメカツラ (三七四)

Attagenus japonicus Reitt.

黒褐。翅鞘の後縁は赤褐。觸角、上唇及び脚は淡黄褐。體長八—九厘。これは沖繩に産する微小種なり。
分布 沖繩。

トビカツラ (三七五)

Dermestes coarctatus Har.



分布 北海道、本州、九州、朝鮮、臺灣。

褐色。觸角は赤褐、末端の三節は黄褐。體上は黄毛を、體下は黄褐毛を密生す。



脚は褐色、脛節及び跗節は赤褐。體長三分内外。蠶繭その他、蠶繭に大害を加ふることあり。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

ケアカカツラ (三七六)

Dermestes tessellatocollis Motsch.



黒色。頭及び前胸背は黄褐、體下に灰白の短毛を密生す。觸角は黄褐、末端の三節は黒

ハラジロカツラ (三七七)

Dermestes vulpinus F.



黒色。觸角黄褐。前胸の前縁及び兩側の毛塊、體下の短毛は白色、稜状部に長

き黄毛と黒毛を密生す。肩部赤褐、黒毛及び白毛を密生す。脚は褐色。體長三分乃至三分五厘。これも蠶繭に大害を興ふることあり、又脛節に有害なり。
分布 本州、九州、臺灣、歐洲。

クロチビカツラ (三七八)

Orphnus pedestris Motsch.



黒褐。頭、胸及び翅鞘は光澤ある黒色、褐色の短毛を裝ふ。

チビケカツラ (三七九)

Trynoides hirtus F.



光澤ある黒褐。前胸背及び翅鞘の接合部は赤褐。栗色の長毛を簇生す。觸角、脚及び體下は赤褐。體長七厘内外。これは本

州に産するも、微小なるが爲め注意せざれば捕へ難し。
分布 本州、歐洲。

三三 圓刺蟲科 Byrrhidae

觸角十一節、稀に十節なることあり、多く棍棒状を呈す。大腮有齒にして、短大、末端は鋭尖。小腮は二葉に分る。跗節は五節、初めの三節は癒着して動かず。頭は常に前胸下に隠る。卵形の種類にして、普通は毛塊若くは刺毛を装ふ。多くは樹液に集來す。本邦學名を有するもの數種あり。

アカツノマルトゲ(ムシ)……………(二八)

Nosodentron fasciculare Oliv.



黒色。觸角は赤褐、球桿は黄褐。翅鞘に五列の黄色毛塊紋ありて、稍々規則正しく排列す。脚は黒褐、基節及び跗節は赤褐。體長一分五厘内外。これは札幌地方に稀ならざる種類なり。

分布—北海道、歐洲。

三三 泥蟲科 Dryopidae

觸角十一節、稀に九節なることあり、絲狀若くは棍棒状、頭の前部に位し、時にその甚だ短かきものあり。上唇は廣くして口部を蓋ひ、又額片上に隠退するものあり。大腮は隠れ、其末端に二齒あり。小腮は二葉に分れ、小腮體四節。下唇體三節。跗節は五節、第五節に大爪を装ふ。後肢の基節は圓柱形、横置せらる。腹部は五節水中にあれども、游泳すること能はず。本邦學名を名するもの四種あり。何れも餘り多からず。幼蟲は水中にありて石上に附着す。

ヒラタドロムシ……………(二八)

Betelnis japonicus Mats.



暗褐、扁平。觸角は黄褐。小腮體は黄褐。前胸背には灰白の短毛多し。翅鞘に黄褐の短毛を密生し、肩部は黄褐。體下は暗褐。脚は黄色、腿節の末端は黒色。體長二分三分。成蟲幼蟲共に水中に棲息す。

ホソドロムシ……………(二八)

Stenelmis foveicollis Schout.



暗褐、少しく緑銅色の光澤を帯ぶ。觸角の基部跗節並に爪は赤褐。前胸背の中央に二個の瘤狀突起を具へ、灰白の短毛多し。これは流川に住す。體長一分内外。岐阜地方に稀ならず。

分布—本州。

三四 牙蟲科 Hydrophilidae

觸角六節乃至九節、棍棒状、短、末端の肥大節は多く葉状を呈し、柄節は長し。小腮は二葉に分れ、小腮體は往々觸角より長く、絲狀にして四節。下唇體は三節。腹部は五節若くは六節。多くは水中に住すれども、稀に獸糞に住するものあり。本邦學名を有するもの數十種あり。

タマガムシ……………(二八)

Amphibius gibbus Illig.



マーテル形 *f. mader* Sharp 子
體は黄褐乃至暗褐、光澤あり。翅鞘には各三條の不明なる暗色紋列を有す。前中の兩脚は黄色、後肢は淡褐。體長一分二厘。これは播州地方の小溝に普通なり。

分布—本州、九州。

ゴマフガムシ……………(二八)

Baranus signatocollis Sharp

頭及び體下は黒色。觸角、兩鬚、脚、前胸背及び翅鞘は暗黄。前胸背の兩側に判然せざる褐色紋あり。翅鞘に黒褐の小紋を散在す。體長一分

フシクチベニコス形 子
f. fuscitarsis Har.



八厘内外。これは本邦何れの池沼にも捕へ得ず。分布—北海道、本州、四國九州、朝鮮。

ヒメゴマフガムシ……………(二八)

Baranus vestitus Sharp



子
體は淡き暗黄。觸角、兩鬚、脚及び體下は淡黄。翅鞘の中央に判然せざる二三の褐紋を装ふ。體長一分四厘内外。これは本州の泥池に普通なるも、北海道には産せざるが如し。

分布—本州。

フタホシチビガムシ……………(二八)

Enochrus (Holeophthalmus) umbratus Sharp



子
體は暗黄。頭頂、前胸背の中央部、翅鞘第七間室の基部の一紋及び體下は黒色。腿節は暗色。體長一分七厘内外。

チビガムシ……………(二八)

Helochares strigatus Sharp



子
體は光澤ある暗黄。體下は黒褐。兩鬚は黄色。後頭は黒色。前胸背の中央は暗褐。翅鞘中央の各一紋は黒色、外縁の不明なる紋は褐色。脚は黄褐。體長一分六厘。これは本邦何れの池沼にも多し。

分布—日本全土、朝鮮、臺灣。

セスチガムシ……………(二八)

Helophorus auriculatus Sharp



子
體は暗黄、光澤あり。頭及び前胸背は少しく濃色、金色を帯ぶ。體下並びに脚は赤褐。腹面の兩側に赤褐の縦紋あり。體長一分五厘内外。こ

れは餘り多からず。北海道に産せず。
分布 本州。

スチヒメガムシ

Hydrobius fuscipes L.

♀



體は黒色。觸角(球桿部は黒色)、兩鬚及び脚は赤褐若くは黄褐色。翅鞘の側縁は赤褐。體長三分五厘内外。これは何れの池沼にも普通なり。
分布 日本全土、歐洲。

マルガムシ

Hydrocyclus laevis Sharp

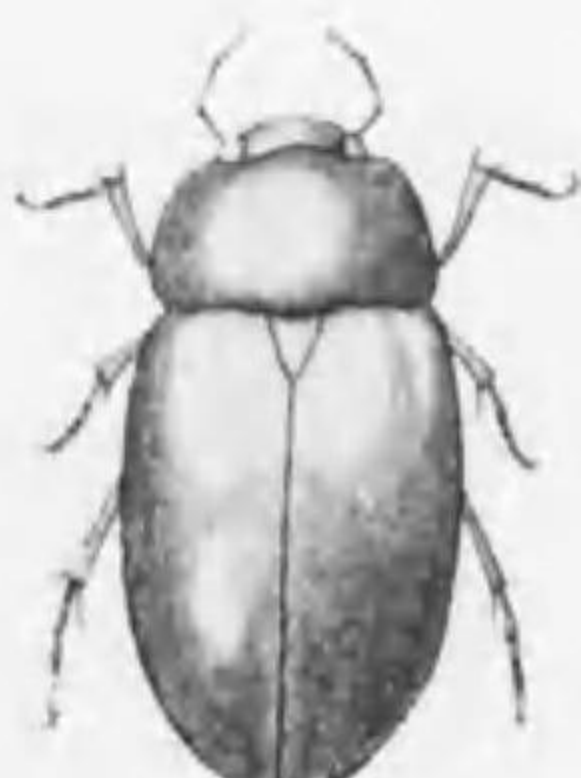
♀



體は黒褐。兩鬚、前胸背、翅鞘の周圍、體下及び脚は褐色。體長二分五厘内外。これは長野附近に普通なり。
分布 本州。

オホガムシ(牙蟲)

Hydrous acuminatus Motsch.



♀
これはエゾコガムシに酷似するも、異なる所は、體は少しく赤味を帯び、兩鬚は黄色、脚は赤褐なるにあ



♀
體は光澤ある黒色。觸角及び兩鬚は黄褐、小鬚は觸角より長し。體長一寸二分内外。これは本邦何れの池沼にも普通なり。
分布 日本全土。

コガムシ

Hydrophilus affinis Sharp

♀

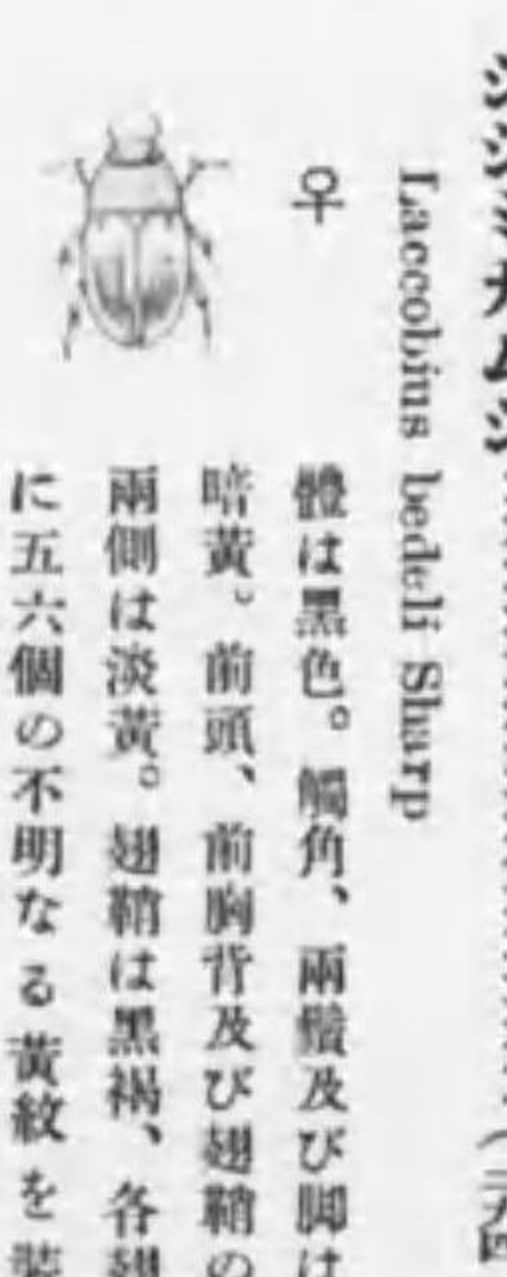


♀
體は黒色。觸角は黄色。下唇鬚は黄褐。體長六分内外。これは札幌地方に産すれども稀なり。
分布 北海道、本州。

エゾコガムシ

Hydrophilus libera Sharp

♀



♀
體は黒色。觸角、兩鬚及び脚は暗黄、前頭、前胸背及び翅鞘の兩側は淡黄。翅鞘は黒褐、各翅に五六個の不明なる黄紋を装

シジミガムシ

Laecolus bedeli Sharp

♀

三五 圓花蚤科 Psephenidae

觸角十一節、複眼前に相近接して出づ。大腮短かく、舌大なり。脚の基節は相隔離し、圓錐形をなして後方に向く、前基節溝の後方は開口す、附節は五節。腹部は五節より成り、皆自在に動く。多くは卵形の小型種にして、或ものは腹節發達して跳躍に適す。花上に捕獲し得べし。本邦學名を有するも十數種あり。

マグソガムシ

Megasternum distinctum Sharp

♀



體は光澤ある黒色。稍々卵形。觸角及び兩鬚は黄褐。翅鞘は少しく赤褐を帯び、翅底の判然せざる一紋並びに翅端は廣く赤褐。脚及び尾節は赤褐。體長一分内外。これは馬糞中に捕へ得べし。
分布 北海道、本州。

マメガムシ

Regimbartia profunda Sharp

♀



體は光澤ある黒色。少しく藍色を帯ぶ。脚は黒褐。體長一分五厘。これは本邦稀ならざる種類なるも、北海道には産せず。
分布 本州、四國、九州。

エンマガムシ

ヒメガムシ

Sphaeridium scutellaeoides L.

♀



體は黒色。翅底の各一紋、翅端の横帯及び後腹節の基部は赤褐。體長二分五厘内外。これは札幌附近に産すれども多からず。
分布 北海道、西比利亞、歐洲。

チヒマルハナノミ

Cyphon puncticeps Kies.

♂



體は黄褐。背面に黄白の短毛多し。觸角は黄色、末端は少しく暗色。頭部は暗褐。脚は淡黄褐。體長七厘内外。これは花上に捕獲し得べし。
分布 本州。

エダヒゲマルハナノミ

Epichelus flabellatus Kies.

♂

體は暗褐。觸角、稜状部、體下及び脚は黄褐。前胸背は褐色、中央は少しく濃色。體長三分五



厩内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布—本州、九州。

ヒゲマルハナノミ *Paralichas querini* White (三〇一)

♀ 體は黒褐。前胸背、後脚部及び尾端は黄褐。前胸背の二紋は黒褐。翅鞘の接合線は暗褐。觸角の末端は黄色。



體長三分三厘内外。これは花上に捕へ得べしと雖も稀なり。

分布—本州、九州。

三六 櫛角蟲科 Rhipiceridae

觸角は複眼の前方より出で、雄にては櫛齒状を呈し、雌にては鋸齒状をなす。前中兩肢の基節は突出し、跗節は五節よりなる。翅鞘は腹部の背面を完全に覆ふ。比較的大形の種類にして、枯木に多し。本邦に産するもの七種あり。



♂ 比脚暗赤褐。雄の觸角は扇狀に近き櫛齒狀、雌にては長形の鋸齒状を呈す。體長三分五厘内外。これは臺灣に産するも稀なり。

分布—臺灣。

クチキクシヒゲ *Sandalus segnis* Law. (三〇四)

♀ 體は黒色、灰色毛を密生す。翅鞘は黄褐乃至黒色、灰色の短毛を疎生す。體長六分内外。札幌附近に普通なる種類にして、櫻の枯木に捕へ得べし。



♀ 全體黒色のもの、前胸背の赤色なるもの背面全體の赤色なるもの等あり。體長五分五厘内外。これは本州に稀なるも、四國阿波地方に普通なり。

分布—本州、四國。

タイワンクビアカクシヒゲ *Horatoera similis* Miwa (三〇三)

前胸背並びに翅鞘は朱色。頭部、觸角、體下及

三七 螢科 Telephoridae (Cantharidae)

觸角十節乃至十二節。大腮短かし。前中兩肢の基節圓柱形を呈し、後基節は横置せられ、互に相近接し、其内方に圓錐狀の突起あり。脛節には距を缺き、跗節は五節なれども、雄に限り前跗節の四節なることあり。腹部は六節乃至七節皆自在に動く。幼蟲は小昆蟲を捕食するを以て、農家に有益なるもの多し。又小形なる貝類を食するものあり。本邦學名を有するもの數十種あり。

クロベニボタル *Chladophorus geometricus* Kiers. (三〇五)

♂ 體は黒色。翅鞘の前半暗赤なるもの多し。前胸背は隆線により七室に區別さる。雄の觸角は櫛齒状、雌の觸角は鋸齒状を呈す。體長三分五厘内外。本邦稀ならざる種類なり。



♀ 體は黒色。頭部の中央は褐色。觸角黒色、末端は赤褐を帯ぶ。前胸背は黄褐。翅鞘は暗褐、少しく紫色を帯ぶ。體下は黒色、雌にては第五腹面節黄

第三 鞘翅目

分布—本州。

スマアカクロベニボタル (モドキ) *Conderis pictus* Gorb. (三〇六)

♀ 體は黒色。少しく赤褐を帯ぶ。前胸背は暗褐。翅



鞘の肩部及び翅端は紅色。體下に天鵝絨様の短毛を裝ふ。體長四分内外。これは本州に産するも稀なり。

分布—本州。

コウシユンズチボタル *Curtus koshunensis* Mats. (三〇七)

♂ 頭部の中央は褐色。觸角黒色、末端は赤褐を帯ぶ。前胸背は黄褐。翅鞘は暗褐、少しく紫色を帯ぶ。體下は黒色、雌にては第五腹面節黄



カラフトボタル *Lampyrus noctiluca* L. (三〇九)

♂ 雄は暗色。前胸の前縁及び外側は暗黄、前縁の二紋は半透明。轉節及び



腹端は黄色。雌は兩翅を缺く。雄は發光せず。體長雄三分九厘内外、雌四分五厘内外。樺太には最も普通なる種類なり。
分布—樺太、西比利亞、歐洲。

ワタナベボタル.....(三二〇)

Lampyris watanabei Muls.

雄、體は灰黄。頭部は黒色。觸角は暗褐、末端黄色。前胸背に透明なる窓様の二紋を具へ、後縁に近き四角紋は濃黄色。體下は黄色。腹部は暗色。雌は汚黄色。



前胸背に暗色のX字紋を具へ、兩側にも同色紋あり、翅は退化す。體長雄四分七厘、雌七分。これは臺灣北埔の蕃界に産するも稀なり。
分布—臺灣。

オホヲバボタル.....(三二一)

Incertula discicollis Kies.



體は黒色。前胸背は暗色、前方に一對の透明紋ありて、中央より稍々後縁に達する四角形の大紋は紅色を呈す。體長四分—四分五厘。これは本邦南國に産す。發光は微弱なり。
分布—本州、四國、九州。

クロヲバボタル.....(三二二)

Incertula fumosa Gorla.

全體黒色。前胸背の前方に一對の透明なる部分ありて判然す、後縁の中央は淡褐。體長雄二分九厘三分四厘。廣く本州に分布す。發光は判然せず。
分布—本州。



ヲバボタル.....(三二三)

Lucidina bipagiata Motsch.



體は黒色。前胸背の二大紋及び尾端の二節は紅色
二分八厘内外。これは本邦に普通なる種類にして、主として泥水のある所に多く、水中若くは陸上の巻貝を食とす。
分布—日本全土、沖縄。



くは陸上の巻貝を食とす。
分布—日本全土、沖縄。

ゲンジボタル(源氏螢).....(三二八)

Incetula vitticollis Kies.



體は黒褐。前胸背及び尾端の二節は暗黄若しくは桃色。前胸背に暗褐の縦條あり。體長四分五厘—六分。これは清水のある所に多し。本州にては殊に玉川附近に普通なり。北海道には産せず。幼蟲は主として水中の巻貝を捕食す。
分布—本州、九州。

ベニボタル.....(三二九)

體長三分—四分五厘。これは本邦普通なる種類にして、花上に捕獲し得べし。
分布—北海道、本州。

ツマグロボタル.....(三三四)

Incetula chinensis Ia.



體は黄色。頭部黒色、翅の末端は黒色、又は暗色。體長雄、三分六厘内外、雌四分二厘内外。これは臺灣高山地に稀ならず。
分布—臺灣、支那。

キイロボタル.....(三三五)

Incetula japonica Thunb.

ツマグロボタルに似るも、其異なる所は、一、體小、二、翅の末端の黒色部少なく、これを缺くもの多し、三、第二腹節の兩側に黒紋を具へ、第三節黒色なるによりて區別せらる。體長雄二分八厘—三分、雌三分三厘。これは沖縄及び臺灣に稀なり。



Lyostomus modestus Kies.

體は黒褐。翅は暗紅色。前胸背に暗灰色の短毛多く、翅に紅色の短毛を密生す。體長四分内外。これは東京附近に稀ならざる種類なり。花上に捕獲し得べし。
分布—本州、九州。



體は黒色。前胸背の周縁は暗褐。翅は鮮明なる朱色。雄の觸角は櫛齒狀、雌の觸角は鋸齒狀。

カクムネベニボタル.....(三三〇)

Lygonia quadricollis Kies.



體長三分三厘内外。これは前胸背の四角形を呈するによりて容易に他種と區別し得べし。花上に捕獲し得べきも少なし。

ヒメボタル.....(三二六)

Incetula parvula Kies.



ヘイケボタルに類似すれども、その異なる所は、一、前胸背の前縁に三角形の黒紋を有し、二、稜狀部の周縁黄褐、三、翅に二縱條を缺き、點刻は少しく密、四、腹端の三節乳白色にして、赤味を缺き、末端暗色ならざることによりて區別せらる。體長雄二分三厘—二分二厘。これは日光、伊吹山の如き高原地に産す。一名これをイブキボタルと云ふ、平原には産せざるが如し。随つて陸上の巻貝を捕食するものならん。
分布—本州。

ヘイケボタル(平家螢).....(三二七)

Incetula picticollis Kies.

體は黒色。前胸は桃色。尾端の二節は黄色、その兩側は少しく桃色を帯び、末端は暗褐。體長

本州。

テウセンオホベニボタル……………(三二)

Lycostomus torphyrophorus Solsky

體は黒色。前胸背の周縁及び翅鞘は朱色。翅鞘に各四條の明瞭なる隆線を裝ふ。體長四分五厘。これは朝鮮に産するも稀なり。



♀

朝鮮、西比利亞。

クシヒゲベニボタル……………(三三)

Macrolycus flabellatus Motsch.

體は黒色。翅鞘は暗紅色。雄の觸角は櫛齒狀、



♀
雌の觸角は鋸齒狀。
體長三分三厘

一分五厘。これはベニボタルに似たるも、翅鞘の縦隆低く、爪の先端二分せるを以て容易に識別し得べし。

本州、西比利亞。

ツマキアラシヨウカイ(ボン)……………(三四)

Malachius xantholoma Kies.

體は暗緑。體下及び脚は光澤ある黒色。觸角の



♀
下面、上唇、翅鞘の末端及び前中腿節の下面は黄色。體長一分八厘内外。これは花上に普通なり。

北海道、本州。

ホソベニボタル……………(三五)

Mesolycus atrofuscus Kies.

體は黒色。翅鞘は暗紅色。これはクシヒゲベニ



♀
ボタルに酷似せるも體細く雄の觸角櫛齒狀を呈せず。體長三分内外。中國地方に普通なり。

本州。

テングベニボタル……………(三五)

Platycis nasuta Kies.

オホシママドボタルに酷似すれども、前胸は一層赤味を帯び、前縁細まり、後角は狭く、點刻は粗大なり。前中の轉節及び基節は大部褐色。體長五分五分五厘。雌は不明。これは八重山及び石



♀
垣島に稀ならず。

沖繩。

ゼイハンマドボタル……………(三六)

Pyrocoelia pratexta Oliv.

雄、體は黒色。前胸及び枝狀部は橙黄色。翅鞘は暗褐。前胸背の前方に一對の透明なる部分あり。體長六分五



♀
七分五厘。雌は判然せず。これは臺灣北埔に普通なり。

臺灣。

アキマドボタル(秋螢)……………(三七)

Pyrocoelia tsushimana Mats.

雄、オホシママドボタルに酷似するも、その異なる所は、翅鞘褐色、長形なるに於て容易に區別せらる。頭部、觸角及び脚



♀
は褐色。腿節は末端を除き淡黄褐。雌は無翅にして一見幼蟲の如し。體長雄、五分六分、雌、六分五厘。これは對馬に普通なる種類なり。秋出づるを以てこの名あり。一名ツシマボタルと云ふ。

對馬、朝鮮。

體は黒色。前胸背は黒褐。翅鞘は紅色、接合線



♀
外縁及び各三條の縱線は黒色。體下に短毛を裝ふ。體長

三分五厘内外。これは札幌附近に普通なり。

北海道。

オホシママドボタル……………(三八)

Pyrocoelia atripennis Lew.

雄、體は橙黄色。頭部、觸角及び翅鞘は黒色。



♀
前胸背の前縁に近く二個の半透明紋あり。脚は黒色、轉節及び基節は黄色。體長五分五分五厘。雌は未だ捕獲せられず。これは奄美大島及び沖繩に産す。

九州(奄美大島)、沖繩。

イハサキマドボタル……………(三九)

Pyrocoelia iwaseki Mats.

體は黒色。前胸背の周圍及び縦隆は暗褐。翅鞘は赤褐。



♀
頭部の中央(觸角間)に前方に突出せる突起あり。體長二分内外。これは中禪寺附近に普通なり。

本州、臺灣。

ヒメクビボソジヨウカイ……………(三六)

Podabrus macilentus Kies.

體は淡黄。大脚及びその後方の各一紋並に前胸背の兩側にある各一縱線は黒色。翅鞘に灰白の



♀
短毛多し。觸角及び脚は黄色。體長二分八厘内外。これは本邦に稀ならざる種類にして、

花上に捕へ得べし。

北海道、本州。

スチグロベニボタル……………(三七)

Pristolycus sagittatus Gorb.

ヒメジヨウカイ

Telephorus japonicus Kies.

體は黒褐。觸角の基部、前頭の兩側、前胸背の周圍、翅鞘の縱條並に脚の一部は黄色。前胸背に大なる黒紋あり。翅鞘に灰黄の短毛を密生す。體長三分五厘内外



これは本邦何れの地方にも稀ならず。小蟲を捕食す。花上に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州、九州。

アラジヨウカイ

Telephorus viridipennis Kies.



體は黒色。大腿の基部觸角の下面前胸背の兩側及び腹部の接合膜は黄色。翅鞘

は暗綠、黄色の短毛多し。體長五分五厘内外。これも前種同様何れの地方にも普通なり。暗んで燈火に飛來す。花上に捕へ得べし。成蟲は小蟲を捕食す。

分布—北海道、本州、九州。

ジヨウカイボン

Telephorus suturalis Motsch.



體は黒色。前頭の兩側、觸角、前胸背、稜狀部、翅鞘及び脚の大部は暗黄。前胸背中央の一大紋は黒色。翅鞘の接合線は暗黒。體長五分内外。これは本邦何れの地方にも多き種類なり。小蟲を捕食す。

分布—日本全土、沖縄。

セホシジヨウカイ

Telephorus vitellinus Kies.

體は暗黄。頭頂の三角紋、前胸背の一縱條は黒色。翅鞘に灰黄の短毛を密生す。體長三分三厘内外。これは本邦普通の種類にして、花上に捕へ得べし。



分布—本州、四國、九州。

郭公蟲科 Cleridae

觸角は十一節、絲狀、鋸狀、棍棒狀若くは球棒狀を呈す。大腿は有齒。頭は下方を向き、球形の前胸に掩はる。後肢の基節は互に相接し、中肢の基節は略々球形なり。跗節は五節なれども亦四節を有するものもあり、第一節は小、時に第二跗節下に隠れて見えぬ。腹部は五節乃至六節。體は粗毛を裝ひ、細長なり。幼蟲は食肉性、害蟲を捕食して有益なるもの多きも、又動物性の乾物を食害して大害を加ふるものあり。本邦に學名を有するもの約六十種あり。

シラホシクワクコウ

Callimerus duodecimspulatus Schenkli.

體は黒青色。白色の長毛多し。前胸背後縁の二紋、翅鞘の各五紋及び



體下面兩側の斑紋は白鱗よりなる。體長二分三厘内外。これは臺灣の平地に多し。

分布—臺灣。

ホソクワクコウ

Chadisus obsoletus Lew.



體は圓筒狀を呈し、黒色。前胸背は赤色、後方著しく細まる。觸角は低き鋸齒狀を呈す。體長二分五厘内外。これは本州に産するも、比較的稀なるが如し。

分布—本州。

タバコクワクコウ

Metademius tabaci Mats.



體は赤褐乃至暗褐、赤褐毛を裝ふ。腹部は黄褐。體長一分七厘。これは臺灣に産す。煙草の害蟲なり。

分布—臺灣。

アカクビホシカ

Neorohia ruficollis F.



體は暗綠、褐毛多し。前胸背、翅底及び脚は赤褐。體長一分七厘。これは何れの地方にも稀ならざる種類にして、干鱗その他、動物性標本の害蟲なり。

分布—世界共有。

アカアシホシカ

Neorohia rufipes Deg.



體は暗綠乃至暗青色、全體黒色の短毛を裝ふ。觸角は大部分黒色。觸角の基部及び脚は赤褐。體長一分六厘内外。これは本邦何れの地方にも多く、干鱗の害蟲なり。

分布—世界共有。

ルリホシカ

Neorohia violacea L.

全體暗青色、黒色の短毛を裝ふ。觸角は黒色。



♀
名なる害蟲なり。
分布 世界共有。

體長一分七厘内外。
これは廣く分布する
種類にして、干蟻そ
の他動物性標本の有



♀
に廣く分布する種
類なれども、本邦
には稀なるが如
し。
分布 世界共有。



一七〇
して、小
蠶蟲を捕
食して有
益なり。
分布 本
州。

タイワンナガクワクコウ……………(三四三)

Oplio formosanus Shenkl.

♀
體は黒色、褐色の長毛を装ふ。翅鞘は濃褐、中
央の一
帯は黒
色。腿
節の基
部は黄
色。觸
角及び
脛節は
暗褐。體長四分内外。これは臺灣
の平地に産するも餘り多からず。
分布 臺灣。



チビアリモドキクワクコウ……………(三四四)

Thanasimus karafutoensis Kôno

♀
これはア
リモドキ
クワクコ
ウに酷似
するも、
翅鞘の白
帯は太く、翅底の赤色部は狭し。體長三分内
外。樺太に普通なる種類にして、森林内に捕
得べし。
分布 樺太。



アリモドキクワクコウ……………(三四五)

Thanasimus nigricollis Law.

♀
體は黒色。前胸背の後縁並びに翅底は赤色。翅
鞘に白毛より成る二帯を有す。腹部は赤褐。體
長二分五厘内外。これは本州に普通なる種類に
屬す。
分布 本州。



クリイロクワクコウ……………(三四六)

Tenebris castaneus Kôno

♀
體は濃黄色、褐色の長毛多し。觸角、翅鞘及び
脚は黄褐。翅鞘に小點刻を密布す。體長二分五
厘。これは中禪寺附近に産するも、甚だ稀なる
種類なり。
分布 本州。



ツマグロクワクコウ……………(三四七)

Tenebris hilleri Har.

♀
體は赤黄。頭部、觸角、前胸背前縁の一横紋、
翅端、腿
節の末端
脛節及び
跗節は黒
色。翅鞘
に判然せ
ざる縦隆を装ふ。體長三分内外。これは本州の
南部より臺灣に分布す。
分布 本州、九州、臺灣。



カラフトクワクコウ……………(三四九)

Trichodes irkutensis Jaxm.

♂
體は光澤ある
暗緑。翅鞘は
美麗なる暗青
色、少しく紫
色を帯び、赤
黄色の二帯あ
り。體長四分内外。これは樺太に普通なり。
分布 樺太、西比利亞。



イガラシクワクコウ……………(三四八)

Tylius igarusi Kôno



♀
體は黒色。翅鞘は褐色、明かなる點刻列を具
へ、間室に地色と同色の長毛を装ふ。體長三分
五厘内外。これは札幌附近に産するも多からざ
るが如し。

アラオビクワクコウ……………(三五〇)

Trichodes sinu Chev.

♀
體は黒藍色。前胸背は少しく紫色を帯ぶ。翅鞘
は赤色、二帯
及び翅端は前
胸背と同色。
體長六分内
外。これは朝
鮮に産するも餘り多からず。
分布 朝鮮、支那。



附言—最近この科を *Oleridae* 及び *Dermestoidae* の二科に分類する學者あり。

三九 筒蠹科

Lyxexylonidae

觸角は十一節、鋸齒状、絲狀若しくは棍棒状。大腮端に向を缺く。小腮は二葉に分れ、小腮鬚は三節乃至四節、末端節は雄に限り葉状に膨大し、雌にては稍、楕圓形、側扁。下唇鬚三節、絲狀。體圓柱形、細長、爪に向を缺く。幼蟲は枯木に住するものと、白蟻の巢に寄生するものとあり。本邦に産するもの二種あり。

コバネツツシンクヒ.....(三五二)

Atractoerus niger Strohm.

體は黄褐。觸角は黒色、基部の二節は赤褐。後頭、胸背板の中央は少しく濃色。腹部の基部は濃褐、後方は一般に濃色。體長五分一寸。これは臺灣に産し、白蟻の巢に寄生するが如し。著者は恒春管内クスタスにてその數頭を燈火にて捕獲せり。



分布—臺灣、印度。

ツマクロツツシンクヒ.....(三五三)

Hylecoetus coarsis Lew.

體は黄褐。翅鞘の後端及び中後の兩胸は黒色。脚は黄色若しくは赤黄色。雖ども稀なり。體長四分内外。これは樟の枯木に捕へ得べしと



分布—北海道、本州。

四〇 標本蟲科

Piniidae

觸角十一節、絲狀にして長く、頭の前端より出で、互に相近接す。普通上唇に剛毛を具ふ。大腮は三角形にして、短大、内側に一小齒あり。附節は五節、爪に附屬物なし。頭部は前胸下に退縮して下方を向く。小腮鬚は四葉に分る。翅鞘は尾端を蓋ひ、往々後翅を缺くことあり。本邦學名を有するもの十餘種あり。

コマルヘウホンムシ.....(三五三)

Eurostus sahoi Oshita



體赤褐、黄金色の短毛を密生す。體長一分

二厘。此の種は本州に於ては稀なり。分布—北海道、本州。

セマルヘウホンムシ.....(三五四)

Gribnim psyllioides Ozemp.

栗色。觸角及び脚に黄褐の短毛を密生す。後翅

四一 死番蟲科

Anobidae

觸角は十一節、稀に十節、絲狀、鋸齒状若しくは櫛齒状、末端の三節は長く、複眼の前方より出づ。上唇には普通長毛あり。附節は五節、稀に四節。前胸には突起なし。前胸背の兩側に普通双狀縁を有す。頭は下方を向く。翅鞘は全腹部を蓋ふ。幼蟲は木材、朽木、其他動植物の標本を食ひ、時に大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの約廿三種あり。

タケシバン(ムシ).....(三五七)

Orygonerus bruchus Oliv.



體は赤褐。頭及び前胸背は少しく濃色、灰色の短毛多し。體長一分三厘内外。これは竹に捕獲し得べし。幼蟲は竹、其他木材に蠢入して大害を加ふることあれども、餘り多からず。

分布—本州、歐洲。

モシシバン.....(三五八)

Erodius abietis F.



を缺く。體長七厘内外。これは一見蚤の如き形態を有す。昆蟲標

本に見ることあるも少なし。分布—本州、九州、歐洲。

ナミヘウホンムシ(ヘウホンムシ).....(三五五)

Titnus fur I.

體は黄褐乃至黒褐。頭部の短毛は黄褐。前胸背



の毛塊は黄色。翅鞘の毛塊は白色なり。體長一分二厘。これは昆蟲標本に最も普通なる種類にして、標本はこれが爲めに大害を被ることあり。これは又毛皮にも普通なり。分布—世界共有。

クロヘウホンムシ.....(三五六)



♀

體は栗色、黄短毛を密生す。翅鞘に縦溝を缺き、全面に不規則なる點刻を密布す。體下及び脚に短黄毛多し。幼蟲は針葉樹に寄生すれども、多くは老木若しくは枯木に生存し居るを見る。體長一分二厘—二分。

分布—世界共有。

トサカシバン *Trichodesma fasciculare* Reutt. (三五九)

體は灰黒、少しく藍色を帯ぶ。頭部は灰色毛を密生す。觸角は黒褐、基部の二節は赤褐。前胸背は瘤狀に隆起し黒褐の毛塊を簇生し、兩側には灰白毛を裝ひ、翅鞘には黒色の六毛塊を具へ、更に白毛紋を有す。體長二分内外。これは餘り多からず。



♀

分布—北海道、本州。

四二 長蠹科 Bostriichidae

觸角九節若しくは十節、末端の三節は太く棍棒狀、多少鋸齒狀をなし、基部の二節は太く、次ぎの四節よりも長し。大肥は三角形、餘り尖らず、内側に一小齒を裝ふ。小肥は二葉に分る。跗節は五節、肥大せず、第一節は微小、大部は脛節端に隱る。細長、圓柱形の種類にして幼蟲は木材に蠢入して有害なり。

ゴマダラナガシバ *Bostrychus guttatus* Mats. (三六〇)

體は暗褐。觸角は褐色。翅鞘の顆粒は大、灰黄毛を密生するを以て斑紋あるが如し。胸下に灰黄の毛塊あり。脚は栗色。體長五分内外。これは熊本地方に普通なり。



♀

分布—九州。

タケナガシバ *Dinoderus japonicus* Lesne (三六一)

體は黒褐乃至黒色。觸角は暗褐。翅鞘は黒褐、觸角十一節、末端の二節は膨大して太き棍棒狀を呈し、末節は卵形、次節は三角形をなす。上唇は突出す。大肥端には二齒を具ふ。小肥端は長く、絲狀、末節は卵形を呈して稍々尖れり。跗節は五節、第一節は甚だ小、脛節端に隱れ、二爪を有す、前肢の基部は球形、突出せず。體は圓柱形にして細長なり。本邦に産するもの一種あり。

四三 竹蠹科 Icyidae

觸角十節、末端の三節は次第に膨大して棍棒狀を呈す。大肥端は尖り突出す。跗節は五節、雌に限り後肢の跗節は四節より成り、末節は甚だ長く、他節を合したるものと略々同長なり。頭は小形。前胸背は幅廣く、兩側圓し。翅鞘は胸部と略々同幅。體圓柱形にして、尾端圓し。本邦學名を有するもの數種あり。何れも微小の種類にして、菌叢を以て食とす。

タケシバ *Icytus brunneus* Stöpl. (三六六)



♀

體は赤褐。頭部及び前胸背は暗褐、灰黄の短毛を裝ふ。體下は體に比し少しく淡色なり。體長一分二厘—一分五厘。これは建築に用ふる樫の材部に蠢入して大害を加ふることあり。分布—世界共有。



♂

末端に粗毛多し。脛節及び跗節は赤褐。體長一分一厘。これは竹の害蟲にして、嘗て鉛管に蠢入して大害を加へたることあり。分布—本州。

ツガナガシバ *Dinoderus tsugae* Mats. (三六三)



♀

體は黒褐乃至黒色。觸角は黄褐。翅鞘は赤褐、黄褐の短毛を裝ふ。脛節及び跗節褐色。體長一分二厘。これはツガの材部に蠢入して大害あり。分布—本州。

オホナガシバ *Ichtenophanes carinipennis* Lew. (三六三)



♀

體は黒褐。觸角は褐色、末端は黄褐。跗節には黄褐毛多し。體長五分内外。これは本州に産すれども餘り多からず。分布—本州、沖縄。

四四 姬蕈蟲科 Spindidae

觸角十節、末端の三節は次第に膨大して棍棒狀を呈す。大肥端は尖り突出す。跗節は五節、雌に限り後肢の跗節は四節より成り、末節は甚だ長く、他節を合したるものと略々同長なり。頭は小形。前胸背は幅廣く、兩側圓し。翅鞘は胸部と略々同幅。體圓柱形にして、尾端圓し。本邦學名を有するもの數種あり。何れも微小の種類にして、菌叢を以て食とす。

ヒメキノコムシ *Spindus obscurus* Kies. (三六七)



♀

體短かく、兩側は稍々相平行し、前後の兩端は圓く、灰白毛を裝ふ。觸角は淡褐、末端の三節は少しく暗色を帯ぶ。脚は淡褐。體長五厘。これは本邦に稀なり。分布—本州。

附言—この圖はヒメキノコムシに酷似する歐洲産 *Spindus dubius* Gyll. なるが、著者は標本を有せざるを以て参考の爲め掲げたり。

すれども餘り多からず。

分布—本州、沖縄。

コナナガシバ *Rhyzopertha dominica* F. (三六四)

體の上面は暗褐。觸角は黄褐、基部の二節は暗褐。翅鞘の後方に灰黄の短毛を粗生す。體下は赤褐。脚は暗褐、跗節は黄褐。體長一分内外。これは穀粉を食して大害を加ふることあり。分布—本州、臺灣、歐洲。



♀

フタツノナガシバ *Sinoxylon japonicum* Lesne (三五五)



體は黒褐。觸角は黄褐、翅鞘は赤褐、白色の軟毛多し。脚は栗色。體長一分七厘内外。これは九州に普通なる種類にして、柿の枯木に捕獲し得べし。分布—四國、九州。

四五 圓莖蟲科 (Cisidae)

觸角普通十一節、稀に八節、細長にして末端の三節は太き棍棒状を呈す。大臍は三角形にして太く、末端に齒を具へ、小臍は二葉に分れ、跗節は四節より成り、何れも肥大せず、第四節は甚だ長く、他の三節を合したるものより長し。體は圓柱形にして、長卵形を呈し、多くは細毛を裝ふ。微小の種類多く、菌莖を以て食とす。本邦學名を有するもの數種あれども、何れも微小なり。

エグリマルキノコムシ (三六八)

Eumethron japonum Reitt.

體は栗色。頭は暗色、前頭の中央は少しく凹陥す。觸角の基部、兩臍及び脚は黄色。觸角の末端は褐色。全面に灰白の短毛多し。體長七厘内外。



これは本州に産するも微小なるが爲め捕獲困難なり。
分布 本州。

四六 吉丁蟲科 (Buprestidae)

觸角十一節にして、短かく、鋸齒状を呈す。眼大にして楕圓形。前胸片に二個の突起ありて、中胸片の凹溝に嵌入す。前中兩肢の基部は球形をなし、後肢の基部は葉状を呈し、前肢基部の後方は開口す。腹部は五節、初めの二節は癒着して動かず。體は多く細長にして、堅牢なり。幼蟲は多く樹枝に蠶入して食害すれども、亦葉内にありて食害するものなり。本邦學名を有するもの三十數種あり。

ケヤキナガタマ (ムシ) (三六九)

Agilus bisjapannensis Low.

體は黒褐。前胸及び頭頂は赤銅色。翅端に二刺状突起あり。體下及び脚は光澤ある鶯色。體長三分五厘。この幼蟲はケヤキの材に蠶入す。東京地方には



少なからず。
分布 本州。

クロタマ (三七〇)

Buprestis japonensis Saundl.



體は光澤ある黒褐、少しく藍色若くは綠色を帯ぶ。脚及び體下は赤褐。尾端の兩側に各一個の紅紋を裝ふ。體長六分五厘内外。これは本州普通の種類なり。
分布 日本全土。

ヤツホシタマ (三七二)

Buprestis octoguttata L.

體は暗綠。翅鞘は黒藍色。前胸背の側縁、翅鞘の各四紋、各腹節兩側の一紋は黄色。體長



五分内外。これは樺太に産するも稀なり。
分布 樺太、西比利亞、歐洲。

ヲバタ (三七一)

Chalcophora japonica Gory

體は黒色、銅色の光澤を有す。體下及び脚は光



澤ある銅色。體長一寸二分内外。これは本邦稀ならざる種類なるも北地に産せず。幼蟲は松の樹幹に蠶入す。
分布 本州、四國、九州、琉球、臺灣。

アラヲバタマ (三七三)

Chalcophora oshimana Nonfried

體は光澤ある綠色。頭頂、體下及び脚は赤銅色。翅鞘及び前胸背の縱隆は銅色。體長一寸二分内外。これは九州大島に産するも少なきが如し。

オ

アラマダラタマ (三七四)

Chalcophorella amabilis Vell.

背面は赤銅色、光線の工合により金綠色を現はす。前胸背の隆條及び翅鞘の縱隆は黒藍色。翅鞘に光澤ある赤銅色



分布 九州(大島)。



の斑紋を裝ふ。體下及び脚は金綠色。體長七分内外。これは京都附近に産するも稀なり。
分布 本州。

ムネスチアラタマ (三七五)

Chrysolema juenuda Quat. et Gory

背面は赤銅色、綠色の光澤を帯ぶ。前胸背側方の凹陥せる部分及び翅鞘の點列



並びに周圍は黄色。體下は黄綠色。脚は赤銅色。體長九分内外。これは沖繩及び臺灣に産し、稀ならず。
分布 沖繩、臺灣、比律賓。

カクムネタマ (三七六)

Chrysolobrys chryso stigma L.

體は黒藍色、少しく銅色を帯ぶ。翅鞘の各二紋は銅色。腹面は側方を除き綠色。脚は銅色。翅鞘に明なる二縱隆を裝ふ。體長四分内外。これは樺太小沼附近に産するも稀なり。
分布 樺太、西比利亞、歐洲。



ヤマトタマ(タマムシ)(吉丁蟲) (三七七)

Chrysochroa fulgidissima Zehenh.

體は光澤ある金綠色。觸角は基部を除き黒藍色。前胸背の二縱條及び各翅鞘の一縱條は黒紫

♀



色。體下及び脚は緑色。腹部は金色。體長一寸二分内外。これは暖地に稀ならざるも、北國には産せず。幼蟲は櫻の樹幹に蠶入して大害を加ふ。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

ヲガサハラタマ……………(三七八)

Chrysochroa holsti Waterh.

體は光澤ある緑色、少しく金色を帯ぶ。翅鞘の末端は赤銅色にて縁どらる。腹部の後半は赤銅の光澤を有す。觸角の鞭節は黒色。體長二寸一分内外。これは小笠原島に産する美麗種なり。

♀



分布 小笠原島。

フタヲタマ……………(三七九)

Dicerca aino Law.

體は銅色。脚及び體下は赤銅色。翅鞘の末端延長し、黒褐の斑紋多し。體長六分三厘内外。これは札幌近傍に稀ならず。

♀



分布 北海道。

アラタマ……………(三八〇)

Eurylyra tenuirata Law.

體は光澤ある緑色、金色を帯ぶ。觸角は藍色。

翅鞘の接合線に近き部分は藍色、外側は銅色を帯ぶ。體長七分内外。これは北海道に産するも餘り多からず。

♀



分布 北海道。

キンヘリタマ……………(三八一)

Psephenoxena bellula Law.

♀



これは札幌附近に普通なり。楡の樹幹にて捕得べし。

分布 北海道。

四七 叩頭蟲科 Winteridae

觸角は十一節乃至十二節、鋸齒狀若しくは櫛齒狀、頭の兩側より出づ。眼は卵形。前胸片に一棘狀突起ありて、中胸片の凹溝に嵌入す。前中兩肢の基部は球形を呈し、跗節は五節。腹部は五節、各節は自在に動く。體細長く、多少扁平。能く跳躍す。幼蟲は俗に針金蟲と稱せられ、農作物の根を食ひ、大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの約百種あり。

サビコメツキ(ムシ)……………(三八五)

Adelocera conspersa Gyll.

體は黒褐。翅鞘及び脚は赤褐。翅鞘は黒褐の鱗粉を密生し、その間に銀色鱗の斑紋を有す。體長五分。これは樺太に産するも稀なり。



分布 樺太、西比利亞。

オホサビコメツキ……………(三八六)

Adelocera nakini Gant.

クロホシタマ……………(三八二)

Psephenoxena vivida Law.

體は光澤ある緑色、少しく金色を帯ぶ。前胸背の三條、翅鞘にある約十一二個の小紋は黒藍色。體長三分八厘内外。これは北國に産するが稀ならざるが如し。



分布 北海道、本州。

ナミカタチビタマ……………(三八三)

Trachys erisofasciatus Saund.

體は光澤ある黒褐、赤褐の短毛を密生す。翅鞘に白毛よりなれる三條の横帯を具へ、その間に金色の短毛を裝ふ。體長一分一厘。この幼蟲はケヤキの葉内に蠶



入し、葉縁層を食す。

分布 本州、四國。

アカカネチビタマ……………(三八四)

Trachys medita Saund.



全體黒褐、金色毛を以て覆はる。前胸背に淺き一縱溝を裝ひ、二乃至四本の濃色條(毛なき部分)を縱走す。體長六分内外。
分布 北海道、本州、四國。
これは本邦餘り多からざる種類なり。



各翅鞘中央の一縱條及び脚は黄褐。腹部は赤褐。體長四分内外。これは沖繩に産す。
分布 沖繩。

エグリサビコメツキ
Atractodes zuelchianus Miwa



體は黒色、暗褐の鱗毛を以て覆はれ、その間に白色鱗を散在す。脚は赤褐。前胸背に幅廣き縱溝を裝ふ。
分布 樺太。



カドウスムナボソコメツキ
Atractodes pulcherrimus Miwa
頭部及び前胸背は黒色、後者の後縁は赤褐。翅鞘及び體下は赤褐。脚は黄褐。觸角は大部暗褐、基部は淡色。體長一分七厘内外。これは臺灣の高山地帯に産す。
分布 臺灣。



ケムナボソコメツキ
Atractodes puberulus Miwa
體は黒色。前胸背の後縁角は淡色。翅鞘は黒褐。觸角及び脚は黄褐。體長五分内外。これは東北地方に産すれども稀なり。
分布 本州。

クロヘリツヤコメツキ
Atractodes vittiger Heyl
體は暗褐。頭部の中央、前胸背側方の二縱條、



オホカバイロコメツキ
Atractodes persimilis Law.
體は黒色。觸角は暗褐。稜狀部、翅鞘及び脚は赤褐。全體褐色の短毛を



カバイロコメツキ
Atractodes zirciens Gaud.
體は黒色。翅鞘及び脚は濃褐。これはオホカバイロコメツキに似たるも、體小さく、光澤を有し、稜狀部黒色なるにより容易に識別し得べし。體長三分内外。札幌附近に普通の種類にして、農作物に大害を加

ふることあり。

分布 北海道、本州。

オホクロコメツキ
Agrypnus peltatus Gaud.



全體黒色。前胸背に小點刻を密布し、光澤を缺く。稜狀部、中、後の兩脚及び脚に金色毛を密生す。體長一寸二分内外。これは臺灣全島に稀ならず。
分布 臺灣。

この黒斑を裝ふ。體長一寸内外。これは本州の南部及び九州に多し。
分布 本州、四國、九州。

フタモンウバタマコメツキ
Alaus peltatus Gaud.



灰褐。前胸背は中央に高き隆條を具へ、その兩側の二小紋は濃褐。翅鞘中央の各一大紋及び後方に散在する數個の小紋は濃褐。體長一寸一分内外。これは沖繩の南部及び臺灣に産する大形種なり。
分布 沖繩(石垣島)、臺灣。

ルリツヤハダコメツキ
Alaus peltatus Gaud.



體は光澤ある黒藍色。觸角、體下及び脚は黒色。體長五分五厘内外



オホアヲコメツキ
Camposternus auratus Denry.
全體暗緑、銅色の光澤を有す。前胸背の兩側は赤銅色にして、光澤を缺く。觸角は黒色。體長一寸五分内外。臺灣恒春地方に産するも、其數多から



ウバタマコメツキ
Alaus peltatus Gaud.
體は黒色なるも、灰色の細鱗を密生するを以て暗灰色を呈す。前胸背及び翅鞘に多

分布 臺灣、支那、印度。

アカヘリオオアヲコメツキ……………(三九九)

Camposternus gemma Cand.



♀
體は美麗なる緑藍色。前胸背の二大紋、前胸の側方及び腹部の兩側は赤色。翅鞘は光澤ある綠色、少しく藍色を帯ぶ。體長一寸三分内外。これは臺灣に普通なる美麗種なり。

分布 臺灣、支那、印度。

クロハナコメツキ……………(四〇〇)

Carthophorus pubens Lew.

♀
全體黒色、少しく光澤を帯ぶ。稜狀部に灰色の短毛を生ず。翅鞘には判然せる九條の縱溝を具へ、これに點刻あり。體長二分七厘内外。これは花上に普通なる種類なり。



分布 日本全土。

ウスモンコメツキ……………(四〇一)

Corymbites laeberi Germ.



♀
體は黒色。翅鞘は黄褐、判然せざる長形の二暗色紋を有す。體長三分五厘内外。これは樺太に産するも餘り多からず。

分布 樺太、西比利亞。

イツボシヒラタコメツキ……………(四〇二)

Corymbites daimio Lew.



♂
體は黒色。翅鞘は黄色、稜狀部の周圍及び各二大紋は黒色。體長四分内外。これは札幌附近に稀ならざる種類なり。

分布 北海道、本州。

ベニホツヒラタコメツキ……………(四〇三)

Corymbites nikkoensis Jacobson

♂
體は黒色。前胸背に幅廣き一縱溝を有す。翅鞘は美麗なる赤色。脚は濃褐、腿節の末端は暗色。體長三分五厘内外。これは日光附近に産するも稀なり。



分布 本州。

ヒメシモフリコメツキ……………(四〇四)

Corymbites orientalis Cand.



♀
體は鈍き銅色、少しく綠色の光澤を帯び、灰色毛を密生す。脚は褐色。體長四分七厘内外。これはシモフリコメツキに酷似すれども、體蓋かに小、體毛は灰色にして、黄毛若くは褐毛を有せざるにより識別せらる。

分布 本州、九州。

ヨツボシヒラタコメツキ……………(四〇五)

Corymbites pectus Lew.



♀
體は黒色、金屬性の光澤を帯び、灰色の短毛を密生す。脚は黒褐。體長四分五厘内外。これは樺太に産するも稀なり。

分布 樺太。

ベニコメツキ……………(四一〇)

Denticollis minutus Cand.



♀
體は暗褐。頭頂の二紋及び前頭は黄褐。觸角は櫛齒狀を呈し、黒色。前胸背の兩側及び中央の二縱條は黄褐。翅鞘は紅色。稜狀部は暗褐。脚は黒色。腿節の末端及び腿節の基部は暗黄。體長四分五分。これは本邦何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州。

ヒメナカグロカバコメツキ……………(四一一)

Dolopius ferrugineipennis Motsch.

體は暗褐。觸角の基部及び前胸背の後縁角は黄



♂
は黒色。脚は大部黄褐、腿節の末端は黒色。體長三分内外。これは東京附近に産するも稀なるが如し。

分布 本州。

シモフリコメツキ……………(四〇六)

Corymbites leucostomus Motsch.



♀
體は紫褐色、灰色若くは褐色の短毛多し。翅鞘には褐色の短毛を密生し、所々に灰色の短毛を紋狀に混在す。體長六分内外。これは本邦何れの地方にも産す。

分布 日本全土。

コガネコメツキ……………(四〇七)

Corymbites puncticollis Motsch.

體は黒色、少しく藍色を帯ぶ。翅鞘は暗綠色。



♀
脚は黒色。腿節の大部は赤褐。體長五分。これは北海道に普通なる種類なり。

分布 樺太、北海道、本州。

アラコガネコメツキ……………(四〇八)

Corymbites rugosus Germ.



♂
體は黒色、少しく藍色を帯ぶ。翅鞘は金綠色乃至銅色の光澤ある縁角。これはコガネコメツキに似るも、翅鞘の點刻粗糲にして、間室に皺紋を有するによりて容易に區別せらる。體長五分内外。これは北海道の高山に捕へ得べし。

分布 樺太、北海道、西比利亞。

カラフトヒラタコメツキ……………(四〇九)

Corymbites sachalinensis Miwa



褐色。翅鞘に太き黄褐色の縦條を裝ひ、これは後方に至りて消滅す。體長二分内外。本邦普通の種類にして、東京附近に多し。
分布 北海道、本州。

アカハラクロコメツキ
Elater hyogastrius Candl.
♀



これは札幌附近に産するも多からず。
分布 北海道、本州。

ツマグロコメツキ
Elater nipponicus Law.
♀



體は黒色、同色の短毛を密生す。翅鞘は大部分黄褐色にして、同

色の短毛を裝ひ、後端(翅鞘の約1/3)は黒色。體長四分五厘。これは北海道に産するも稀なり。
分布 北海道。

オホアカコメツキ
Elater opahilis Law.
♀



叩頭蟲なり。
分布 樺太、千島、北海道、本州。

コガタアカコメツキ
Elater orientalis Law.
♀



體は光澤ある黒色、黒色の短毛を密生す。翅鞘及び跗節は赤褐色。體長三分五厘内外。これは本邦の北部に普通なり。
分布 樺太、千島、北海道、本州。

ガロアコメツキ
Harminius galloisi Miwa
♂



全體濃赤褐色、灰色の短毛を密生す。頭部及び前胸背は濃色。脚は黄褐色。翅鞘に判然せざる濃色の二廣帯(毛の少き部分)を具ふ。體長六分内外。これは中禰寺附近に産するも稀なり。
分布 本州。

ダンダラコメツキ
Harminius undosus Law.
♀



體は黒色、灰色の短毛を密生す。翅鞘は赤褐色。白色の短毛を密生し、中央の前後に判然せる地色の二帯(鱗毛の少き部分)を具へ、翅底にも同色の短毛一帯を有す。體長五分内外。これは北國及び高山地帯に産す。
分布 樺太、北海道、本州。

マルクビコメツキ

Hemipops flavus Cast.

體は黄褐色、黄褐色の短毛を生ず。觸角は基部を除き黒色。跗節は黒褐色。翅鞘にある點刻溝の間室は淡色。
♀



種類なり。
分布 臺灣。

カンシヨフナガタコメツキ
Heteroderus oblitus Candl.
♀



體は黄褐色、灰色の短毛多し。頭は暗黒、頭頂に灰褐色の旋毛を有す。前胸背の後角及び前胸は淡色。脚は黄色。體長二分二厘内外。これは臺灣に普通なる種類にして、甘蔗の害虫なり。
分布 臺灣、支那。

カラフトツヤコメツキ
Hylogonus suzuyamianus Mats.
♀



體は光澤ある黒色、少しく藍色を帯ぶ。翅鞘は暗褐色、光澤あり。脚は暗褐色。體長三分内外。
分布 樺太。

サビキコリ
Laccophilus inuitus Motsch.
♀



體は銜様の暗褐色。觸角及び脚は黄褐色。前胸背並びに翅鞘に暗黄色の斑紋あり。體長五分内外。これは本邦何れ

地方にも普通なり。
分布 日本全土、朝鮮。

ヒメサビキコリ

Laccophilus serotus Candl.
♀



全體黒褐色、暗色の短毛を疎生し、爲めに光澤を缺く。跗節は赤褐色。體長二分五厘内外。此の種類は本州に普通なるも未だその他の地方にては採集せられず。
分布 本州。

タイワンサビキコリ
Laccophilus taiwanus Miwa
♀



全體赤褐色、黄色の短毛を裝ふ。體長三分五厘。これは臺灣に普通なる種類なり。
分布 臺灣。

タテジマカネコメツキ
Laccophilus inuitus Law.
♀

體は黒色。前胸背に少しく緑色を帯ぶものあり。各翅鞘の中央に太き黄褐色の縦條を具ふ。跗節は暗褐色。體長二分八厘内外。これは本州に稀



オホクロナガコメツキ
Lindius nipponensis Iw. (四三五)
全黒色。翅鞘に黒色の短毛を生ず。體長七分内外。
分布 本州。



オホクロナガコメツキ
Lindius sieboldi Cancl.
體は黒褐。觸角及び脚は黄褐。翅鞘に褐毛を裝ふ。體長九分内外。これは本邦稀ならざる種類なり。
分布 北海道、本州、九州、臺灣。



キハネホソコメツキ
Megaperthes gracilis Cancl.
體は黄赤。翅鞘は淡黄褐、黄赤の短毛を生ず。脚は黄褐。體長二分五厘内外。これは本邦何れの地方にも稀ならず。
分布 北海道、本州、九州。



オホナガコメツキ
Megaperthes humeralis Miwa (四三八)
體は黒色、黄褐の短毛を裝ふ。翅底は黒褐。脚は暗褐。體長三分内外。これは十和田地方にも稀ならず。
分布 北海道、本州、九州。



カタアカホソコメツキ
Megaperthes humeralis Miwa (四三八)
體は黒色、黄褐の短毛を裝ふ。翅底は黒褐。脚は暗褐。體長三分内外。これは十和田地方にも稀ならず。
分布 北海道、本州、九州。



タイワンタテジマコメツキ
Megaperthes ligatus Cancl. (四三九)
體は黒色。觸角は赤褐。翅鞘は暗黄、側縁及び接合部は基部を除き幅廣く黒色。脚は黄褐。これはタイワンのタテジマコメツキに似たるも體が大きく、觸角及び腿節黒色ならざるにより容易に識別し得べし。體長三分三厘。臺灣に産し、甘蔗を害す。
分布 臺灣。



ムネアカホソコメツキ
Megaperthes opacus Cancl. (四三〇)
體は黒色、光澤を缺く。前胸背及び前胸は美麗なる赤色。體長三分五厘。これは札幌地方に産すれども稀なり。
分布 北海道、本州。



ハネナガシコメツキ
Melanotus castaneus Payk. (四三一)
全體濃赤褐、背面の暗色なるものあり。灰黄の短毛を裝ふ。觸角は濃褐。脚は赤褐。體長六分内外。これは北地に普通なり。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。



カンシヨクシコメツキ
Melanotus tamnyensis Irt. (四三四)
體は橙黄褐色を呈し、一面黄色の毛を以て蔽はる。觸角及び脚は赤褐。體長六分内外。これは臺灣に普通なる種類にして、甘蔗に大害を加ふることあり。
分布 臺灣。



コガタコメツキ
Melanotus erythrocygus Cancl. (四三三)
體は黒褐、灰色の短毛を密生す。脚は黄褐。體長三分乃至四分。これは本邦何れの地方にも稀ならず。
分布 日本全土、臺灣。



クシコメツキ
Melanotus ligatus Cancl. (四三二)

ニイタカベニコメツキ
Tarathonus zunguis Plant. (四三七)
頭部、觸角、體下及び脚は黒色。前胸背並びに



アトグロマダラコメツキ
Melanoxanthus melanocephalus F. (四三五)
體は赤褐。頭部、觸角、前胸背中央の一縦條及び翅鞘後方の三分の一は黒色。腹部の後端は暗色。體長三分内外。これは沖繩及び臺灣に稀ならざる種類なり。
分布 琉球、臺灣。



キマダラコメツキ
Melanoxanthus jochyensis Iw. (四三六)
體は黒色、光澤あり。觸角の基部は赤褐。前胸背の後縁角、翅鞘の二横帯及び基部の細長の一紋は黄色。脚は黄褐。體長一分八厘内外。これは中禪寺附近及び伊豫に産す。
分布 本州、四國。



翅鞘は紅色、前者は中央に暗色の一縦條を具ふ。體長三分八厘。これは新高山に産する珍しき種類なり。
分布 臺灣。



體は濃赤褐。前胸背の側縁及び翅鞘の外側(翅端を除く)は黒色。體長三分。
分布 臺灣。

ヒゲコマツキ *Pectocera fortunei* Guenl. (四三八)

體は赤褐。翅鞘の中央に三四個の判然せざる灰白の大紋を縱列す。雄の觸角は長櫛齒狀を呈す。
分布 臺灣。



體長八分五厘。これは本邦普通の種類にして、夜間燈火に飛來するの性あり。
分布 北海道、本州、九州、臺灣。

カタグロホソコマツキ *Pengamnetus parallelarius* Miwa (四三九)



體長三分内外。これは日光附近に産するも、その數多からず。
分布 本州。

キマダラチビコマツキ *Proclaterius agnatus* Guenl. (四四一)

體は黄褐、光澤あり。頭部、前胸背は黒色。脚は赤褐。
分布 臺灣。

クロイクビコマツキ *Ptilonotus aeneus* Miwa (四四〇)

背面は黒色、少しく緑色を帯び、光澤あり。體下は少しく褐色を帯ぶ。全體褐色の短毛を裝ふ。觸角は黒色。脚は赤褐。
分布 臺灣。



これは臺灣に産するも餘り多からざる種類なり。
分布 臺灣。

ワモンコマツキ *Prosernon tessellatum* J. (四四三)

體は黒色若しくは黒褐、金色毛を密生す。翅鞘は赤褐乃至暗褐、處々に毛の少き部分ありて光線の工合に依り暗色紋を現はす。體長三分。
分布 臺灣。

ムツホシチビコマツキ *Proclaterius bipunctatus* Miwa (四四二)

體は暗褐。前胸背の兩側及び脚は黄褐。翅鞘には各三個の黄斑紋を有す。體長一分五厘。

五厘内外。これは樺太に産するも甚だ稀なるが如し。
分布 樺太、西比利亞、歐洲。

キベリマルコマツキ *Xyzocephala convexum* Miwa (四四四)



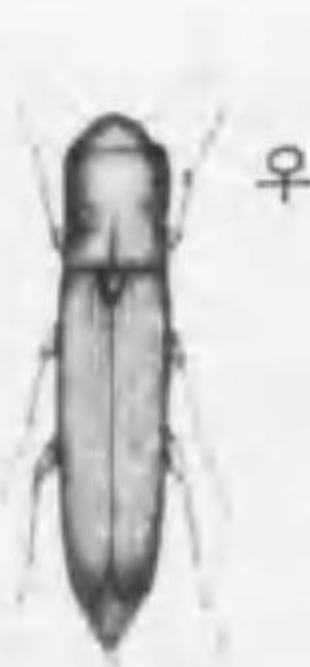
頭部及び前胸背は黒色、後者の側縁は黄褐。翅鞘は濃褐、周縁は淡色。體下及び脚は濃褐。體長三分五厘。これは千島に普通なるも、北海道には稀なり。
分布 海約島、千島、北海道。

四八 偽叩頭蟲科

Throscidae (Eucnemidae)

觸角十一節、鋸齒狀、櫛齒狀若しくは絲狀を呈し、稀に連鎖狀、複眼間にて相近接す。大脛短かく、これに一齒を裝ふ。兩脛は末端にて膨大し、卵形若しくは斧狀をなす。跗節は五節、前肢の基節は球形。腹部は五節よりなる。下唇は判然せず。幼蟲は朽木を以て食とす。本邦學名を有するもの數種あり。

カイロコマツキマダシ *Tharops brunneipennis* Mats. (四四五)



體は黒褐。觸角は暗褐。前胸背に金色の短毛多し。脛節及び翅鞘は黄褐。翅端は少しく暗色。體長四分五厘内外。札幌附近に産するも稀なり。
分布 北海道。

四九 擬叩頭蟲科

Languridae

觸角十一節、稍々連鎖狀にして、棍棒狀を呈し末端の三節は殊に太し。上唇は突出せる額片に蔽はれて僅かに其末端を出し、大脛は弓狀に曲り、鋭尖なり。小脛の末端は太く、稍々紡錘狀を呈す。前胸背は球形に近し。前肢の基節は球形、相隔離し、跗節は四節、初めの三節は膨大し、二葉に分る。體は細く、圓柱形を呈し、一見叩頭蟲に似たり。多くは牧草を以て食とするが如し。本邦學名を有するもの約十種あり。

アカコマツキモドキ *Anastatus fibiformis* F. (四四六)



體は光澤ある赤褐。觸角(基部を除き)及び脚(腿節の基部は赤褐)は黒色。體長二分五厘。これは本州及び四國に稀ならざるも、北海道に産せず。堆積せる牧草下に捕へ得べし。
分布 本州、四國、九州、滿洲、印度。

ツマダロアカコマツキモドキ *Anastatus praenustus* Grotch. (四四七)



♀ 體は光澤ある黄褐。翅鞘の後端、尾端並に腿節の末端は黒色。體長三分五厘。これは暖地に普通なるも、北海道には産せず。

分布 本州、九州。

コメツキモドキ *Tachybanaria ingens* Law. (四五八)



♀ 體は光澤ある黒緑色。體下は赤黄。腿及節び脛節の大部分は黄褐。體長二分五厘内外。これは本邦に稀ならざる種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

五〇 偽步行蟲科 *Yenchionidae*

Yenchionidae

觸角十一節、稀に十節なるものあり、多くは連鎖状にして、末端は稍、棍棒状を呈し、頭の下の方より出づ。大臑は普通末端にて二分す。小臑の末端節は斧状若しくは卵形を呈す。前肢の基節は球形若しくは卵形。翅鞘は間、癒着し、後翅を缺くものあり。成蟲、幼蟲共に朽木若しくは菌叢を食ひ、農家に有害なるもの少なし。本邦學名を有するもの百餘種あり。

ツノゴミ(ムシ)ダマシ *Anthraxus doellus* Law. (四四九)

♂ 體は黒色。觸角及び脚は赤褐、雄は頭部に長き二角状突起を有するも、雌にては其痕跡を留むるに過ぎず。體長四分。これは楡其の他の朽木に捕へ得べし。



分布 北海道、本州。

ニシゴミダマシ *Artodes junghfer* Mars. (四五〇)



♀ 體は青藍色、鏡物性の光澤あり。翅鞘は虹の如く赤、黄、藍、紫等の彩色を現はす。體下及び脚は黒色。體長二分五厘。これは朽木の樹皮に捕へ得べしと雖ども餘り多からず。

分布 本州。

ヨツホシゴミダマシ *Basanus erythoides* Law. (四五二)

♂ 體は光澤ある黒色。翅鞘基部に近き一横紋並に翅端の一紋は黄褐。腹面節は赤褐。跗節は暗褐。これは一見キノコムシに似たり。體長三分五厘内外。日光附近に稀ならざるが如し。



分布 本州。

オニゴミダマシ *Holthoplagnus felix* Law. (四五三)

體は暗灰色。觸角及び兩臑は赤褐。體下及び脚

♀



は褐色。體長三分五厘。これは札幌地方に産すれども餘り多からず。分布 北海道、本州。

モンキゴミダマシ *Diaperis lewisii* Kat. (四五四)

♀



體は光澤ある黒色。體下及び脚は少しく藍色を帯ぶ。翅鞘中央の一横紋、翅底の一横帯及び翅端の小紋は黄赤。體長三分。これは朽木の樹皮下に捕へ得べし。分布 北海道、本州。

オホモンキゴミダマシ *Diaperis nipponensis* Law. (四五五)

♂



體は光澤ある黒色。翅鞘の基部、中央の一横帯及び翅端の各一紋は黄褐。體長三分二厘内外。これは本邦普通の種類にして、

菌叢に捕獲し得べし。分布 本州。

ルリゴミダマシ *Eucyathus violaceipennis* Mars. (四五五)

♀



體は黒色。翅鞘は黒藍色、金屬の光澤を有す。

體長五分三厘内外。これは朽木に捕獲し得べしと雖も稀なり。分布 北海道、本州。

ヒメスナゴミダマシ *Gonocephalum japonum* Motsch. (四五六)

♂



體は暗黒色。觸角、體下及び脚は黒褐。背面に黄褐色の短毛を裝ふ。體長三分内外。これは本邦到る所の砂地に稀ならず。

分布 北海道、本州、九州。

スナゴミダマシ *Gonocephalum pubens* Mars. (四五七)

♀



體は暗黒。觸角の梗節は赤褐。翅鞘及び體下に黄色の短毛を生ず。體長四分五厘内外。これも砂地に普通なり。分布 北海道、本州。

ヒゲプトゴミダマシ *Lypros sinensis* Mars. (四五八)

♀



體は黒褐。兩臑は黄色。翅鞘に黒色の短毛を生ず。脚及び觸角の黄褐色のものあり。體長三分内外。これは本邦稀ならざる種類にして、朽木に捕へ得べし。分布 北海道、本州、九州。

ナガゴミダマシ

Menophilus lucens Mars.

♀



體は光澤ある黒褐。脚は黄褐。體長四分内外。これは本邦稀なる種類にして、前種同様朽木に捕獲し得べし。

分布 北海道、本州。

ホネゴミダマシ

Phaleria ruficornis Fald.

體は黒色、少しく紫色を帯ぶ。觸角は赤褐。翅鞘は黄色、凹凸ある不定の黒紋を装ふ。脚は黄色。體下及び腿節は黒褐。體長二分四厘。これは本邦海岸の屍骨に稀ならず、時に蘆芥下に捕へ得べし。



分布 北海道、本州、支那。

アトコブゴミダマシ

Phalopsis sulcata Lew.

體は黒色、全體灰褐の細鱗を密布す。前胸背に

凹凸多く、翅鞘の後方に瘤状突起を装ふ。翅鞘

♂



の縦溝中には二列乃至三列の點刻あり。體長七分内外。これは日光附近に稀ならず。

分布 本州。

ヒメキマハリ

Psephenotanus laevicollis Har.

♀



體は光澤ある黒色。觸角各節の基部並びに脛節は赤褐。體長三分五厘。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布 本州、九州。

クロキマハリ

Psephenotanus nigrocyaneus Motsch.



のとあり。體長四分五厘内外。これは本邦到る所に普通の種類なり。枯木に捕へ得べし。幼蟲は朽木の樹幹内に捕へ得べし。

分布 北海道、本州、九州。

オホゴミダマシ

Selenis insomnis Lew.

♀



分布 臺灣。

アラツヤナゴミダマシ

Strongylium erythrocephalum F.

體は光澤ある暗青色。翅鞘は少しく緑色を帯ぶ。觸角は黒褐。腿節は赤褐。脛節は黒色。體長五分五厘内外。これは臺灣に産するも、餘り多からざるが如し。

♀



分布 臺灣、支那、印度。

ウスイロゴミダマシ

Strongylium japonum Mars.

全體暗褐。背面は少しく緑色を帯ぶ。前胸背及

體は黒褐乃至黄褐。跗節に金色毛を装ふ。體長七分五厘一吋。これは札幌地方に普通なる種類にして、朽木に捕へ得べし。

♀



分布 北海道、本州。

ユミアシオホゴミダマシ

Selenis valqipes Mars.

♀



び腿節の末端は濃色。體長五分内外。これは本州に稀ならざるも、北海道には産せず。



分布—本州。

シハナガゴミダマシ……………(四七〇)

Strongylum schenkingi Gebien

體は黒線。翅鞘に太き横皺を具へ、光澤あり。體下及び脚は少しく青色を帯ぶ。體長九分内外。これは臺灣の平地に産する普通種なり。



分布—臺灣。

コメゴミダマシ……………(四七一)

Tenelurio olsecurus F.

體は赤褐。頭、前胸背及び翅鞘は黒褐。脚は赤

褐。翅鞘に細き縦溝を裝ひその間室に一系列の點刻を具ふ。體長五分五厘内外。これは本邦何れの地方にも分布せる普通種にして幼蟲は有名なる米の害蟲なり。



分布—世界共有。

ナミゴミダマシ(ゴミシダマシ)……………(四七二)

Tenelurio puejiesi Herbst

體は黒褐。體下及び脚は暗褐。體長六分内外。これは朽木に普通なる種類なり。幼蟲は朽木の樹皮下にありて、黄褐を呈し、針金蟲に似たり。



分布—北海道、本州、九州。

ヨツコゴミダマシ……………(四七三)

Uloana bouzica Mats.

五一 偽葉蟲科 *Laagriidae*

觸角は絲狀若しくは棍棒狀、各節に細毛を裝ふ。大腿の末端は二分す。小腿の末端は斧狀を呈す。體は稍々長く、少しく平たし。頭は圓形。翅鞘は普通細毛を密生し、後方にて廣まる。幼蟲は地中にありて朽木根を食す。成蟲は食葉性なれども、農家に有害なるもの稀なり。本邦に産するもの約二十五種あり。

モモフトハムシダマシ……………(四七六)

Anisotira abnormalis Boreh.



大す。全體暗褐なるものを *f. kikuchii* Kono と云ふ。體長三分八厘内外。これは臺灣に産するも多からず。

ツマアラハムシダマシ……………(四七七)

Arthronaera apicalis Kono

體は赤褐乃至黒褐。觸角、兩腿及び脚は赤褐。



分布—北海道、本州。

エグリゴミダマシ……………(四七四)

Uloana latimanns Kolbe

體は赤褐。頭頂は黒褐。前胸背の前方に深く凹陥せる部分あり。前種に似たるも體邊かに小なれば容易に識別し得べし。體長二分六厘内外。これは本邦普通の種類にして、朽木に捕獲し得べく、特に朝鮮に多し。



分布—北海道、本州、九州、朝鮮。

アラメオホゴミダマシ……………(四七五)

Upis ceramoides L.

全體黒色。翅鞘は粗粒にして、光澤を有す。體長六分五厘。これは樺太に産するも稀なり。

體は濃褐。背面は赤紫色を帯ぶ。翅鞘の後半は光澤ある綠色。觸角及び脚は黄褐。體長三分五厘。これは日光附近に産すれども少なし。



分布—本州。

クロケブカハムシダマシ……………(四七八)

Arthronaera robusticeps Jev.

體は黒褐、綠色の光澤あり。觸角及び脚は赤褐。翅鞘に直立せる灰色毛を裝ふ。體長五分五厘内外。これは札幌附近に普通なるも、暖地には稀なり。



分布—樺太、西比利亞、歐洲。



分布 北海道、本州、九州。

アヲハムシダマシ……………(四七九)

Arthropometra viridissima Law.

體は綠色又は金綠色、稀れに少しく赤色を帯ぶるものあり、金屬性の光澤を有す。觸角、腿節の基部及び附節は黃褐。體長三分五厘内外。これは高原地帯に多し。北海道に産せず。



分布 本州、九州。

オホハムシダマシ……………(四八〇)

Laagrija formosensis Boreh.

體は暗褐。頭部、觸角及び脚は黒褐。翅鞘に灰黄の短毛多し。體長三分三厘内外。これは臺灣に普通なる種類にして、



桑の害虫なり。

分布 臺灣。

キクチハムシダマシ……………(四八一)

Laagrija kikuchi Kono

體は赤褐。翅鞘は淡黄、接合線は褐色。觸角は黒色、基部は濃褐。脚は腿節の基部を除き黒色。體長四分



内外。これは臺灣中部の高原地に産するも稀なり。

分布 臺灣。

ナミハムシダマシ(ハムシダマシ)……………(四八二)

Laagrija nigricollis Hope

體は黒色。翅鞘は赤褐乃至黄褐、同色の長毛を密生し、判然せざる縦隆を裝ふ。體長二分八厘内外。これは本邦最も普通なる種類にして、豆科植物の害虫なり。



分布 樺太、日本全土、西比利亞、支那。

クビアカハムシダマシ……………(四八三)

Tagriocera ruficollis Boreh.

體は黒色、灰色の軟毛を密生す。前胸背は赤色。雌には全體赤褐なるもの多し。體長三分



内外。これは臺灣に普通なり。

分布 臺灣。

フジハムシダマシ……………(四八四)

Macrologria fujisana Law.

體は光澤ある黒褐。觸角及び腿節は赤褐。翅鞘黄褐、明かなる點列あり。前胸背の前觸角は判然す。體長三分五厘。これは東京地方に稀ならず。



分布 本州。

クロナガハムシダマシ……………(四八五)

Nemostira occipitalis Boreh.

體は黒褐、背面は少く濃色。脚は暗褐。脚及

五二 偽朽木科 Ohniidae

觸角は十一節、前額の下より出で、終りの三節は球桿状を呈す。頭は大にして、扁たし。前肢の基部は小、その高は後方にて閉塞す。腹部は五節、各節は動き得べし。脚は細長なり。小形の種類にして、樹液に集る。本邦に産するもの約八種あり。

マダラクチキダマシ(マダラキスヒ)……………(四八六)

Ohnius kraatzi Keitt.

體は黒褐。觸角及び脚は赤褐。翅鞘は暗黄、四個の波状紋は黒色。體長一分五厘内外。これは札幌附近に普通なる種類にして、榊、檜、榆等の樹液に集來す。



分布 北海道、本州、西比利亞。

五三 朽木蟲科 Alleculidae

觸角十一節、絲状にして、稀に鋸齒状若くは鞭狀。大腮端の二分せるものあり。小腮齒及び下唇齒の末端節大にして斧状を呈す。爪には鋸齒状の齒を有す。頭は前胸下に退縮し、僅に前頭を現はす。成蟲は花上に多く、幼蟲は朽木若くは菌叢の中にあり。本邦に産するもの約四十種あり。

アヲバクチキ(ムシ)……………(四八七)

Allecula aeneipennis Har.

體は濃褐、背面は黒色を帯ぶ。觸角は褐色。翅鞘は光澤ある綠色ある褐色の短毛を裝ふ。體長三分内外。これは東京附近に産するも、餘り多からず。



分布 本州。

クリイロクチキ……………(四八八)

Allecula bitumellata Mats.

♀



體は栗色。觸角及び脚は赤褐色。翅鞘の稍と淡色なるものあり。これはタチキムシに似たるも、體遙かに小にして、幅廣し。體長二分五厘内外。九州に普通なり。
分布 本州、九州、臺灣。

鞘に深き點刻溝あり。體長五分内外。これは本邦普通の種類にして、朽木に捕へ得べし。
分布 本州、九州、臺灣。

ナミクチキ (タチキムシ)..... (四九〇)

Allecula melanaria Maki.

體は黒色、少しく光澤を有す。觸角及び脚は褐色。體長三分五厘。これは本邦普通の種類なるも、北海道には産せず。朽木に捕獲し得べし。

♀



分布 本州、九州。

モモフトオホクチキ..... (四九一)

Alleculodes sauteri Boreh.

體は赤褐色、觸毛を粗生す。脚は淡黄、各腿節の末端及び腿節の基部は暗色。體長五分内外。これは臺灣に産するも稀なり。

フタホシオホクチキ..... (四九二)

Cistulina bimaculata Fairm.

體は淡黄、同色の短毛を裝ふ。觸角は黒色、基部は黄色。翅鞘後方の各一紋は黒褐色。尾端の二節、腿節及び跗節は黒色。體長三分内外。これは臺灣の中部山地に産するも稀なり。
分布 臺灣。



分布 臺灣。

シリグロオホクチキ..... (四九三)

Cistulina cruscicornis Boreh.

體は淡黄。觸角、腿節、跗節及び尾端の二節は黒色。翅鞘に灰黄の短毛を粗生す。體長三分。これは臺灣に産するも稀なり。
♀



分布 臺灣。

アカオホクチキ..... (四九四)

Cistulina tricolor Boreh.

背面は赤黄。翅鞘は天竺絨様の朱色を帯ぶ。體下
♀



第三精翅目

キイロクチキ..... (四九五)

Chenopinus hypocrita Mats.

體は美麗なる黄色、同色の短毛を密生す。觸角、腿節の末端、腿節及び跗節は黒色。體長三分
♀



分布 九州。

ホソキイロクチキ..... (四九六)

Chenopinus tyonis Kono

體は淡黄、褐色の短毛多し。觸角、腿節及び跗節は黒褐色。これは前種に似たるも體細く、淡色にして、腿節の末端黒色ならす。體長三分七厘。四國伊豫地方に産すれども
♀



ヒロウドクチキ..... (四九七)

Chenopinus taiwanus Kono

地色は黒色なるも、全體天竺絨様の黄褐色を密生す。各腿節は末端を除き褐色。體長五分五厘内外。これは臺灣の山地に産するも稀なり。
♂



分布 臺灣。

ツノアカクチキ..... (四九八)

Hymenorus veterator Le.w.



體は黒褐色。觸角及び脚は赤褐色。翅

鞘に褐毛を装ふ。體長二分内外。これは札幌附近に産するも、比較的稀なる種類なり。

分布—北海道、本州。

アカハネヒメクチキ……………(五九九)

Hymenalia rufipennis Mur.

體は黒色。觸角並に脚は黒褐。翅鞘は光澤ある赤色。體長一分七厘内外。これは九州に普通なる種類なり。



♀

分布—九州、臺灣。

クリイロフナガタクチキ……………(五〇〇)

Isomira matsunurui Kono

全體は栗色。翅鞘には金色の黄毛を密生す。眼は甚だ大なり。體長一分五厘内外。臺灣に産するも多からず。



♀

分布—臺灣。

フナガタクチキ……………(五〇一)

Isomira oculata Mur.

♀



全體赤褐
翅鞘に黄
色の短毛
を生ず。
體長一分
五厘内外
これは九

州に産すれども餘り多からず。
分布—本州、九州。

クロホシクチキ……………(五〇二)

Pseudoiseta laegi Har.

體は黒色。前胸背は赤色、中央に黒魚の一大紋



♀

分布—本州。

あり。體
長二分七
厘。これ
は東京附
近に産す
れども稀
なり。

五四 擬吉丁科

Monomniidae

觸角短かく、十一節よりなり、前胸下に縱溝ありてその内に嵌入す、末端の三節大、棍棒状を呈し、基節長し。大臑短かく、末端は二分す。小臑は二葉に分れ、小臑鬚は四節、末端節は大、斧状を呈す。下唇鬚は三節、末端節は長大、末端は截断状に終はる。腹部五節、第一節は大。卵形の膨起せる種類にして、一見吉丁蟲に似たり。本邦學名を有するもの二種あり。

トビイロタマムシモドキ……………(五〇三)

Monomna glyptisternum Mur.

♀



體は栗色。觸角の
末端は少しく淡
色。體下及び脚は
褐色。體長三分内
外。これは本邦甚

だ稀なる種類なり。
分布—本州、臺灣、東印度。

五五 擬天牛科

Oedemeridae

觸角十一節、雄に限り十二節なるものあり、絲狀若しくは鞭状を呈し、眼前に位す。小臑鬚の末端は普通斧状を呈す。頭は突出し、前胸細く、翅鞘甚だ長し。脚は細長、第三跗節は二個の小片に分離するもの多きも、又心臟形をなすものあり。形天牛に類似せるも、翅鞘軟質なるを以て、識別すること難からず。幼蟲は多く朽木を食するが故に、農家に有害なるものなし。成蟲は普通花に多く、暗んで燈火に飛來す。稀に有毒なるものありて、皮膚に觸るれば腫傷を生ず。本邦學名を有するもの約四十種あり。

スチカミキリモドキ……………(五〇四)

Chrysanthia viatica Lew.

♂



體は金屬性の光澤ある黒緑。翅鞘は赤紫色乃至金緑色。體長二分内外。これは高山に多き種類なり。

分布—樺太、北海道、本州。

ミヤマカミキリモドキ……………(五〇五)

Ditylus laevis F.

體は黒藍色、翅鞘は各三條の判然せざる縦條を装ふ。これは北地の高山に多く、殊に溪谷に捕獲し得べし。體長五分三厘内外。



♀

分布—樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

アカクビカミキリモドキ……………(五〇六)

Ditylus ruficollis Lew.

頭部、觸角、稜状部、翅鞘及び脚は黄色。前胸背は赤色。體下は黄褐。往々脚の大部黄褐なるものあり。體長二分五厘内外。これは本州に産

すれども稀なり。



♀ 本州。

ツグロカミキリモドキ……………(五〇七)

Polia amantia Law.

體は暗黄。觸角、頭部、翅鞘の末端及び脚(腿節の基部を除き)は黒色。體長三分内外。九州には餘り多からざるも、沖縄及び臺灣には普通なり。



♀

九州、沖縄、臺灣。

ルリカミキリモドキ……………(五〇八)

Nacerta (Anonclodes) coarctata Germ.

雄は全體黒色。雌は大部黄色、前胸背並に腹部は赤黄。體長三分五厘内外。これは樺太に普通なるも北海道には稀なるが如し。織形科植物の花上に捕(得)りし。



♀

樺太、北海道、西比利亞。

ツマグロカミキリモドキ……………(五〇九)

Nacerta melanura L.



♀

似たるも、その異なる所は、頭部黄褐色にして、體の一層扁平なるにあり。體長四分内外。本邦餘り多からざる種類なり。

本州、朝鮮、西比利亞、歐洲。

クロアラカミキリモドキ……………(五一〇)

Oedemera concolor Law.

體は暗緑、灰褐の短毛を被ふ。翅鞘に各二條の縦隆を裝ひ、その内方のものは短かし。體長三分内外。これは春タンポポの花上に捕(得)べく、札幌附近に普通なり。



♀

樺太、北海道。

キアシカミキリモドキ……………(五一二)

Oedemera manicata Law.

體は黒色、少しく綠色を帯ぶ。翅鞘は暗緑、二條の縦隆を裝ひ、その内方のものは短かし。觸



♀

角は黒褐、基部は淡色。前肢(腿節の基部を除く)及び中基節は黄色。體長二分七厘内外。これは信州地方の高山地帯に産するも少なし。

本州。

モモプトカミキリモドキ……………(五一三)

Oedemera montana Mats.

體は黒藍色。觸角、脛節及び跗節は暗褐。雄の後腿節は頗る肥大す。體長二分五厘内外。こ



これはタンポポの花に多し。

北海道、本州、九州。

クロカミキリモドキ……………(五一三)

Oedemera nigripennis Mats.



♀

第三輯 翅目

る普通種なり。其尾端より生ずる液汁に觸るれば皮膚は一種の水腫を生ず。



♀

樺太、北海道、本州。

キイロカミキリモドキ……………(五一六)

Xanthochroa hillari Har.

全體赤黄。觸角及び脚は暗色。體長四分三厘内外。これは本邦最も普通の種類にして、織形科植物の花上に捕(得)べし。



北海道、本州、九州。

キカミキリモドキ(カミキリモドキ)……………(五一七)

Xanthochroa luteipennis Mats.

體は黒色乃至黒褐。翅鞘は黄色乃至暗黄。體長



三分五厘内
外。これは
春タンゴボ
の花上に捕
へ得べし。
分布 北海
道、本州、
九州。



Xanthochroa waterhousei Har.
體は黄赤。翅鞘は金屬性の光澤ある暗緑。體
長五分内
外。これ
は札幌附
近の花上
に普通な
る種類な
り。

五六 樹皮蟲科 Pythidae
觸角は棍棒狀。大臑端は二分す。小臑端の末端
は斧狀若くは卵形。前肢の基節は球形。前胸背
の兩側に鋸狀齒を有するもの多し。頭は稍々口
吻狀に延長すれども、前胸下に退縮して、僅に
前頭を現はすに過ぎず。微小なる種類多し。本
邦學名を有するもの十數種あり。

ヲガサハラカミキリモドキ……………(五八)

Xanthochroa ogusawarensis Mats.

體は暗褐。觸角、脛節及び跗節は黄褐。前胸
背の前後
兩縁は淡
色。體長
三分五厘
内外。小
笠原島に
産し、尾端より滲出する液汁は人の皮膚にふる
れば一種の水腫を生ず。燈火に飛來するの性あ
り。



分布 小笠原島。

分布 樺太、北海道、本州、九州。

オホキカハムシ……………(五二〇)

Pytho nivalis Law.

體は灰白。觸角、
翅鞘及び跗節は
黒褐。前胸背に
二大凹陥あり。
體長五分五厘内
外。これは高山地方に産するも稀なり。



分布 本州。

アラカミキリモドキ……………(五二九)

五七 長朽木科

Melandryidae (serropalpiidae)

觸角は十一節、稀に十節、絲狀にして、末端に
て多少棍棒狀を呈す。大臑は普通末端にて二分
す。小臑端は大、内側は鋸齒狀、末端は斧狀を
呈す。前肢の基節は圓錐形にして、突出す。前
胸背の兩側の圓きもの多く、後縁角の突出せる
ものあり。成蟲、幼蟲共に朽木若くは菌叢を食
とす。農家に有害なるものなし。本邦學名を有
するもの約五十種あり。

ホウズナガクチキ(ムシ)……………(五二二)

Konzius hyaerita Law.

體は黒色、黒色の短毛を粗生す。兩腋及び翅鞘
の基部は
暗褐。腿
節の末端
及び各腹
節の後縁



は黄色。體長四分七厘内外。これは本州に産す
るも多からず。
分布 北海道、本州。

ムツモンナガクチキ……………(五三二)

Diraconorpha validicornis Law.

體は黒色、黒色
の短毛多し。觸
角の基部は赤
褐。翅鞘の六紋
産するも多からず。
分布 本州。



ヨツホシナガクチキ……………(五三三)

Holostrophus lewisi Csiki

體は暗褐。觸角、脚、腹部及び翅鞘上の四紋は
黄褐。體長一分五
厘。これは京都地
方に産すれども稀
なり。
分布 本州。



セアカナガクチキ……………(五三四)

Yania coccinea Law.

體は黒色。前胸背に紅色の毛を裝ふ。翅鞘は美
麗なる天鵝絨様の紅色。體長三分五厘内外。こ
れは本州に普通なり。



カラフトナガクチキ……………(五三六)

Melandrya karattonis Käno

全體暗褐色、褐色の細毛を装ふ。前胸背の中央に一縦溝を具へ、其兩側に各一個の幅廣き縦溝を装ふ(これは前方にて消失す)。體長三分内外。此種類は樺太小沼附近に産するも稀なり。



分布—樺太。

ツノアカナガクチキ.....(五三二)

Melandrya nudistola Lew.



體は黒色
觸角(基部を除く)口部、脚及び腹端は褐色。前腿節の末端及び中後兩腿節の大部分は暗色。體長四分内外。これは札幌附近に産するも多からず。

分布—北海道。

キアシナガクチキ.....(五三八)

Melandrya mongolica Solsky



體は光澤ある黒色
翅鞘に軟色の光澤あり。觸角及び脚は赤褐。體長四分内外。これは本邦普通の種類なり。

分布—北海道、本州、滿洲。

オホナガクチキ.....(五三九)

Melandrya niponica Lew.



體は黒色、灰白の短毛を装ふ。翅鞘に各五條の太き縦隆を具ふ。體長五分三厘内外。これは本州に普通なるも、北海道には稀なり。

分布—北海道、本州。

キスチナガクチキ.....(五三〇)

Mikadonus gracilis Lew.



體は黒色
觸角の基部、頭部の前半、翅鞘の太き各一縦條、前胸、第一、第二腹節及び脚は黄褐。體長五分内外。これは關東地方に普通なる種類なり。

分布—本州。

アカオビニセハナノミ.....(五三一)

Orchesia inflans Lew.



體は黒色。觸角の基部は黄色。脚は褐色。翅鞘は赤褐、翅底の一大紋、中央の横帶並びに翅端は黒褐。體長一分五厘。これは本邦普通の種類なるも北國に産せず。

分布—本州、九州。

カバイロニセハナノミ.....(五三二)

Orchesia ocellaris Lew.

ムネアカナガクチキ.....(五三七)

Phryganophilus trifolius F.



體は黒色、同色の短毛を密生す。前胸及び腹部の末端節は光澤ある淡黄褐、同色の短毛多し。體長四分五厘内外。

分布—樺太、本州。

クビカクシクチキ.....(五三八)

Scotodes niponicus Lew.

體は褐色。觸角及び脚は赤褐。翅鞘に灰色の毛塊を散在するを以て宛も褐色紋を散在するが如し。體長三分内外。これは札幌附近に多し。

モンキナガクチキ.....(五三三)

Ventha japona Mars.



體長二分内外。これは東京附近に多し。

分布—樺太、本州。

體は黒色。觸角の末端並びに稜状部は金色。體長五分内外。これは札幌地方に普通なる種類



にして、菌叢に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州。

ホソナガクチキ.....(五三四)

Phloeotrypa laticornis Lew.



體は暗褐
觸角は黄褐。翅鞘に二三の

キオビナガクチキ.....(五三六)

Phloeotrypa flaviventris Lew.



體は黒色。兩翼、跗節、前胸背中央の一縦條並に翅鞘の二横帯は美麗なる赤黄。體長四分内外。これは本邦普通の種類なり。

分布—北海道、本州。

分布—樺太、北海道、本州。

オホホソナガクチキ……………(五三九)

Xeropalpus barlatus Schall.

體は栗色、全體黃褐の短毛を密生す。觸角及び跗節は赤褐。これはホソナガクチキに似たるも、觸角細長にして、翅鞘に各八條の點刻あるを以て容易に識別し得。體長六分五厘内外。これは樺太及び北海道に稀ならず。



分布—樺太、北海道、西比利亞。

キイロナガクチキ……………(五四〇)

Xeropalpus nipponicus Law.

全體赤褐、同色の短毛を密生す。體形オホホソナガクチキに似るも、體遙かに小なり。體長三分二厘。これは本邦普通の種類にして、朽木に捕へ得べし。



分布—樺太、北海道、本州。

五八 花蚤科 Mordellidae

觸角十一節、絲狀、往々内側に鋸狀齒を有するものあり。大腿の内方に皮膜を裝ひ、小腿の末端節斧狀を呈す。頭は下方を向き、口部は前肢の基節と相接す。後肢は甚だしく發達し、脛前部に一雙の距を具ふ。尾端は多く延長す。大部は小形種にして、水瓜の切片に似たり。成蟲は花上に捕獲し得べしと雖も、幼蟲は朽木その他衰弱せる樹木に竄入して大害を加ふることあり。本邦に産するもの約四十種あり。

オホクロフナガタハナノミ……………(五四二)

Anaspis frontalis L.



體は黒色。觸角の基部、口部及び前肢は赤黄。體長一分七厘。これは北海道の高山地帯及び樺太に産す。

分布—樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

コフナガタハナノミ……………(五四三)

Anaspis funagata Kôno

體は黒色。體下には灰白の短毛を、翅鞘の基部には褐色の短毛を密生す。前胸背中央の二條側縁、翅鞘中央の一横帯及び翅端に近き一横帯は灰白。體長三分五厘。これは小笠原島に産す。



分布—小笠原島。

サウテルオビハナノミ……………(五四七)

Glyptis sautori Pic

體は黒色。前胸背の周圍及び後方の二紋、翅鞘基部の鈎狀紋、後方の一帯等は灰色の短毛よりなる。體下には灰色の短毛を密生す。體長四分。これは臺灣に産するも餘り多からず。



分布—臺灣。

節に一對の細き附屬物を具ふ。體長一分内外。これは本邦何れの地方にも産し、繖形花科植物の花上に捕獲し得べし。



分布—北海道、本州、九州、臺灣。

コオビハナノミ……………(五四五)

Glyptis fasciata Kôno

體は黒色。觸角及び前腿節は黄色。前胸背には灰黄色毛を密生し、三個の黒紋を有す。翅鞘基部の環狀紋と後方の一帯とは灰黄、肩部に赤褐毛あり。體下には灰黄毛を密生す。體長二分五厘。これは伊豫地方に産するも稀なり。



分布—四國。

ヲガサハラオビハナノミ……………(五四六)

Glyptis ogasawarenensis Kôno

分布—臺灣。

體は黄赤色。觸角(基部を除き)並びに腹部の後半は暗褐。體長一分。これは中禪寺附近に産するも餘り多からざるが如し。



分布—本州。

キイロフナガタハナノミ……………(五四三)

Anaspis (Shirata) luteola Mur.

全體赤黄。翅鞘に黄色の短毛を裝ふ。觸角は基部の三節を除き黒色。體長一分。これは本邦普通の種類にして、花上に捕へ得べし。



分布—本州、四國、九州。

クロフナガタハナノミ……………(五四四)

Anaspis matsushii Gaki

全體黒色。觸角基部の三節は黄角。雄の第三腹

ヲナシハナノミ……………(五四八)

Macrotomoxia castanea Pic

♀



體は濃褐色、金色の短毛を密生す。體長四分五厘。これは本邦最大のハナノミにして、臺灣に産するも多からず。
分布—臺灣、支那。

クロハナノミ……………(五四九)

Mordella aculeata L.

♀



體は黒色。中胸側板及び第一腹節の前縁に銀色毛を密生す。體長二分内外。これは北國に普通の種類なり。
分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、歐洲。

アカカタハナノミ……………(五五〇)

Mordella aurata Kôno

♀



(a) 後肢

(A)



フタモンヒメハナノミ……………(五五五)

Mordellistena altestrigata Mars.

♀



全體黒色。前胸背の後縁、翅鞘の各一紋、翅底並びに縫合線は金色毛を密生す。體長一分内外。これは東京附近に稀ならざるも臺灣には少なし。
分布—本州、四國、臺灣。

カタビロヒメハナノミ……………(五五六)

Mordellistena auramentata Kôno

體は赤褐色。觸角は基部を除き黒色。翅鞘は栗色、肩部淡黄にして、金色毛を裝ふ。體長一分八厘。



♀

横紋は金色。體長一分五厘内外。これは本州に産するも稀なる種類なり。
分布—本州。

キンオビハナノミ……………(五五二)

Mordella flavimana Mars.

♂



體は黒色。觸角の基部及び前肢は赤色。翅鞘の二横帯及び接合線の前半は金色。體長二分五厘。これは本邦餘り多からざる種類なり。
分布—北海道、本州。

キボシハナノミ……………(五五三)

Mordella lannonomi Kôno

體は黒色。前胸背の前方に並列せる環狀紋及び後縁、翅鞘上の數紋は黄色。體下面並に脚は大部灰色の短毛を密生す。腹節の兩側は黒色。體長三分内外。これは本州の高原地方に稀ならざる種類なり。
分布—北海道、本州。



♀

これは札幌地方に産すると雖も稀なり。

(a) 後肢

(A)



分布—北海道。

アサハナノミ……………(五五七)

Mordellistena comae Mars.

♀



全體黒色。翅鞘に黒色の短毛を密生し、光線の工合により光澤を現はす。體長二分内外。これは本邦普通の種類にして、麻の害虫なり。
分布—北海道、本州、九州。

クロツヒメハナノミ……………(五五八)

Mordellistena longula Kôno

體は赤黄色。頭部、中胸、翅鞘の後半及び腹部



♀

分布—本州。

シラホシハナノミ……………(五五九)

Mordella perlata Sulz.

♂



體は黒色。前胸背の數紋並に翅鞘の數紋は銀白。體長三分内外。これは本州にては高山地帯に産するも、北國にては平地に普通なり。
分布—樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

アカヒメハナノミ……………(五五九)

Mordellistena aka Kôno

全體赤褐色、短き金色毛を生ず。體長一分三厘。これは四國に普通なる種類なり。
分布—四國。



♀

の末端は暗褐色。體長一分五厘。これは本州に産するも餘り多からず。

(a) 後肢

(A)



分布—本州。

チヤイロハナノミ……………(五五九)

Mordellistena rosseola Mars.

♀



全體栗色。觸角及び前肢は黄色。翅鞘上の短毛は光線の工合により赤紫色を呈す。體長一分五厘内外。これは本邦普通の種類なるも北海道に産せず。
分布—本州、九州。

ジフジハナノミ……………(五六〇)

Tomoxia crux Kôno



♀
體は黒色。背面に褐色毛を装ふ。前胸背の周圍、兩翅鞘の十字形紋の短毛を密生す。體長二分八厘。これは北海道の中部山地に多し。
分布 北海道。

モンハナノミ

Tomoxia nipponica Kôno



♀
體は黒色。背面は灰黄の短毛を密生す。前胸背の五紋、翅鞘の肩部、二帯及び翅端は黒色。體下及び脚に灰白の短毛を装ふ。體長二分五厘内外。中禪寺附近に産す。
分布 本州。
ネジロモンハナノミ……………(五六二)

Tomoxia scutellata Kôno



♀
體は黒色。前胸背の周圍、翅鞘の中央部、接合線の前半、體下及び脚には灰色の短毛を密生す。翅鞘の灰色部に數個の黒點を装ふ。體長三分五厘。これは中禪寺附近に稀ならざるが如し。
分布 本州。

ヤクモンハナノミ

Tomoxia yakui Kôno



♀
體は黒色。背面には灰褐色を装ふ。前胸背の三紋、翅鞘の二帯、翅底の一紋並びに翅端は黒色。體下及び脚に銀白の短毛を密生す。體長三分五厘。これは札幌附近に産するも多からず。

五九 偽花蚤科

Scaphitidae

觸角は絲狀。頭部は眼の後方に於て著しく緊縮す。小脛鬚は稍々斧狀。前肢の基節高は後方に於て開く。後跗節は後脛節と略々同長。爪の基部に小齒あり。何れも小形の種類にして、農林業者に關係少し。本邦に産するもの四種あり。

ツグロハナノミタマシ

Scaphia brunnea Mars.



♂
體は黄褐色。頭部は黒色。翅鞘に灰黄毛を密生す。體長一分二厘。これは本邦には餘り多からず。
分布 本州。

六〇 大花蚤科

Rhipiphoridae

觸角は十一節、雄にては羽狀若しくは扇狀、雌にては筒筒狀を呈するもの多し。大脛の基部に皮膜を缺く。小脛鬚四節、その端節は稍々棍棒狀をなす。下唇鬚三節。脚基節は圓錐形にして、突出す。幼蟲は多く蜂窠に寄生し、異形變態をなす。稀に柱に孔を穿ち、大害を加ふるものもあり。本邦學名を有するもの十種あり。

フタオヒオホハナノミ

Macrosigona bifasciata Mars.



♀
體は黒色。頭頂、前胸背、翅鞘の外側、接合線及び脚は赤褐色。翅鞘の二横帯、後肢基節、後胸後側片の後縁等は黄色。體長三分内外。これは暖地に産するもの少し。
分布 本州、四國、九州。

タイワンオホハナノミ

Macrosigona ferrugineum F.



體は赤褐若しくは赤黄。觸角の大部、口部、胸部の下面及び腹部側方の斑紋は黒色。體長三分内外。これは臺灣に産するも多からず。
分布 臺灣、印度、南歐、亞弗利加。

ヒトスチオホハナノミ

Meteorus paratoxus L.



♂
體は光澤ある黒色。前胸背の後縁角は黄色。雄の翅鞘は末端を除き黄赤。雌の腹部下面は黄色。體長三分内外。これはクロスズメバチの巢に寄生するも餘り多からざるが如し。
分布 本州、歐洲。

クロオホハナノミ……………(五六八)

Meloeus satanus Schiller

♀



雌は全體黒色。腹部は赤黄、腹背板は青藍色を呈す。體長三分五厘内外。これはクロスズメバチの巢に寄生す。

分布 樺太、北海道、本州、チベット。

ミスチオホハナノミ……………(五六九)

Meloeus vesque Kôno



♀

體は黒色。腹節の背板は青色を帯ぶ。體長三分内外。これはキヲビクロスズメバチの巢に寄生す。

す。定山溪にて採集せられたる珍種なり。

分布 北海道。

キクヒオホハナノミ……………(五七〇)

Microcoletooides japonica Fir

♂



體は黒色若くは淡褐色。翅鞘は濃褐色。翅角及び脚は褐色。體長一分五厘内外。幼蟲はブナ、マツ等の柱に穿孔して大害を加ふ。

分布 北海道、本州、臺灣。

六一 地膽科 *Meloidae*

ツチハンメウ

觸角十一節、稀に八節乃至十節、其中央往々膨大す。後頭は頸狀を呈す。大臑は三角形、その内側に齒あり。前胸は細し。翅鞘軟質、その短かきもの多し。脚の各爪は二分す、前肢の基節甚だ大、稍々圓柱形にして、互に相接するもの多し。幼蟲は蜂の巢に寄生し、異形變態をなす。成蟲は植物葉を食す。これに觸るれば脚の關節より黄色液を滲出す。昔時より其粉末を利用して皮膚を潰泡せしめ、又養毛液にも利用せらる。本邦に産するもの約三十種あり。

トビイロゲンセイ……………(五七一)

Oisites cephalotes Oliv.



♀

體は光澤ある朱色。觸角、大臑及び脚は黒色。翅鞘に各二條の判然せざる縦條を裝ふ。體長六分一寸。これは臺灣に産するもの多からず。

分布 臺灣、瓜哇、スマトラ。

タイワンマメハンメウ……………(五七二)

Epicauta formosensis Wellmann



體は黒色。頭部は赤色。前胸背の周縁、翅鞘の外縁及び先端は白毛を以て縁取らる。體下に灰白毛を密生し、胸下の中央部に黒色の長毛を裝ふ。體長七分五厘内外。これは臺灣の平地に稀ならず。

♀

分布 臺灣。

マメハンメウ……………(五七三)

Epicauta gorhami Mars.

これは次のクロマメハンメウに酷似するも、前胸背中央の一縦線、翅鞘の周縁並に中央の一縦線、胸下及び腹節の後縁は灰色。體長六分五厘内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。成蟲は大豆の葉を食ひ大害を加ふることあり。幼蟲

♀



は花蜂の巢に寄生す。分布 本州、九州。

クロマメハンメウ……………(五七四)

Epicauta fushuensis Lew.

♂



體は黒色。頭部は光澤ある赤色、眼の内方は黒色。翅鞘の側縁は灰色。體長五分五厘内外。これは南國に産するもの餘り多からず。成蟲は同じく豆科植物の葉を食し、幼蟲は花蜂の巢に寄生す。分布 本州、九州。

ミドリゲンセイ……………(五七五)

Lytta caraganae Pallas



體は金綠色に輝き、少しく藍色を帯ぶ。頭の中心に赤褐の一小紋あり。翅鞘は金線、少しく銅色の光澤を帯ぶるものあり。觸角及び脚は暗青

♀

色。體長四分七分。朝鮮に普通なるも、九州には稀なり。

分布 九州、朝鮮、支那、西比利亞。

キハネゲンセイ……………(五七六)

Lytta suturella Motsch.



♂

體は金綠色、光澤あり。翅鞘は淡黄褐色、接合部及び外側は金緑。脚は藍色を帯べる緑色。體長五分五厘内外。これは朝鮮に産するも稀なり。

分布 日本(對馬)、朝鮮、西比利亞。

ヨツボシゲンセイ

Megastrephus politus Gehl.

體は黒色、光澤を有す。翅鞘は黄褐色、黄色の短毛を密生し、各翅の二紋は黒色。翅鞘の黒紋の往々消滅せるものあり。體長三分五厘内外。これは朝鮮に産するも稀なり。

♀



分布 朝鮮、蒙古、西比利亞。

ヒメツチハンメウ

Meloe auriculatus Mars.

體は濃き青藍色。體長五分五厘内外。これは本邦稀ならざる種類にして、草原に捕獲し得べし。首節その他の雜草を食す。これに觸れば脚關節より黄色液を渗出す。幼蟲は花蜂の巢に寄生するが如し。



分布 北海道、本州、九州。

マルクビツチハンメウ

Meloe corvinus Mars.

全體青黒色。體長三分八分。これは札幌地方に多き種類にして、春期首節、タンゴボの如き雑草上に捕へ得べし。幼蟲は花蜂の巢に寄生す。

♀



分布 樺太、北海道、本州、四國、朝鮮。

カラフトツチハンメウ

Meloe lobata Gehl.

全體暗青藍色。オホツチハンメウに似たるも、色は淡く、光澤強く、且つ前胸の形を異にす。體長八分内外。これは北國の産にして、稀なり。

♀



分布 樺太、北海道、朝鮮、西比利亞。

マダラゲンセイ

Mylabris calida Pallas

體は黒藍色。頭部及び前胸背に黒色の長毛を密

♀



ツマグロキゲンセイ

Zonitosema colurnatum Mars.

體は黄色、少しく褐色を帯ぶ。觸角、翅端、腿節の末端、脛節及び跗節は黒色。體は少しく赤褐色を帯ぶ。體長四分内外。これは九州及び臺灣に産す

♀



るも多からず。

分布 九州、臺灣。

キイロゲンセイ

Zonitosema pallidum F.

全體褪黄色。體長六分五厘内外。これは本州には稀なるも、臺灣には普通の種類なり。

♀



分布 臺灣、支那。

オホオビゲンセイ

Mylabris phalerata Pallas

體は黒色。翅鞘の二帯並びに翅底に近き各二紋は黄赤色。體長一寸内外。これも臺灣に普通なる種類なり。

♂



分布 臺灣。

生す。翅鞘は淡黄乃至赤褐色、普通は六個乃至七個の黒斑を有するも、或る個體にありては融合して、其数を減ずること稀ならず。體長四分内外。これは朝鮮に稀ならざるが如し。

分布 朝鮮、支那、滿洲、西比利亞、歐洲。

オホツチハンメウ

Meloe violaceus Mars.

全體黒藍色。體長一寸内外。これは本邦普通なる種類にして、幼蟲は花蜂の巢に寄生するもの如し。

♀



分布 北海道、本州、朝鮮。

オビゲンセイ

分布 本州、九州、臺灣。

六二 長頸蟲科

Cephaloidae

體は細長、頭部及び胸部は突出す。觸角は絲狀、十一節よりなる。口部は口吻狀をなし、下唇鬚の末端節は斧狀を呈す。大腮に微小なる四個の齒を具ふ。頭部の後方は細まり、頸狀を呈す。前胸は前方にて細まる。脚は細長、爪は二分し、齒を並列す。本邦に産するもの二種あり。

Cephaloon sakuraii Lew.

體は暗褐。觸角、脚、前頭、前胸背の後縁、胸片及び翅鞘の一縱溝は黃褐。後腿節並びに脛節の末端は



黑色。體長四分。これは日光附近に産するも甚だ稀なり。

コカシラクビナガ (ムシ).....(五六七)

Cephaloon pallens Motsch.

體は淡黃褐。腿節の末端暗色のもの多し。頭頂及び前胸に黒紋を有するもの、體側の黑色なるもの、

♀



體下の黑色なるもの等あり

體長四分五厘内外。これは樺太に普通なる種類なり。

分布 樺太、アムール。

キスチクビナガ.....(五六八)

Cephaloon sakuraii Lew.

體は暗褐。觸角、脚、前頭、前胸背の後縁、胸片及び翅鞘の一縱溝は黃褐。後腿節並びに脛節の末端は



黑色。體長四分。これは日光附近に産するも甚だ稀なり。

分布 本州。

附言 拙著昆蟲分類學にはクビボツカミキリダマシの名稱を與へ來りたるも、これは別科に屬するを以て改稱せり。

六三 赤翅蟲科

Pyrochroidae

觸角は櫛齒狀若しくは鋸齒狀。大腮端に二齒あり。小腮鬚四節、其末端節は長楕圓形。跗節の爪は分支せず。體は細く、少しく扁し。雄の頭部に凹陥せる部分あり。前胸は圓形に近く、頭部よりも大なり。翅鞘の赤色なるもの多く、天鵞絨様の軟毛を密生し、後方にて擴がる。幼蟲は枯木の樹皮下に栖息す。本邦學名を有するもの二十二種あり。

の地方には未だ發見せられず。

分布 本州。

クロアカハネ.....(五九〇)

Pseudopyrochroa atrifennis Lew.

體は黑色。前胸背は赤色。口部は黃赤色。體長三分五厘内外。これは日光附近にて捕獲し得べし。

♂



分布 本州。

アナアカハネ.....(五九一)

Pseudopyrochroa aurita Lew.

體は黑色。翅鞘は天鵞絨様の朱色。雄の複眼間に深き横溝ありて、

♀



その内に灰褐の長毛を密生す。體長三分二厘内外。これは花上に捕へ得べし。

分布 本州。

ツアカアカハネ.....(五九三)

Pseudopyrochroa taiwanensis Pie

背面は朱色。觸角は黑色。體下及び脚は黒褐。體長二分五厘内外。これは臺灣中部に産するも、多からざる種類なり。

♂



分布 臺灣。

オニアカハネ.....(五九三)

Pseudopyrochroa japonica Heyd.

背面は暗朱色。後頭、前胸背の兩側及び稜狀部は暗色乃至黑色。觸角、體下及び脚は黑色。雄の頭頂に高き突起を有す。體長三分五厘内外。これは東京附近に産するも多からず。

分布 本州。

オホクシアカハネ (ムシ).....(五九九)

Pseudodeltoides niponicus Lew.

體は黑色。翅鞘は天鵞絨様の紅赤色、二三の判然せざる縱條を裝ふ。體長五分五厘内外。これは中禪寺附近に稀ならざる種類なるも、その他

♂





ヘリグロアカハネ *Pseudopyrochroa marginata* Kôno (五九四)

體は黒色。翅鞘は天鵝絨様の紅色、側縁は黒色、同色の長毛を裝ふ。體長四分四厘。これは四國



ヒメアカハネ *Pseudopyrochroa rubricollis* Lew. (五九五)

頭部及び體下は黒色。前胸背並に翅鞘は紅色。

阿波地方に産するも其だ稀なるが如し。

分布 四國。



ナミアカハネ (アカハネムシ) *Pseudopyrochroa vestita* Lew. (五九六)

體は黒色。翅鞘は天鵝絨様の朱色。體長五分内外。本邦普通の種類にして、朽木にて捕獲し得べし。



カラフトアカハネ *Schizotus fuscicollis* Mannenh. (五九七)

體は黒色。翅鞘は天鵝絨様の朱色。雄の後頭に並列せる二個の深き凹陥あり。體長三分内外。

分布 樺太、北海道、本州。



これは北國の産なるが稀なり。分布 樺太、千島、西比利亞。

六四 細頸蟲科 Pediliidae

觸角は絲狀若しくは棍棒狀。複眼は球形。大腮の末端は稍々截斷狀に終る。小腮の末端節は斧狀若しくは長楕圓形。頭は前胸と同幅若しくは少しく廣く、普通下方に向く。幼蟲は枯木の皮下にあり。本邦學名を有するもの約十種あり何れも農林業に關係少なし。

オホクビソ (ムシ) *Maecatria gigas* Mars. (五九八)

全體黒色、灰色の短毛を密生し、光澤を缺く。



方につき種類にして、花上に捕へ得べし。分布 本州。

六五 一角蟲科 Anthicidae

觸角は棍棒狀、大腮は甚だ大、その末端は二分す。複眼は卵形。小腮は四節よりなり、末端節は斧狀を呈す。頭は前胸より少しく廣く、常に前方を向き、胸下に隠れず。前胸に一個の長角を有するもの多し。後頭細く頸狀を呈す。何れも小形種にして、一見蟻の如き觀あり。本邦學名を有するもの約二十種あり。其經過は判然せず。多く腐芥下において植物性の腐敗物を食するが如し。

アカアリモドキ *Anthicus fugiens* Mars. (五九九)

體は赤褐。觸角、脚及び翅鞘は黄褐。翅鞘接合線の基部及び中央部前方の一廣帯は赤褐、雄の各翅鞘側方に長形の凹陥ありて、その中に褐色毛を生ず。體長九厘内外。これは腐芥下に捕獲し得べきも稀なり。



ホソクビアリモドキ *Formicomus brahinus* Lat. (六〇〇)

體は光澤ある黄褐。翅鞘の後大半は黒褐、末端に近く灰色毛を生ず。體長一分五厘内外。これは南國に普通の種類なり。一見蟻に似たり。分布 本州、九州。

ヨツモンイツカク *Meenotarus minimus* Mars. (六〇一)



體は赤褐。翅鞘は黒色、肩部及び翅端は赤褐。脚は黄褐。前胸背の角狀突起は基部にて太し。體長八厘内外。これは東京郊外に普通なる種類なるも、小形なるが爲め捕へ損ふものなり。分布 本州。

クロモンイツカク……………(六〇三)

Notoxus daurico Sharp.

♀



體は赤黄。脚及び翅鞘は淡黄褐。肩部後方の一黄紋、接合線の三分の二及び後方の一黄帯は黒色。體長一分五厘。これは札幌附近に産するも稀なり。

分布 北海道。

クロスチイツカク……………(六〇三)

Notoxus huangi Murra.

♂



體は淡黄褐。翅鞘の太き各一縦條は黒色。體長一分六厘内外。東京近傍に普通なる種類にして、柳に捕獲し得べし。

分布 本州。

六六 擬锹形科

Tricentenotomidae

分布 臺灣、支那。

觸角は十一節、終りの三節は内方に枝を出し、柄節大にして、眼の前方より出づ。大臑は強大にして、前方に向き突出す。前胸背の兩側には鋭齒を裝ふ。前後兩肢の基節の幅は廣し。腹部は五節よりなる。大形の種類なり。本科に屬するもの臺灣に一種あり。

クハガタモドキ……………(六〇四)

Tricentenotoma davidi Deyr.

體は黒色、灰褐の短毛を密生す。前胸背の中央及び側方の隆起に毛を缺く。體長一寸五分―二寸。これは臺灣に産すれども餘り多からず。

♀

f. formosana Kriesche



六七 豆象科

Mylabridae; Laridae

觸角十一節、膝狀をなさず、末端に至るに隨ひ順次膨大して棍棒狀をなす、鋸齒狀若くは櫛齒狀を呈し、前頭兩側の凹陥部より出づ。複眼は腎臟形を呈し、口吻は短大、下方を向く。第三跗節は二片に分支す。翅鞘は全く尾節を蔽はず。これは大部豆科植物の害蟲にして、時に大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの十數種あり。

ナシママメザウ(ママメザウ)……………(六〇五)

Brechus chinensis L.

♂



體は赤褐、灰色の短毛多し。翅鞘の紋は濃色。體

長七厘内外。これは暖地に産し、大小豆の大害蟲なり。

分布 本州、九州、朝鮮、支那。

第三 鞘翅 目

附言 一これは未だ北海道にて發見せしことなし。

オホママメザウ……………(六〇六)

Brechus pisorum L.

♀



體は黒色、灰色の短毛を密生す。翅鞘は灰褐のもの、暗色のものとありて、白毛を斑紋狀に裝ふ。體長一分二厘内外。これはエンドウの大害蟲にして、何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、印度、歐米。

アカヒゲママメザウ……………(六〇七)

Brechus japonicus Har.

♀



體は黒色、前胸背の後縁、翅鞘の二横帯及び接合線には灰白毛を裝ふ。尾節板及び體下には灰白毛を密生す。觸角及び脚は赤褐。體長一分内外。これは前種の如く大小豆の害蟲なるが餘り多からず。

分布 本州、九州。

イクヒママメザウ……………(六〇八)

Sphaeromphagus japonicus Stålky

♀



體は黒褐。前胸背に灰色毛を密生す。翅鞘には白色の毛塊ありて、斑紋をなす。體長一分内外。これは九州に普通なるも本州には稀なり。フジママメその他、莖科植物の雜草に捕獲し得べし。

分布 本州、九州。

六八 金花蟲科

Chrysomelidae

觸角は十一節、絲狀、鞭狀若くは細き棍棒状を呈し、其内側の鋸齒状を呈するものあり。大臍端は二分し、往々有齒のことあり。小臍端は短かく、跗節の第三節は膨大し、二片に分支す。腹部は五節、皆自在に動く。多くは光澤ある美麗種なり。何れも食草性なるを以て一名葉蟲とも云ふ。幼蟲は多く葉上にあれども、亦地下にありて根部を食するものあり。本邦學名を有するもの約四百種あり。

アカカネサルハムシ

Acerohinum gesehewitschi Motsch.



雌 體は光澤ある金綠色。翅鞘は光澤ある赤銅色にして、周圍は綠色。脚は黒色。觸角基部の一二節は黄褐色。體長二分五厘。これは越後地方にては有名な葡萄の大害なり。

分布 北海道、本州、九州、臺灣。

イチモンジハムシ

Adorum japonicum Baly



雌 黒褐色。頭は黒藍色。前胸背は淡黄、斑紋は黒色。翅鞘は青藍色。體長二分五厘。三分。これは中國地方には稀ならず。

分布 本州、九州、沖縄。

ブドウサルハムシ

Adoxus (Ennolpus) obscurus L.

雌 體は黒褐色、灰色の短毛多く、點刻を散布す。翅鞘には黄褐色なるものと、黒褐色なるものとあり。脚は黒色。これはブドウ及びフキに普通なる種類なり。體長一分内外。

ウキロルス形 雌 コンシンヌス形 雄 F. villosulus Sclar. f. coarctatus Weis.



分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

リンゴハムシ

Agolus alni L.

雌 體長一分二厘。これは本邦に普通なる種類なり。能く跳躍す。

分布 樺太、北海道、本州、九州。

アカホシノミハムシ

Argopistes coccolloides Baly



雌 體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は黒色。後頭の斑紋は赤色。稜状部並に翅鞘の斑紋は赤色。觸角は黄褐色。脚は黒色。跗節は赤褐色。體長一分内外。これは微小なる爲め打網を用ふるにあらざれば捕へ難し。跳躍性なり。

分布 北海道、本州、沖縄。

オホマルノミハムシ

Argopistes cyaneum Baly

雌 體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は暗褐色。脚は黒色、跗節は赤褐色。體長一分二厘。これは本邦稀ならざる種類なるも、微小なる爲め捕へ難し。跳躍性なり。

ケエルレア形

f. coarctata Mostoh.



雌 紫藍色若しくは緑藍色。觸角、稜状部及び脚は黒色。體長二分五厘。これはリンゴ、ハシノキ等の葉を喰す。

九州。

分布 北海道、本州、

トビイロヒゲナガノミハムシ

Aphthona sorrida Baly

雌 體は黒色。頭部並に前胸背は赤褐色。翅鞘は暗褐色。觸角は暗色、基部の四節は黄褐色。脚は暗褐色、跗節並に跗節は赤褐色。體長七厘内外。これは札幌地方に稀ならざるも、微小なる爲め捕獲困難なり。跳躍性なり。

雌



分布 北海道、本州。

る爲め捕へ難し。跳躍性なり。

雌



分布 北海道、本州、九州。

ジフイチホシノミハムシ

Argopistes undecimmaculata Jac.



雌 體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐色。翅鞘の斑紋は黒色。觸角は赤褐色。脚は黒色、跗節は黒色、輕節並に跗節は赤褐色。體長一分一厘。これは瓢蟲に酷似する微小種なり。跳躍す。

分布 北海道、本州。

チンガサハムシ

二二五

オホキイロマルノミハムシ Argopus clypeatus Baly 體は赤褐色。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐色。觸角は黄褐色。脚は赤褐色。複眼は黒色。體長一分五厘内外。これは本州に普通なれども、北海道には餘り多からず。後腹節は肥大し、跳躍す。



分布 北海道、本州。

キイロマルノミハムシ

Argopus orientalis Baly



雌 體は赤褐色。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐色。觸角は暗褐色、基部の四節は黄褐色。

第三 鞘翅目



Aspidomorpha difformis Molsch.
 黄色。前胸背及び翅鞘は
 籠甲様の汚黄色、後者の
 中央にある籠甲様の斑紋
 は黒褐。體長三分内外。
 これはアカザその他の雜
 草に捕へ得べし。



Cassida nebulosa L.
 體は黒色。觸角は黒褐。翅
 鞘の斑紋は黒色。脚は黄色。
 體長二分二厘—二分五厘。
 これは甜菜の害蟲にして、
 何れの地方にも普通なり。



Cassida pallidicollis Boh.
 體は黒色。頭
 部並に前胸背
 は黄褐。翅鞘
 は黒色。觸角
 は黄褐、先端
 の四節は暗色



Aspidomorpha transsibirica Molsch.
 體は黄褐色。頭部は赤褐。前胸背は淡黄色、外
 縁は透明。翅鞘は黄褐、
 外縁は透明、斑紋は赤褐。
 觸角並に脚は黄色。體長
 二分二厘。これは本州及
 び朝鮮に産すれども、餘
 り多からざる種類なり。



Cassida hincola Creutz.
 體は黒色。頭
 部並に前胸背
 は黄褐。翅鞘
 は黒色。觸角
 は黄褐、先端
 の四節は暗色



Cassida (Orontomycha) viridis L.
 脚は赤褐。體長一分八厘内外。これは朝鮮に産
 すれども稀なる種類なり。
 アヲカメノコハムシ
 黒色。前胸背及び翅鞘は
 黄緑。觸角は黒色。脚は
 黒褐。體長二分五厘—二
 分八厘。これは少なき種
 類なり。アカザにて捕獲
 し得べし。



Ceratix (Orthaulax) nigripennis Molsch.
 黄色。脚並に中、後胸脚は
 黒色。翅鞘は黒藍色。觸
 角は黄褐。體長二分二厘
 —二分五厘。これは藜科
 植物の害蟲にして、中國
 地方には普通なり。



Chaetocnema cylindrica Balg.
 光澤ある黒
 綠。觸角は暗
 黒、其基部に
 ある四節並に
 脚は黄褐。體
 長八厘乃至九
 厘。これは麥
 の葉を食害する普通種なり。跳躍性を有す。



Chaetocnema interjecta Balg.
 黒色。頭部、前胸
 背並に翅鞘は藍
 色。觸角は黄褐。
 脚は黒色。跗節は
 赤褐なり。體長四
 厘。これは九州に産するも、餘り多からざる種
 類なり。



Chrysomela angustifolia Molsch.
 黒藍色、觸角、兩
 脇及び脚は黒色、
 少し青味を帯ぶ
 體長三分。これは
 札幌地方に普通な
 る種類にして、ヨ
 モギの葉を食す。



Umridea punctatostriata Motsch.
 體は黒色。頭部は黒色。前胸背並に翅鞘は赤
 褐。觸角は暗色。脚は黒色。體長一分六厘。こ
 れは本邦稀なる種類なり。これはタデの葉を食
 する普通種なり。



Chrysochus chinensis Haly
 藍色。頭部、前胸背並に翅鞘は光澤ある帶紫藍
 色。觸角
 は暗褐。
 脛節端及
 び跗節に
 は灰白の
 短毛を密
 生す、爪
 は赤褐。體長四分内外。これは本州及び朝鮮に



Chrysomela aurichalcea Mannerh.
 體は黒藍色。觸角、體
 下及び脚は黒綠なり。
 體長二分内外。これは
 本州及び九州に産する
 も、北海道には産せざ
 るが如し。同じくヨモギの葉を食する普通種な
 り。時に菊葉を食害す。

クリバネハムシ……………(六三三)

Chrysomela brunneipennis Mats.

黒色。頭部並に前胸背は黒色。翅鞘は赤褐色。觸角及び脚は黒色、脛節端並に跗節は白色の短毛を密生す。體長二分四厘。これは樺太に産するもその数多からず。



♀
分布 樺太。

ヒメリリハムシ……………(六三三)

Chrysomela cyrtoides Jac.

黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は紫藍色。觸角は暗褐色。口器は赤褐色。脛は黒色、跗節は暗褐色な



♀

り。體長一分四厘。東京地方に産するも稀なる種類なり。

分布 本州。

ハクカハムシ……………(六三四)

Chrysomela exanthematica Wiedem.

黒紫色。體下及び脚は光澤ある紫藍色。翅鞘に黒紋列ありて、光澤を帯ぶ。體長三分五厘四分。これは北日本及び北海道に産する普通種にして、ハクカの葉を食す。



♀

分布 北海道、本州、西比利亞。

ニツクワウルリハムシ……………(六三五)

Chrysomela nikkoensis Jac.

二分二厘。これは九州に少なからず。

分布 九州。

ヨツボシサルハムシ……………(六四〇)

Cytra laevipennis Kätz.

黒色。觸角は褐色、第二節は黄色。翅鞘は黄色、斑紋は黒色。體長二分五厘三分。これはヤナギ、カシハ、ハンノキ等の葉を食す。餘り多からず。



分布 本州、九州、歐洲。

テウセンカタビロハムシ……………(六四一)

Cytraxeloma cyanipenne Kraatz

頭部は黄褐色。後頭の斑紋は藍色。前胸背は藍色、その兩縁は黄褐色。翅鞘は藍色。觸角は暗色。脚は黄褐色、跗節は暗色。體長三分内外。これは朝鮮に産する普通種なり。



分布 朝鮮、アムール。

黒色。頭部及び前胸背は藍色。翅鞘は黒色。觸角は暗褐色。脚は黒色。體長一分八厘。これは本邦稀なる種類にして、日光地方に産す。

分布 本州。

オホルリハムシ……………(六三六)

Chrysomela obscurifasciata Jac.

青藍色。觸角は黒褐色。前頭は黒藍色。翅鞘は青藍色、兩側は藍色を帯ぶ。體長四分。これは本



♀

州に少なからず。

分布 本州。

エゾリリハムシ……………(六三七)

Chrysomela yesoensis Mats.

藍色。頭部、前胸背並に翅鞘は紫藍色。



♀

キムネアヲハムシ……………(六四二)

Cheonema elegans Kaly

體は黒色。頭部並に前胸背は赤褐色。翅鞘は金屬性の光澤ある綠色。觸角は暗色、基部の三節及び脚は赤褐色。體長一分六厘。これは朝鮮には少なからず。



♀

ヒメキアシタマハムシ……………(六四三)

Coenobius piceus Kaly

體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は黒色。觸角は黄褐色、前方の跗節は暗色。脚



クロオビサルハムシ……………(六三九)

Clytra japonica Kaly

黒色。觸角は褐色。前胸背は黄色、横列せる數紋は黒色。翅鞘は黒色、斑紋及び稜状部は黄色。體下及び脚に銀色の光澤ある短毛を裝ふ。體長(雄)一分八厘、(雌)



分布 本州。



♀

キアシヒゲナガアヲハムシ……………(六三八)

Clerothia haemarrhinata Jac.

體は黄褐色。頭部並に前胸背は赤褐色。翅鞘は藍色。觸角は暗色。脚は黄褐色、跗節は赤褐色。體長一分五厘。これは近畿地方に産する普通種なり。



は赤褐。體長六厘内外。これは長崎地方には稀ならず。

分布 本州、九州。

ヨツホシアカサルハムシ……………(六四四)

Coptocephala orientalis Baly

體は黒色。前胸背及び翅鞘は赤褐、斑紋は黒



♀

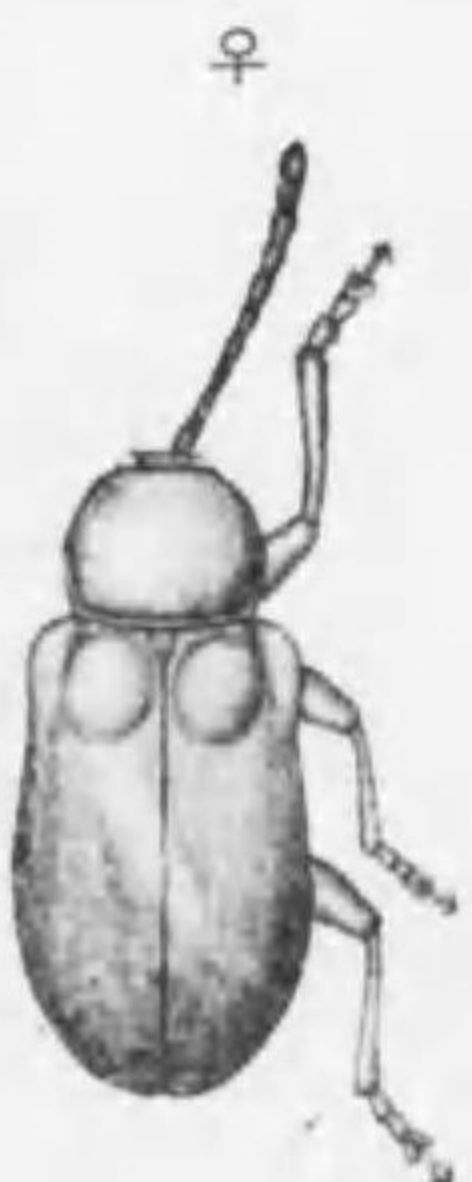
色。觸角は黒色、基部の四節は赤褐。脚は黒色。體長一分八厘。これは中國地方に稀ならず。

分布 本州。

オキナハオホルリハムシ……………(六四五)

Corynodes japonicus Jac.

藍色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色、金屬性の光澤を有す。觸角は赤褐、末端の數節は藍色。體長三分。これは沖縄に普通の種類なり。



♀

分布 沖縄。

アキノミハムシ……………(六四六)

Oryctodes chloris Foudr.

♀



光澤ある黒色。觸角基部の二三節は黄褐。頭褐色。脚黒色。體長七厘乃至九厘。これは本州に産する普通種にして、藍の害蟲なり。

分布 本州、九州。

ムキナガノミハムシ……………(六四七)

Oryctodes japonica Baly

光澤ある黒褐色。觸角は黒色、基部の三四節は



♀

黄褐。脚は黒褐。脛節及び跗節は黄褐。體長一分内外。これは北海道及び本州に産する普通種にして、麥の葉を食す。能く跳躍す。

分布 北海道、本州。

キイロノミハムシ……………(六四八)

Oryctodes laevicollis Jac.

體は黄褐。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐色。觸角及び脚は黄褐色なり。體長一分二厘。これは信州地方には少なからず。

♀



分布 北海道、本州。

オホキイロノミハムシ……………(六四九)



♀

は札幌地方に少なからず。

分布 北海道、本州、九州。

チビキアシサルハムシ……………(六五〇)

Oryctodes amurensis Baly

♀

頭部、前胸背並に翅鞘は黒色。觸角は赤褐、前方の五節は黒色。脚は赤褐。複眼は黒色。體長一分内外。これは本州に産すれども稀なるが如し。

分布 本州、西比利亞。

ハラルリサルハムシ……………(六五五)

Cryptocephalus approximatus Baly

黒藍色。脚は黒褐、脛節の基部及び前脛節は黄色。體長一分五厘。これは薔薇科

♂



二三一

Oryctodes laevicollis Jac.

體は赤褐。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐。觸角及び脚は赤褐。脛節端並に脛節は暗色。體長一分八厘。これは札幌地方に普通なり。

♀



分布 北海道、本州。

ホソクビナガハムシ……………(六五〇)

Oryctes parvicollis Baly

體は黒色。頭部並に前胸背は藍色。翅鞘は赤褐、金屬性の光澤を帯ぶ。觸角は暗色。脚は藍色。腹節は赤褐。體長二分六厘内外。これは百

♀



合科の植物上に少なからず。

分布 本州、九州。

キイロクビナガハムシ……………(六五二)

Oryctes rugata Baly

黒色。觸角は黒藍色。前胸背及び翅鞘は黄色。體長二分五厘。これは本州及び九州に産する普通種なり。

分布 本州、九州。

セアカクビナガハムシ……………(六五三)

Oryctes scaphararis Baly

♂

黒色。翅鞘の斑紋は赤褐。觸角及び脚は黒色。體長二分四厘。これは朝鮮に産するも稀なり。

分布 朝鮮、支那。

アカクビナガハムシ……………(六五三)

Oryctes subopifera Motsch.

黄褐。觸角は黒褐。頭は光澤ある黒色。稜狀部は暗褐、灰白毛を密生す。體長三分五厘。これ

植物上に普通なり。

分布 北海道、本州、九州、滿洲。

タテジマサルハムシ……………(六五八)

Cryptocephalus bilineatus J.

體は黒色。頭部の前縁は赤褐。前胸背の斑紋は赤褐。翅鞘は赤褐にして、その斑紋は黒色。觸角は赤褐色にして、



て、その前方の五節は黒色。脚は赤褐。體長一分一厘。これは本州に産する普通種にして、ヨモギ、ヤナギ、ヒルガホ等の葉を食す。

分布 本州、西比利亞、歐洲。

ツマキクロサルハムシ……………(六五七)

Cryptocephalus difformis Jae.

體は黒色。頭部は赤褐。前胸背は黒色、その前縁並に兩側は赤褐。翅鞘は黒色、兩側並に後縁は赤褐。觸角は暗色。脚は赤褐。複眼は黒色。體長一分五厘内外。これは北海道及び日光地方

♀



に産する普通種なり。分布 北海道、本州。

チビサルハムシ……………(六五八)

Cryptocephalus discretus Baly

♀



體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は黄褐色。觸角は黄褐色。末端の五節は暗色。脚は赤褐、後肢は暗色。複眼は黒色。體長八厘。これは本邦に稀なる種類なり。

分布 本州、九州、朝鮮、西比利亞。

キアシハラサルハムシ……………(六五九)

Cryptocephalus fortunatus Baly

體は黒色。頭部は赤褐、後頭部は藍色。前胸背並に翅鞘は藍色、前者の前縁並に兩側は赤褐。觸角は赤褐、その前半は暗色。脚は赤褐。複眼は黒色。體長一分六厘。これは餘り多からず。

♀



分布 北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

ヨツホシサルハムシ……………(六六〇)

Cryptocephalus instabilis Baly

♀



體は黒色。前胸背及び翅鞘は赤褐。斑紋は黒色。觸角は黄褐。その前半は暗色。脚は

黒色。體長一分七厘。これは近畿地方に産する普通種にして、ヤナギ、ハンノキ等に捕獲し得べし。

分布 本州。

ヤツホシサルハムシ……………(六六一)

Cryptocephalus japonus Baly

♀



黒色。前胸背及び翅鞘は淡黄。斑紋は黒色なり。體長二分五厘。これは柳に普通なる種類なり。

分布 本州、九州、朝鮮、支那。

タテスチキサルハムシ……………(六六二)

Cryptocephalus nigrofasciatus Jae.



體は黒色。頭部は黄色。前胸背は赤褐。翅鞘は黄色、兩側の太き縦條は黒色。觸角は黒色、基部の四節は黄色。脚は赤褐。複眼

は黒色。體長八厘。これは北海道には多からざる種類なり。

分布 北海道、本州。

キボシサルハムシ……………(六六三)

Cryptocephalus pulegans Baly

♀



頭部は黄色。前胸背は赤褐。翅鞘は黒色、斑紋は黄色。觸角は黒色、基部の三節は黄褐。脚は赤褐。體下は赤褐乃至黄褐。體長一分一厘一分三厘。これは本州、九州に産する普通種なり。

分布 九州、本州。

テウセンムツボシサルハムシ……………(六六四)

Cryptocephalus regalis Gyll.

體は黒色。頭部並に前胸背は金綠色。翅鞘は黄色。斑紋は金綠色。觸角は暗色。脚は黒色、處々に金緑の光澤を有す。體長一分八厘内外。これは朝鮮に産すれども多からず。

♀



分布 朝鮮、支那、西比利亞。

カシハサルハムシ……………(六六五)

Cryptocephalus scintillus Baly

赤褐。頭部及び前胸背は赤褐。翅鞘の斑紋は黒色。觸角は暗色、基部の三節は淡黄褐。體下は淡黄褐なり。體長一分四厘。これはカシハの葉を食す。

♀



分布 北海道、本州、九州。

クロホシサルハムシ……………(六六六)

Cryptocephalus g-punctatus L.



♀ 黄褐。體下及び頭は黒色。頭部の斑紋は黄褐。觸角は黒色、基部の三四節は黄色。前胸背及び翅鞘の斑紋は黒色。體長二分五厘乃至三分。これはリンゴ、バラ、ナラ、カシハ等の葉を食す。
 分布 樺太、北海道、本州、九州。

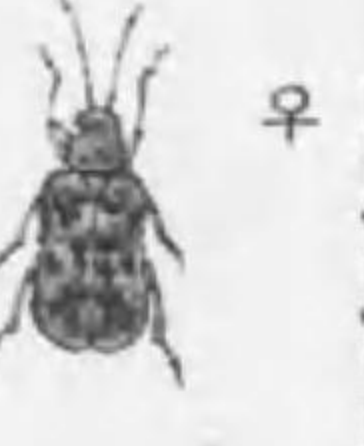


♀ 體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐、斑紋は黒色。觸角は赤褐。脚は黒色。體長一分八厘。これは臺灣には少なからず。



♀ 背は黄褐。翅鞘は藍色。觸角並に脚は黄褐、前者には短毛を密生す。體長一分五厘。これはヤナギ、カバ、スカンボ等に普通なり。
 分布 本州、西比利亞、歐洲。

♀ キペリトゲドゲ *Daetylispa angulosa* Solsky (六七二)



♀ 體暗色。觸角、脚及び翅鞘の兩側は黄色。體長一分二厘一分五厘。これは北海道及び本州に産する普通種なり。
 分布 北海道、本州、支那。

♀ カタビロトゲドゲ *Daetylispa subquadrate* Baly (六七三)



♀ 暗黒色。頭、觸角、前胸背の兩側、翅鞘下半部の側縁並に後縁、脚、腹面等は黄色。翅鞘の斑紋は黄褐。體



♀ 體は黒色。頭部は赤褐、後頭は黒色。前胸背及び翅鞘は黄褐、斑紋は黒色。觸角は暗色。脚は赤褐。體長一分四厘。これは九州には少なからず。
 分布 本州、九州。

♀ ミスチキサルハムシ *Cryptoccephalus trifasciatus* F. (六七六)

♀ キボシルリハムシ *Cynitropis (Cynitris) aurata* L. (六七九)



♀ 黒色。脚及び前胸背の兩側は黄色。翅鞘は暗青色にして、光澤あり。體長一分七厘一分三厘。これはヤナギ、カバの葉上に普通なり。
 分布 北海道、本州、歐洲。

♀ ムナキルリハムシ *Cynitropis (Cynitris) cyanea* F. (六七〇)

♀ 體は黒色。灰白毛を密生す。頭部は藍色。前胸

長一分六七厘。これはカシハ、ナラ等の葉を食す。
 分布 本州、九州。

♀ カサハラハムシ *Demotina decorata* Baly (六七三)



♀ 全體に低き瘤狀の隆起多く、點刺を密布す。黄褐。頭には光澤あり、眼は黒色。全面に灰白の短毛を密生す。脚は黄色、爪は赤色を帯ぶ。體長一分二厘。これは桑の葉を食し、時に大害を加ふ。
 分布 本州、四國、九州。

♀ アラネクヒハムシ *Donacia granulipes* Jac. (六七四)

♀ 黒色。體下は灰白毛を密生す。頭部、前胸背並



第三輯 翅目

♀ ネクヒハムシ *Donacia lenzi* Sehnalt. (六七五)



♀ 暗褐。頭及び前胸背は綠褐にして、金屬性の光澤を放つ。翅鞘は黄褐。體長一分八厘二分二厘。これは本州及び九州に産する普通種にして、成蟲はスゲの花上に捕獲し得べし。幼蟲は稻の根を食害す。
 分布 本州、九州。

♀ スゲハムシ *Donacia simplex* F. (六七六)



♀ 褐銅色。前胸及び翅鞘には諸色ありて、赤銅色、藍色若くは黒藍色を呈し一定せず。脚は金綠色、腿節の基部及

び脛節紋は赤褐。體長三分内外。これはスゲ、ウキガヤ等に普通なり。
 分布 北海道、本州、九州、歐洲、西比利亞。

♀ ホシタテハムシ *Galernoea annulicornis* Baly (六七七)

♀ 灰黄。頭部、前胸背並に翅鞘は灰褐色。觸角は暗褐、各節の基部は白色。脚は赤褐。體長二分六厘。本邦稀ならざる種類にして、タデに捕獲し得べし。



♀ ヒメタテハムシ *Galernoea aquatica* Geoffr. (六七八)



♀ 暗黄。觸角の末端は暗褐。翅鞘の前縁兩側は淡色。兩側の縦條は暗色。體長一分五厘。これは水

草株にタデに普通なり。

分布 北海道、本州、九州、歐洲。

イチゴハムシ.....(六七九)

Galernoella distincta Baly

♀



體は暗黄、短毛を密生す。腹部、頭頂、觸角及び後脚は黒色。脚は黄褐。翅鞘の縦線は暗色なり。體長一分五厘乃至一分七厘。これはイチゴに普通なり。

分布 北海道、本州、九州。

イタヤハムシ.....(六八〇)

Galernoella fuscipennis Jac.

♀



體は黄褐。頭部は暗色。前胸背は赤褐、斑紋は黒色。翅鞘は暗褐。觸角は暗褐。脚は黄褐、脛節は暗褐。體長一分五厘。これはイタドリに多き普通種なり。

分布 北海道、本州。

ムツキボシハムシ.....(六八六)

Galernoella lewisii Jac.



體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は黒色、後者の斑紋は黄色。觸角並に脚は黒色。脛節並に跗節は灰白の剛毛を密生す。體長二分内外。これは本邦稀なる種類なり。

分布 北海道、本州。

ツクロキハムシ.....(六八七)

Gastrohina japonica Har.



黄褐。頭及び口部は黒色。前胸背及び翅鞘は黄褐。脚は黄褐、脛節端及び跗節は黒色。體長二分。これは本州に産するも少なし。

分布 本州。

アサノミハムシ.....(六八八)

Halicta flavicornis Baly

♀



黒色、少しく緑色を帯ぶ。觸角は黄白、末端は黄褐。體長七厘。これは北海道に産する普通種にして、大麻の害虫なり。能く跳躍す。

鞘は赤褐、前者の斑紋は黒色。後脚部は黒色。脛節及び跗節は暗色。體長一分二厘。これはタデの葉上に捕へ得べし。

分布 本州。

ウスチャハムシ.....(六八四)

Galerna tibialis Baly

♀



淡黄褐。頭部、前胸背及び翅鞘は淡黄褐。大脛は黒色。觸角、脛節及び跗節は暗色。體長三分内外。これは菊科植物に捕へ得べし。

分布 北海道、本州。

アカタテハムシ.....(六八三)

Galernoella semiflava Jac.

♀



黒褐。前胸背及び翅鞘は朱色。體長二分。これはカタクリの葉上に普通なり。

分布 北海道、本州。

スチカミナリハムシ.....(六八九)

Halicta latericostata Jac.

♀



黒藍色。體下頭及び觸角は黒色。翅鞘の前縁に一縦隆起あり。體長一分五厘—一分七厘。本州普通の種類にして、ヤナギ、ハンノキの葉を食す。

分布 北海道、本州、九州。

チビカミナリハムシ.....(六九〇)

Halicta picipes Baly

♀



體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は暗褐。脚は黒色、跗節は赤褐。體長六厘内外。これは九州に産するも多からざる種類なり。

九州。

コカミナリハムシ.....(六九二)

Halicta viridicyanea Kaly

體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は暗色。脚は黒色、跗節は赤褐。體長一分二厘。これは北海道に普通の種類にして、ヤナギハンノキの葉を食す。



♀

分布 北海道、本州、九州、沖縄、満洲。

ドウガネサルハムシ.....(六九三)

Lamprosona cupreatum Kaly



♀

黒色。頭部前胸背並に翅鞘は紫藍色、金屬性の光澤を有す。觸角は

暗褐。體長一分内外。これは本邦普通の種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

ヒメドウガネサルハムシ.....(六九三)

Lamprosona japonum Jalc.



♀

黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は黒色。觸角は赤褐、基節は黒色。脚は赤褐、跗節は黒色なり。體長七厘。本種は高山地帯に産するも、微小なる爲め打網を用ふるにあらざれば捕へ難し。

分布 本州。

キバラリクビボソハムシ.....(六九四)

Leana concinnipennis Kaly



♀

♀

分布 本州、九州、朝鮮。

レウキスクビボソハムシ.....(七九九)

Leana lawisi Kaly



黒色。後頭並に前胸背は赤褐。翅鞘は藍色、その後縁は赤褐。觸角及び脚は黒色。腹節の兩側並に第五節は赤褐。體長一分八厘。

♀

分布 本州、九州、臺灣。

タイワンクビボソハムシ.....(七〇〇)

Leana postrema Kates



體は赤褐。頭部並に前胸背は赤褐。翅鞘は藍

體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角並に脚は暗色。尾端の三腹節は赤褐。體長一分六厘。これは本州に稀ならず。

分布 本州、九州、朝鮮、北支那。

トホシクビボソハムシ.....(六九五)

Leana decempunctata Gehl.



ヤボニカ形 黒色。頭部並に前胸背は藍色。翅鞘は赤褐、斑紋は黒色。觸角は黒色。脚は赤褐、跗節并に腿節の外半及び跗節は黒色。體長一分六厘。これは少なし。

分布 本州、九州、満洲、歐洲。

キオビクビボソハムシ.....(六九六)

Leana delicatula Kaly



♀

色。觸角は黒色。脚は赤褐、跗節端及び跗節は暗色、爪は黒色。體長二分二厘。これは臺灣に稀ならず。

♀

分布 臺灣。

セアカクビボソハムシ.....(七〇一)

Leana scutellaris Krantz



♀

體は黄赤。頭部は黒色。觸角は暗色。前胸背は赤褐。翅鞘は藍色、斑紋は黄赤。腿節、跗節の外半並に跗節は暗色。體長一分八厘。これは朝鮮に稀ならず。

分布 本州、朝鮮、アムール。

イネクビボソハムシ(イネドロハムシ).....(七〇二)

マヘホシクビボソハムシ.....(六九七)

Leana dillecta Kaly



♀

黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。頭部の斑紋は赤褐。觸角及び脚は黒色。跗節並に跗節は暗褐。體長一分二厘。これは中國地方に産するもその數少なし。

分布 本州。

アカクビボソハムシ.....(六九八)

Leana divorsa Kaly

體は黒色。後頭の斑紋は赤褐。前胸背並に翅鞘は赤褐。脚及び觸角は黒色。體長一分八厘内外。これは九州には稀ならず。

Leana oryzae Kuway.



♀ 黒色。前胸背は黄褐。翅鞘は黒藍色。脚は黄色。體長一分五厘。有名なる稻の害虫なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣、支那。
附言 この學名は桑山覺氏の研究に依る。

オホバコハムシ……………(七〇三)

Lochna cupreae L.



♀ 黒色。前胸背及び翅鞘は暗黄。觸角は黒褐、基部は黄色。體長三分内外。これはオホバコに普通なる種類なり。

分布 北海道、本州、九州、西比利亞、歐洲。

クロボシノミハムシ……………(七〇二)

Longitarsus himaculatus Baly

體は黄褐。頭部、前胸背並に翅鞘は赤褐。翅鞘の斑紋は黒色。觸角並に脚は黄褐。脛節は暗色なり。體長六厘内外。これは九州地方に産する

♀



黄褐。翅鞘は黒色、中央の半楕圓形紋は淡黄褐。觸角は暗色、基部の三節は赤

褐。脚は黒色。體長一分七厘内外。これは樺太には最も普通なる種類にして、種々の雜草を食す。

分布 樺太、北海道、本州、四國、朝鮮、支那アムール。

カタボシウリハムシ……………(七〇九)

Imperodes quadrifidatus Motsch.

體は黒色。頭部並に前胸背は赤褐。複眼は黒色。翅鞘は黒色、斑紋は淡黄。觸角は暗色、基部の三節は赤



普通種なるが、微小なる爲め捕獲困難なり。

分布 九州。



♀ 附言 この屬の腿節は肥大し、跳躍に適す。

キイロチビノミハムシ……………(七〇五)

Longitarsus lewisi Baly.

體は黄褐。頭部、前胸背並に翅鞘は黄褐。觸角及び脚は黄色。體長八厘内外。これは稀ならざる種類なるも、微小なる爲め採集困難なり。

♀



分布 北海道、本州。

オホノミハムシ……………(七〇六)

Longitarsus nitida Jac.

體は黄色。頭部、前胸背、翅鞘、觸角並に脚は黄色なり。體長一分四厘。これは北海道及び本

部の三節は赤褐。脚は赤褐、脛節並に跗節は暗色。腹節は淡黄色。體長一分三厘。これは朝鮮及び臺灣に産する普通種なり。

分布 朝鮮、臺灣、アムール。

キハラヒメハムシ……………(七一〇)

Imperus flaviventris Motsch.

體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は暗色。脚は黒色、脛節並に跗節は赤褐。腹面は黄色。體長一分六厘内外。これはヤナギの葉を食す。

♀



分布 北海道、本州、九州。

ケバクロナガハムシ……………(七一)

Imperus hirtus Jac.

黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は黒色。觸角及び脚は暗褐。體上には灰白の短毛を密生す。體長

州に産すれども多からず。

♀



分布 北海道、本州。

ウスイロウリハムシ(ウリハムシモドキ)……………(七〇七)

Imperodes pallidulus Baly

體は黒色。頭部並に前胸背は黄褐。翅鞘は淡黄褐。後縁は暗色。觸角は暗色、基部の四節は黄褐。脚は黒色、脛節並に跗節の下面には黄白の剛毛を密生す。體長一分八厘。これは雜草を食するも、時に

♀



ダイコン、ハクカの葉を食することあり。

分布 北海道、本州、九州。

カラフトクロウリハムシ……………(七〇八)

Imperodes praenustus Motsch.

體は黒色。頭部は暗褐、後頭は黒色。前胸背は

一分二厘。これは本州に産する普通種なり。

♀



分布 本州、支那。

ヒゲナガウスバハムシ……………(七一)

Imperus jacobyi Weise

體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は藍色。觸角は暗色。脚は黒色、跗節は赤褐。體長一分二厘。これは本邦稀ならざる種類なり。

♀



分布 北海道、本州、九州。

クロウスバハムシ

Imperus moori Haly

頭部、前胸背並に翅鞘は光澤ある黒色。觸角は暗色にして、基部の二節は赤褐。脚は黒色、脛節及び跗節は赤褐。體長一分六厘。これは東京地方には稀ならず。

♀



分布 本州、九州。

リンゴコフキハムシ

Lyptus ater Motsch.



暗色。觸角は暗褐、基部の三節は黄色。脚は黒褐。全體に白粉を裝ふ。體長二分五厘。これはリンゴの葉を食するも少ない。

分布 北海道、本州。

ルリハムシ

Melasma (Irnasidea) aenea L.

金綠色若しくは黒藍色。觸角は黒色。體長二分五厘。これは札幌地方の柳に普通なり。

♀



分布 北海道、本州、九州、滿洲、西比利亞、歐洲。

ウツマキハムシ

Melasma lapponica L.



黒色。頭部並に前胸背は藍色。翅鞘は黄褐、斑紋は藍色。觸角は黄褐、末端の五節は黒色。脚は黒色。體長二分六厘。これは樺太に産する普通種なり。

分布 樺太、西比利亞、支那、歐洲。

ドロノキハムシ

Melasma populi L.

黒藍色。翅鞘は赤黄。體長三分五厘。これは柳、白楊に普通なる種類にして、時に大害を加



分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ヤナギハムシ

Melasma (Microdera) vigintipunctata Scop.

♀



分布 北海道、本州、歐洲。

カハカミルリハムシ

Melolontha reha kawakamii Mats.



の數節は暗褐。體長六厘内外。この種は本州九州に産する普通種なり。

分布 本州、九州、支那。

アラバサルハムシ

Nodostoma aeneipenne Motsch.

赤黄。觸角は黒色、基部の四節は黄色。前胸背は赤褐、翅鞘は金綠色。脚は黄色、跗節は褐色。體長一分五厘。これは本州及び九州に産する普通種なり。

分布 本州、九州。

アカアシアラサルハムシ

Nodostoma fulvipes Motsch.

藍色。頭部は赤褐。觸角は淡色、末端の七節は

體は光澤ある藍色。頭部、前胸背並に翅鞘は帶紫藍色。脛節端並に跗節には灰白の短毛を密生す、爪は赤褐。體長二分六厘。これは樺太に産する普通種なり。

分布 樺太。

イネトゲドゲ

Monochirus callianthus Kates



黒藍色。觸角末端の根棒状をなせる六節は黒褐。體長一分五厘。これは臺灣に産する普通種

にして、甘蔗及び稻の害蟲なり。

ホタルハムシ

Monolypta dichroa Har.

光澤ある黒色。口部は褐色。頭、前胸背及び觸角の基部は黄色。觸角及び脚は暗褐。脛節の末端及び脛節の基部は黄色。體長一分二厘乃至一分五厘。これは何れの地方にも普通にして、アキ、ソタ、ソサイその他種々の雜草を食す。

フタスチヒメハムシ

Monolepta nigrolineata Motsch.



黄色。頭は黄褐。觸角は黄褐。翅鞘はの縦條は黒色。體

長一分乃至一分二厘。これは荳科植物、稻、甘蔗の害蟲なるも餘り多からず。

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

アラガネヒメサルハムシ

Notina chalcosoma Haly



體は黒色。翅鞘は金綠色又は藍色。體下は黒色、全面に黄褐毛を粗生す。觸角は褐色、先端

分布 北海道、本州、九州、臺灣。

なるものあり。

♀



暗色。脚は赤褐。體長一分。これは本邦稀ならざる種類なり。ハンノキその他、種々の喬木葉を食す。

分布 北海道、本州、九州。

ルリサルハムシ……………(七三六)

Nosostoma modestum Jac.

紫藍色。頭部及び前胸背は藍色。鞘翅は少しく紫色を帯ぶ。觸角は黄褐、先端の六節は暗褐。

♀



々の喬木葉を食す。

♀



分布 樺太、北海道、本州、九州。

クロバサルハムシ……………(七三九)

Pagria flavopustulata Baly

黒色。觸角は淡黄褐。脚は赤褐。體長六分内外。これは九州には普通なれども、本州には稀なるが如し。

♀

分布 本州、九州、臺灣。

アトホシハムシ……………(七四〇)

Paraulaca angulicollis Motsch.

黒色。頭、前胸背は黄色。複眼は黒色。鞘翅は灰白色。斑紋は黒褐。觸角は暗色。脚は黒色。

♀



六厘。これは本邦稀ならざる種類なり。

♀



體長一分七厘。これは本邦普通なる種類にして、オホバコその他の雜草を食す。

分布 北海道、本州、九州、支那。

ヨツボシハムシ……………(七四一)

Paraulaca quadriflagata Baly

體は黄色。頭部並に前胸背は黄褐。複眼は黒色。鞘翅は黄白、斑紋は黒色。觸角は暗褐。脚は赤褐、跗節は暗色。體長一分八厘。これは本邦には餘り多からざる種類なり。

♀



分布 本州、臺灣。

モンキヨタンハムシ……………(七四二)

Paropsides duodecimpunctata Gebler

體黒色。鞘翅上の斑紋は暗褐乃至淡褐。體長二

々の喬木葉を食す。

♀



分布 樺太、北海道、本州、九州。

クロバサルハムシ……………(七三九)

Pagria flavopustulata Baly

黒色。觸角は淡黄褐。脚は赤褐。體長六分内外。これは九州には普通なれども、本州には稀なるが如し。

♀

分布 本州、九州、臺灣。

アトホシハムシ……………(七四〇)

Paraulaca angulicollis Motsch.

黒色。頭、前胸背は黄色。複眼は黒色。鞘翅は灰白色。斑紋は黒褐。觸角は暗色。脚は黒色。

♀



六厘。これは本邦稀ならざる種類なり。

分布 本州、朝鮮。

ジフジハムシ……………(七四五)

Perilitena fulvians Fald.

體は紫藍色。頭部、前胸背並に鞘翅は金綠色、後者の斑紋は藍青色にして、少しく銅色を帯ぶ。觸角は暗褐、處々に金屬性の光澤を有す。脚は金綠色、

♀



脛節並に跗節は暗色、下面に灰白の剛毛を密生す。腹節は赤褐。體長二分五厘。これは臺灣に産する普通種なり。

分布 臺灣、支那。

ダイコハマシ(サルハマシ).....(七三六)

Phaeton brassicae Kaly



♀ 黒藍色。脚及び體下は黒色。頭には點刻を粗布し、前胸背の中央は平滑。尾節は黄色。體長一分二三厘。これは蘿蔔の害虫にして葉を食するも、北海道には産せず。

分布 本州、九州、臺灣。

ヒメダイコハマシ.....(七三七)

Phaeton inermis Kaly



♀ 體は緑藍色。前種に酷似す。同じく十字科植物の害虫なり。體長一分乃至一分四厘。これは本邦に廣く分布する普通種なり。

分布 本州、九州、沖繩、臺灣。

附言 前種と異なる所は、體は緑藍色なること前胸背の點刻の小なること、前胸後角の一層鋭角をなせること、後脚部の半楕圓形なることにあり。

クハハマシ.....(七三八)

Phyllobrotica armata Kaly



♀ 黒色。翅鞘は光澤ある黒線。觸角、其基部の下面、前肢の腿節端、脛節及び跗節は暗黄。前胸背は藍色。體長二分乃至二分三厘。これは有名なる桑の害虫なるが、又リシゴ、スモモ等の葉をも食害す。

分布 北海道、本州、四國。

クハノシハマシ.....(七三九)

Phyllobrotica funesta Kaly



♀ 光澤ある黒色。脚は黒褐。觸角の基部に於ける三節及び跗節は赤褐。體長一分乃至一分三厘。これは桑の害虫なるが餘り多からず。

分布 北海道、本州。

附言 此の種類は後腿節肥大して、能く跳躍す。

キスチノミハマシ.....(七四〇)

Phylloreta vitata F.

シミアータ形 ♀



光澤ある黒色。觸角基部の三節は暗黄。翅鞘の縦條は黄色。體長八厘。これは蔬菜の害虫にして、何れの地方にも普通なり。

分布 日本全土、沖繩、臺灣、支那、歐洲。

キアシノミハマシ.....(七四一)

Phylloreta fenestrata Juc.



體は黒色。頭部、前胸背並に翅鞘は光澤ある黒色。觸角は黄褐、先端の五節は褐色。脚は黄褐、脛節は暗色。體長六厘半。これは中國地方に普通なるが、微小なるが爲め捕獲困難なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

トホシハマシ.....(七四二)

Phytodecta granulicornis Krmakz



♀ 黒色。翅鞘は黄色乃至赤黄。斑紋は黒色。體長二分五厘。これはヤナギ、ドロノキ、ハンノキ等の葉を食害する普通種なり。

分布 北海道、本州、西比利亞。

クロスチフチハマシ.....(七四三)

Phytodecta nigrophagata Kaly



♀ 黒色。觸角基部の五節は黄色。翅鞘は黄色、長楕圓形の斑紋は黒色。脚は黒色、各跗節の末端は黄褐。體長一分五厘。これは中國地方に稀ならず。

分布 本州、九州。

フチハマシ.....(七四四)

Phytodecta rubripennis Kaly



♀ 黒色。觸角黒褐、基部の五節黄色。翅鞘は黄褐。脚は黒色、腿節の末端並に跗節は褐色。體長一分八厘。これは

第三輯 翅目

れは藁の葉を食害す。

分布 本州、九州。

ヤナギルリハマシ.....(七四五)

Phagodora versicolora Latrh.



♀ チヌチンクタ形 緑藍色。觸角は暗褐、基部は黄褐。脚は暗緑、腿節及び脛節の末端並に跗節は褐色。體長一分五厘。これは柳に普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

セボソネクヒハマシ.....(七四六)

Platennaris constricticollis Juc.



♀ 體は黒色。體下には灰白の短毛を密生す。頭、前胸背並に翅鞘は金綠色。觸角及び脚は赤褐。

分布 北海道、本州、九州。

經節端及び跗節は暗褐。體長二分八厘。これはスゲの葉に捕へ得るも少なし。

分布 北海道、本州。

ダイコノミハマシ.....(七四七)

Psylliodes angusticollis Kaly



♀ 黒綠色。觸角は暗褐。各脛節は黄褐、後腿節は黒色。體長六厘乃至七厘。これは北海道及び本州に産する普通種にして、有名なる蔬菜の害虫なり。

分布 北海道、本州。

附言 此の属のものも肥大せる後腿節を具へ、能く跳躍す。

オホダイコノミハマシ.....(七四八)

Psylliodes punctifrons Kaly

濃綠色。觸角は暗黄、基部及び脚は黄色。體長一分。これは蔬菜類及び律草に多き種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

附言 前種と異なる所は形大、濃緑、觸角暗黄、



其基節及び脚黄色(後腿節黑色)なるによりて區別せらる。

Schalte phagidoroites Motsch.

體は黒色。頭部並に前胸背は黒色。翅鞘は藍色。觸角は暗褐色、基部の四節は赤褐色。脚は黒色。脛節並に跗節は赤褐色。體長一分六厘。これは九州地方に普通なる種類なり。
分布 本州、九州、臺灣。

の花に普通なり。
分布 北海道、本州、九州。

Tomaspis japonicus Baly

體は黒色。前胸背は赤褐色。翅鞘は黄褐色。腹部は赤褐色。觸角及び脚は黒色。脛節並に跗節は暗褐色。體長二分六厘。これは長崎地方に普通なり。
分布 本州、九州。

ウリハムシ(瓜守)……………(七四九)

Rhaphidopalpa femoralis Motsch.



黒褐色。觸角、頭、胸及び翅鞘は黄色。體長二分二厘。二分八厘。これは蕨科植物に普通なる種類にして、幼蟲は地中にありて根を喰す。これは北海道に産せず。
分布 本州、四國、九州、支那、臺灣。



體は黒色。頭部並に前胸背は赤褐色。翅鞘は黒色。觸角は黄褐色。脚は赤褐色。體長三分五厘。これは本邦多からざる種類なり。
分布 北海道、本州。

ツマキノミハムシ……………(七五二)

Sphaeroderma apicalis Baly

分布 北海道、本州。

ホソスゲハムシ……………(七五三)

Syneta adamsi Baly



銅褐色。翅鞘は少しく紺色を帯びたる赤銅色。觸角は黒褐色。體長二分四厘。これはスゲ



分布 本州、九州。

ヒゲナガノミハムシ……………(七五〇)



六九 天牛科 (Cerambycidae)

觸角は十一節、稀に十二節、絲狀、鞭狀若しくは連鎖狀、時に雄に限り鋸齒狀若しくは櫛齒狀を呈し、普通體長の半より長く、長きは體長の數倍あり。複眼は普通腎臟形を呈す。大臑は彎曲し、末端は尖銳なり。第三跗節は二片に分枝す。脚は強剛、前肢は普通中肢よりも長し。體は細長なり。幼蟲は常に鐵砲蟲と稱し、何れも植物の組織内にありて食害す。本邦學名を有するもの約四百種あり。

チャイロカミキリ……………(七五五)

Aeolesthes induta Newman

黒色、背面に天鵝絨様の紅色毛を密生し、光線の工合により暗褐色の斑紋を現はす。前胸背に横皺多し。體長一寸六分内外。これは臺灣に産する大形的美麗種にして、埔里地方に産するも稀なり。
分布 臺灣、支那、印度。



共に黄毛の一縱條あり。翅鞘に黄色の毛塊を散在す。體下及び脚に灰白の短毛を密生す。體長五分五厘—六分五厘。これは札幌地方に産するも少なし。花上に捕へ得べし。
分布 北海道、本州。

シロヘリトラカミキリ……………(七五七)

Aglaophis colobothroides Hbst.

體は黒褐色。觸角に黄褐色あり。頭及び前胸背の兩側に白毛多し。翅鞘底の前半は赤褐色、後半は黒色、前者に三條の灰白條を裝ひ、翅端には白毛紋あり。腿節の基部



タイワンビロウドカミキリ……………(七五四)

Aeolesthes holosericea F.

全體灰色の短毛を以て蔽はる。翅鞘上の毛は淡紫色の光澤を帯び、光線の工合により暗色の斑



ケマダラカミキリ……………(七五六)

Agapanthia villosivirescens Deg.

體は黒色。觸角は基部の二節を除き灰白、少しく藍色を帯び、各節の末端は黒色。前胸背の中



は赤褐。體長三分五厘—五分。これは花上に捕へ得べきも少なし。

分布—北海道、本州。

テウセンベニカミキリ……………(七五八)

Anoplistes sanguinipennis Bleszig

體は黒色、同色の長毛多し。翅鞘は美麗なる赤色、黒色の短毛を疎生す。前胸背に小顆粒多し。體長五分五厘内外。これは朝鮮京城附近に産するも餘り多からず。



分布—朝鮮。

ヒゲナガゴマフカミキリ……………(七五九)

Aspilina liturata Bat.

體は灰白、黒色の斑紋多し。觸角各節の末端は黒色。體下に灰白毛を密生す。體長五分五厘—六分五厘。これは本邦稀ならざる種類なり。幼蟲はイタヤに寄生す。

分布—本州、四國、九州。

クビアカツヤカミキリ……………(七六一)

Aromia cyanicornis Guér.

體は黒色、光澤あり。前胸背は前後兩縁を除き赤色。觸角及び脚は黒藍色。體長一寸—一寸三分。これは朝鮮に産するも餘り多からざるが如し。



分布—朝鮮、支那。

シナクロフカミキリ……………(七六二)

Asperda agyathina Bat.

體は灰褐、少しく緑色を帯ぶ。觸角は黄褐、基部の二節及び各節の末端は黒褐。翅鞘に小黒褐紋を散在し、中央には黒褐の

♀



分布—北海道、本州。

クハカミキリ……………(七六〇)

Aritoma rugicollis Chev.

體は灰白、少しく青味を帯ぶ。觸角は白色、柄節、梗節及び各節の末端は黒色。翅鞘の基部に黒色の顆粒を散在し、全體黄色の短毛を密布す。體長一寸三分内外。これは桑、柑橘、無花果等の害蟲なるも、北海道には産せず。

ヤホニカ形 *f. japonica* Thoms. ♀



褐。翅鞘は暗黄褐。稜状部は黒褐。尾端は暗

♀



褐。體長四分—六分。これはトドマツ、エゾマツの材部に侵入

して有害なり。

分布—北海道、本州、西比利亚。

タテジマカミキリ……………(七六五)

Anthrenotus pachypyzoides Thoms



分布—本州、四國、九州。

クビアカツヤカミキリ……………(七六一)

Aromia cyanicornis Guér.

體は黒色、光澤あり。前胸背は前後兩縁を除き赤色。觸角及び脚は黒藍色。體長一寸—一寸三分。これは朝鮮に産するも餘り多からざるが如し。

ルフィコリス形 *f. ruficollis* Bat. ♀



分布—朝鮮、支那。

シナクロフカミキリ……………(七六二)

Asperda agyathina Bat.

體は灰褐、少しく緑色を帯ぶ。觸角は黄褐、基部の二節及び各節の末端は黒褐。翅鞘に小黒褐紋を散在し、中央には黒褐の

體は灰褐。前胸背に黒色の顆粒多し、中央の縦線は灰色。翅鞘の基部及び末端に黒褐の縦條を具へ、中央には大なる黒褐紋あり。體下及び脚に灰色毛を密生す。體長七分内外。これは何れの地方にも少なし。

分布—本州、九州。

オホシロスチカミキリ……………(七六六)

Balooera henrietta Krische

體は黒色。背面に灰褐の短毛を密生す。前胸背

♀



の中央の二紋は黄色。翅鞘に數個の白紋を裝ふ。稜状部及び體の兩側には白毛を、體下には暗色毛を、脚には灰色毛を密生す。觸角は黒褐、基部は黒色。體長二寸四分内外。これは臺灣バイバラ附近に産するも稀なり。恐らくは本邦最大の天牛なるべし。

分布—臺灣。

は赤褐。體長三分五厘—五分。これは花上に捕へ得べきも少なし。

分布—北海道、本州。

テウセンベニカミキリ……………(七五八)

Anoplistes sanguinipennis Bleszig

體は黒色、同色の長毛多し。翅鞘は美麗なる赤色、黒色の短毛を疎生す。前胸背に小顆粒多し。體長五分五厘内外。これは朝鮮京城附近に産するも餘り多からず。



分布—朝鮮。

ヒゲナガゴマフカミキリ……………(七五九)

Aspilina liturata Bat.

體は灰白、黒色の斑紋多し。觸角各節の末端は黒色。體下に灰白毛を密生す。體長五分五厘—六分五厘。これは本邦稀ならざる種類なり。幼蟲はイタヤに寄生す。

大紋あり。脚は黄褐、腿節の基部は黒色。體長三分—四分。これはシナノキの害蟲なり。

分布—本州。

クビアカカミキリ……………(七六三)

Aromia moschata L.

觸角及び脚は黒藍色。前胸背は赤黄。前後の兩端は紺色。翅鞘は緑色。體下は黒味勝ちなる綠色。體長八分五厘内外。これは札幌附近に産するも、本州には産せざるが如し。

アムプロシカ形 *f. ambrosica* Stev.



分布—北海道、朝鮮、西比利亚、歐洲。

マルクビヒラタカミキリ……………(七六四)

Asemina amurensis Kr.

體は黒褐、灰白毛を密生す。觸角の末端は黄

シロスチカミキリ

Bafoera lineolata Chev.

體は灰色乃至暗灰色。頭部兩側の一紋、前胸背中央の二大紋、その兩側の縦條、稜狀部、翅鞘の約八紋、胸側の縦條、各腹節兩側の大紋等は白色。體長一寸五分。一寸八分。これは暖地の産にして、檜、タヌキ等の害蟲なるが、東北及び北海道には産せず。

♀



溷に産し、タイワンマツ、イチジクの材部に浸入する普通種なり。

♀



ハンノカミキリ

Cagostina sanguinolentum Thomson

體は黒色。頭部(頭頂の一紋及び顔の三角紋は黒色)、前胸背(中央の二紋及び兩側の一紋は黒色)、稜狀部、翅鞘の前端及び接合線は赤黄。體長六分五厘内外。これはハンノキの材部に浸入

♀



するも、その數多からず。札幌地方にては稀なり。

分布 樺太、北海道、本州、四國、九州。

ヒメスキカミキリ

Callidium rufipenne Motsch.

體は赤褐。觸角、頭部及び前胸背は黒褐。前胸背の兩側に近く黒紋を裝ふ。體長三分。これは本州に普通の種類にして、杉の材部を食害す。

♀



クロヒラタカミキリ

Callidium violaceum L.

體は黒色。少しく紺色を帯ぶ。體下及び跗節は黒褐。體長四分五

♂



分布 本州、九州。

イチジクカミキリ

Bafoera rubus L.

體黒色、暗灰色の短毛を裝ふ。前胸背の二紋は赤色。稜狀部、各翅鞘の四、五個の斑紋並びに體下の兩側は白色。體長一寸四分内外。これは暖

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

オホアラカミキリ

Chlorotolum thalictos Pas.

頭部及び前胸背は綠藍色。觸角及び脚は黒藍色。稜狀部は黒色。翅鞘並に體下は美麗なる綠色。體下に天鵝絨様の灰色短毛を密生し、光線の工合により光澤を現はす。體長九分一寸。

♀



これは札幌附近に少なからず。幼蟲は柳の材部に蠢入す。

分布 北海道。

タケトラカミキリ

Chlorophorus annularis F.

第三鞘翅目

體は灰褐。觸角は褐色。前胸背中央の二紋は黒色。翅鞘は暗黄、肩部に近き長楕圓紋、その後方の一帯及び翅端に沿へる大紋は黒色。脚は暗褐、腿節は黒色を帯ぶ。腹部に灰白毛を裝ふ。

♀



體長四分五厘内外。これは竹の害蟲にして、暖地に多く、北海道には産せず。

分布 本州、臺灣、印度。

クロトラカミキリ

Chlorophorus (Clytanthus) figuratus

Soop.

ラチファシアーツス形 ♀

f. latifasciatus Fisch.



體は灰色。前胸背中央の二大紋、翅鞘中央の一

大紋、翅底の眼狀紋、翅端に近き一大紋は黒色。翅底にある黒紋の中央に灰色紋を裝ふ。體下及び脚に灰白毛を密生す。體長四分五厘。これは本邦普通の種類にして、幼蟲はヤナギ、ドロノキの害蟲なり。

分布 北海道、本州、九州、西比利亞、歐洲。

キイロトラカミキリ

Chlorophorus notabilis Pas.

背面は黄綠。前胸背の二紋、翅鞘の數紋(後方のものは帶狀を呈す)及び外縁は黒色。觸角、體下並に脚は暗灰色、少しく綠色を帯ぶ。中胸及び後胸の兩側片は灰黄。體長六分内外。これは東京近郊に稀ならず。これは織形科植物の花上に捕へ得べきも多からず。

♀



分布 本州。

ルリカミキリ

二五三

Chreonema fortunai Thomas.



雌
體は橙黄色。觸角は黒褐。翅鞘は美麗なる黒藍色、脚に暗色の軟毛を装ふ。體長三分四厘内外。これは梅、杏等の害虫なり。
分布 本州、支那。

ジフジクロカミキリ.....(七七七)

Glyptostoma pulchra Bat.



雌
體は黒色。翅鞘は灰色、各二大紋は黒色。觸角は黄褐。體長二分内外。これは日光附近に捕へ得べきも甚だ稀なり。
分布 本州。

オホクロカミキリ.....(七七八)

Oriocephalus quadricostatum Kr.

體は褐色乃至黒褐。翅鞘に灰色の微毛を装ふ。體長六分。これは北海道には稀ならざる

Cyrtolystus caproides Bat.



雌
種類なり。幼蟲はトドマツの切株に蠢入す。
分布 北海道、本州、朝鮮、アムール。

サビカミキリ.....(七七九)

Oriocephalus ruficornis L.



雌
體は暗褐、黄色の短毛を密生す。體下は赤褐。體長七分。これは東京附近に普通なる種類なり。幼蟲は松、杉、檜の材部に蠢入す。
分布 本州、歐洲。

キスチトラカミキリ.....(七八〇)

Cyrtolystus caproides Bat.



雌
體は黒褐。觸角、翅底及び脚は黄褐。頭部の二紋、後頭の一帯、杖状部、翅鞘の一斜條及び一廣帯は黄色。
觸角の末端及び腿節の中央は暗褐
腹面の兩側に黄色の毛塊紋あり。體長四分五分。これは柿の材部に蠢入す。
分布 北海道、本州。

ホタルカミキリ.....(七八一)

Dere thoracica White



雌
體は黒藍色。觸角は黒色。前胸背は前後の兩端を除き赤色。各腹面節の後縁は細く黄色。體長三分内外。これは本邦稀ならざる種類にして、幼蟲は、檜、ネムノキを害す。

分布 本州、四國、九州。

ヒロウドカミキリ.....(七八三)

Dihammus cervinus Hope



體は褐色、天鵞絨様の光澤を有す。額片及び上唇の末端は黄色。觸角は黄褐。翅鞘に灰褐の短毛を密生す。體長六分乃至七分。これは本邦普通なる種類にして、幼蟲はユヅリハの材部を食害す。
分布 本州、四國、九州。

分布 北海道、本州。

センノカミキリ.....(七八三)

Dihammus luxuriosus Bat.

體は黒褐。觸角は黄褐、基部は黒褐。翅鞘は灰毛を密生し、二個の不明瞭なる黒褐紋(灰毛なき部分)を装ふ。脚は赤褐。體長七分五厘一寸

雌



三分。これは本邦何れの地方にも稀ならず。幼蟲はセンの害虫なり。
分布 北海道、本州、九州。

ホソカミキリ.....(七八四)

Distenia gracilis Bless.

體は暗褐。觸角は黄褐。翅鞘に灰黒の短毛を密生す。體長八分内外。これは本邦何れの地にも稀ならざる種類なり。幼蟲はマツ、トドマツの材部に蠢入す。
雌

分布 日本全土。

アカホシカミキリ.....(七八五)

Eupromus ruber Dalm.



背面は天鵞絨様の朱色、前胸背の一縱條及び四方の棘状突起は黒色。翅鞘に黒毛より成る小紋を散在す。體下及び脚は黒色。前胸、後胸の側方、第一、第二腹節の二紋、各腿節下面の一紋等は朱色。體長九分内外。これは熊本地方に稀ならず。
分布 九州。

クロスチハナカミキリ.....(七八六)

Eustrangalia distenoides Bat.



體は黄色。頭頂、觸角、前胸背の

二紋、翅鞘の一縦條及び尾節は黒色。跗節は黒褐。體長四分八厘内外。これは札幌地方に普通なる種類なり。この幼蟲はイタヤの材部に蠢入す。

分布 北海道、本州。

ヤツメカミキリ……………(七六七)

Entetrapha oculata Lat.

體は黄褐色。前胸背の六紋、翅鞘の各四紋及び側方の一隆條は黒色。觸角は黒色、第二節の末端は黄緑色。脚は體色と同色、中、後兩脛節の末端は黒色。體長四分五厘—五分五厘。これは札幌附近に稀ならざる種類なり。



分布 北海道、本州。

シナカミキリ……………(七七八)

Entetrapha varicornis Bat.

體は灰黄。觸角は灰白、基部の二節並にこれに次ぐ五節の各末端は黒色。翅片は黄褐。前胸背兩

地色を現はす。頭部及び前胸背の毛塊は小にして、その紋多からず。觸角は黒色。體長一寸二分内外。これは朝鮮に稀ならず。

分布 朝鮮、支那。

フタコブルリカミキリ……………(七九二)

Lemula coerulescens Lat.

體は黒色。前胸背の周圍は黄褐、中央に二對の疣狀突起あり。翅鞘は美麗なる暗綠色、少しく藍色の光澤を帯ぶ。後胸は暗藍色、側片に天鵝絨様の灰褐色を裝ふ。前、中兩脛節の基部に黄



褐の各一紋あり。體長八分内外。これは札幌附近に産するもその數多からず。花上に捕へ得べし。

分布 北海道。

ミドリカミキリ……………(七九三)

側の縦條、中央の四紋、翅鞘の各七紋並びに兩側の一縦條は黒色。體長五分八厘内外。これは



札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲はシナノキの材部に蠢入す。

分布 北海道、西比利亞。

トホシハナカミキリ……………(七八九)

Eychinus interrogatoris L.

體は黒色。灰黄の短毛を裝ふ。翅鞘は淡黄色、各五個の小黒紋を有す。體長四分二厘内外。これは日本アルプスの高山地帯に稀ならず。繖形科植物の花上に捕へ得べし。

分布 樺太、本州、歐洲。

Laonitum viride Thomson.

體は光澤ある黒綠。觸角及び脚は黒藍色。體長五分三厘内外。これは本邦稀ならざる種類にして、繖形科植物の花上に捕へ得べし。



分布 北海道、本州。

ヒゲトベニカミキリ……………(七九四)

Leptoxenus tibialis Lat.

體は暗赤色。觸角末端は黒色。翅鞘は美麗なる



シラホシカミキリ……………(七九〇)

Glonaea relictus Pasce.

體は黒色。翅鞘及び脚は黄褐。頭頂の二縦條及び翅鞘の五紋は白色。翅端は少しく黒色を帯ぶ。胸側及び腹側に白色の毛塊を裝ふ。體長四分五厘。これも繖形科植物の花上に捕へ得べき普通種なり。

分布 北海道、本州、支那。

ヒロオビカミキリ……………(七九一)

Laminium gotschei Kolbe

地色は黒色。全體灰色の短毛塊を裝ひ、爲めに斑紋狀を呈す。翅鞘の基部及び中央の太き一帯は



赤色、光澤あり、前半に強き點刺を密布す。背面に暗色の長毛を疎生す。體長六分内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布 本州、九州。

カラカネカミキリ……………(七九五)

Leptura dorsalis Bat.

體は黒色、灰白毛を密生す。翅鞘は光澤ある黒綠。觸角の末端及び脛節の基部は黄色。體長四



分五厘内外。これは高山地帯に稀ならず。同じ繖形科植物の花上に捕へ得べし。

分布 北海道、本州、九州。

アカハナカミキリ……………(七九六)

Leptura succedanea Lew.

體は黒色。前胸背、翅鞘、前脛節の下方及び前

脛節の大部は赤褐。前胸背前後の各一紋は黒色。稜状部及び翅鞘に黄色の短毛を密生す。體下は黒褐、黄白の短毛を密生す。體長六分五厘内外。これは繖形科植物の花上に捕へ得べき普通種なり。幼蟲はハンノキの材部に蠶入す。

♀



分布—北海道、本州。

アラハナカミキリ……………(七九七)
Leptura virens L.

♀



ウスハカミキリ……………(八〇二)
Megopsis sinica White

體は暗褐。上唇に金色毛を密生す。體下及び脚は赤褐。體長一寸一分乃至一寸四分。この幼蟲

♀



は白楊、榆、柳等の害蟲にして、本邦普通の種類なり。これに觸るれば前胸を中胸に摩擦してキキの音を發す。

分布—北海道、本州、九州。

ゴマダラカミキリ……………(八〇三)
Melanaster chinensis Först.

體は光澤ある黒色。體下及び脚に藍色を帯びたる灰白の短毛を密生す。觸角の基部、翅鞘の十五六個ある大小紋は白色。體長八分—一寸。この幼蟲はクハ、イチジク、カンキツ、ヤナギ、

體は黒色なるも、全體黄緑の短毛を密生するを以て、一見灰線乃至黄線なるが如し。觸角各節の基部は(基部を除く)黄褐。體長六分五厘内外。これは樺太に普通なる種類にして、繖形科植物の花上に捕へ得べし。

分布—樺太、西比利亞、歐洲。

ヤマカミキリ……………(七九八)
Melanhyx ruddoi Hesseig

體は黒褐、黄色の短毛を密生す。各腹節の後縁は黄褐。體長一寸五分—一寸八分。これは本邦普通なる種類にして、幼蟲は栗、檜等の材部に

♂



蠶入す。北海道には産せず。

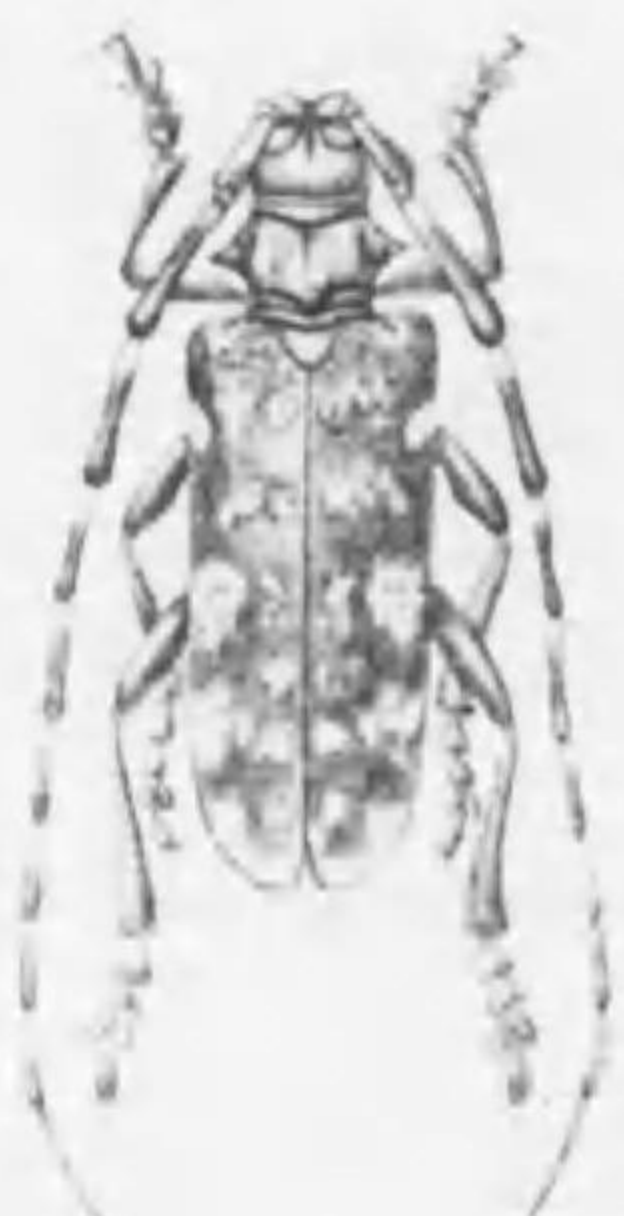
分布—本州、四國、九州。

イタヤカミキリ……………(七九九)
Meconitipus pubicornis Kst.

センダン等の材部に蠶入す。何れの地方にも普通なり。

マクハラウス形 ♂

M. mucronatus Thomson.



ゴマフカミキリ……………(八〇三)
♂

分布—日本全土、朝鮮、臺灣、支那。



體は暗褐、黄褐の短毛を密生す。觸角は赤褐、灰白毛を密生す。翅鞘中央の一斜帯及び翅端は廣く灰白、褐色紋を散在す。脚及び體下に褐色の短毛を密生す。體長六分—九分。これはイタヤの害蟲にして、札幌地方には普通なり。

♀



分布—北海道、本州。

オホクロカミキリ……………(八〇〇)
Megaceros quadricostulatum Kr.

♀



體は黒褐。翅鞘には各二條の縦隆を具へその間室に縮刻多く、灰色の微毛あり。

體長六分—一寸。この幼蟲は札幌地方にてはトドマツの切株に蠶入す。

分布—北海道、本州、西比利亞。

Mesosa japonica Kst.

體は暗色。觸角は黄褐、基部の二節及び各節の末端は黒色。前胸背に四黒紋を有し、黄色の毛塊を散在す。翅鞘に灰色の短毛を密生し、黄色及び黒色の毛塊を散在す。體長五分—六分。この幼蟲は北海道にてはニレ、ウルシ、リンゴ等の材部に蠶入す。

分布—北海道、本州、九州。

クワクコウカミキリ……………(八〇四)
Merolamia cleroides Kst.

體は栗色、光澤を有す。觸角、脚及び翅鞘の基部は赤黄。翅鞘中央の後

♀



分布—本州。

ヘニフカミキリ……………(八〇五)
Moechotypa diplysis Pasg.

體は黒色。各觸角節の基部は灰赤。前胸背に赤色の小毛塊を裝ふ。稜状部の周縁、中胸の側方後胸の後半、基部、各腹節の基部及び末端に近



♀
き一紋、各脛節の二紋、各腹節兩側の紋列は紅色。翅鞘に黒色の毛塊を

散在す。體長八分五厘内外。これは朝鮮平城附近に産するも稀なり。

分布—對馬、朝鮮、支那、アムール。

シラホシコバネカミキリ……………(八〇六)

Molorchus minor L.

體は黒色。觸角、翅鞘及び脚は暗赤褐。翅鞘は短小、後方に各一白紋を裝ふ。後翅は半透明、末端は暗色を呈す。體長二分—三分五厘。これは樺太に普通の種類にして、種々の花上に捕へ

♀



得べし。幼蟲はトドマツの皮下にありて食害す。

分布—樺太、西比利亞、歐洲。

ヒゲナガカミキリ……………(八〇七)

Monochamus granilis Waterh.

體は黒色なるも、灰色毛あるを以て暗色を呈す。前胸背兩側の後半に灰白毛の縱條を具へ、後胸片の兩側に各一個の灰白紋を裝ふ。雌は翅鞘に灰白の毛紋を散在し、翅底に顆粒多し。體長一寸—一寸六分。幼蟲はトドマツ、エゾマツの切株若くは切木に蠢入し、成蟲は時に新芽を食ひ大害を加ふることあり。これは本邦産最長の觸角を有するものなり。

♂



分布—北海道、本州。

ヨツボシヒゲナガカミキリ……………(八〇八)

Monochamus sartor F.

♀



北海道には餘り多からざるも、本州には稀ならず。

分布—北海道、本州、九州。

ツヤホソコバネカミキリ……………(八一〇)

Neodyalis obovata Rat.

體は黒色。體下に灰色の短毛を裝ふ。後脛節の基部は少しく褐色を帯ぶ。後翅は暗色、半透明。體長六分五厘内外。これは北海道に産するも甚だ稀なるが如し。

♀



分布—北海道。

ガロアホソコバネカミキリ……………(八一二)

Neodyalis galloisi Mats. et Tamamuki

體は黒色。翅鞘は濃赤褐、後半にては内側及び外縁を除き黒色。腹部は赤褐、末端は暗色。前

♀



中兩肢並に後脛節の基部は黃褐。體長五分内外。これは日光附近に産するも稀なり。

分布—本州。

ニツクワウホソコバネカミキリ……………(八一三)

Neodyalis nikkoensis Mats. et Tamamuki

體は黒色。觸角基部の五節(第五節の末端は黒色)、翅鞘及び脛節(後脛節の末端黒色)は赤褐

♀



これはヒゲナガカミキリに酷似するも、體邊かに小、前胸背及び後胸片に白紋を缺き、翅端に灰黄毛を密生し、雌にては翅鞘に二乃至四紋を

クアドリマクラーツス形 ♂

M. quadrinaculatus Motsch.



裝ふによりて區別せらる。體長七分—一寸。樺太には普通なり。

分布—樺太、北海道、西比利亞。

ヒメヒゲナガカミキリ……………(八〇九)

Monochamus subfasciatus Rat.

全體暗色、少しく褐色を帯ぶるものあり。灰黄の短毛多し。翅鞘に灰黄の小紋を散在し、中央の帯は白色。短毛よりなる。觸角各脛節の基部は灰白。體長四分五厘—五分五厘。これは北

後翅は透明、褐色を帯び、末端暗色。腹部は大牛赤褐、末端は黒色。體長八分内外。これは日光中禪寺附近に産する珍種なり。

分布—本州。

ホソコバネカミキリ……………(八一三)

Neodyalis pennata Law.

體は黒色。翅鞘及び脚は赤褐。翅は半透明、少しく褐色を帯ぶ。これはニツクワウホソコバネカミキリに似たるも、體小、觸角及び腹部全體黒色なるに依りて容易に識別し得べし。體長六分五厘。

♀



日光附近にて發見せられたるも、甚だ稀なるが如し。

分布—本州。

リンゴカミキリ……………(八一四)

Obeata japonica Thunb.

體は黄色。頭、觸角、翅鞘の外側及び接合線、



中胸、初めの三腹節及び尾端は黒褐。體下に銀白毛を密生す。體長五分七分。この幼蟲は華樹の害蟲なるも少なし。

分布—本州、九州。

セジロカミキリ *Oleocampylus crataeus* Bat. (八二五)

體は暗褐。頭頂、前胸背及翅鞘の中部は白色。胸腹の兩面白色なれども、背上の如く濃色ならず。體長八分内外。これは東京地方に産すれども餘り多からず。



體は暗赤褐。觸角、翅鞘の周圍、腹部、脛節、跗節等は赤褐色。翅鞘の二帯は黄色。體長二分三厘内外。これは日本アルプスに普通なり。

分布—本州、朝鮮、西比利亞。

フタモンマルガタハナカミキリ (八七)

Pachyta hiemata Motsch.

體は黒色。翅鞘は黄褐、後半に各一個の細長き黒紋を裝ふ。體下に黄色の短毛多し。體長六分内外。これは樺太に稀ならざる種類にして、織



シロトラカミキリ *Pachyta exilis* Bat. (八一九)

背面は黒色。觸角は暗褐、末端は黄褐。前胸

形科植物の花上に捕へ得べし。

分布—樺太、西比利亞。

マルガタハナカミキリ (八八)

Pachyta exilis Bat.

體は黒色、黄褐の短毛多し。翅鞘は褐色、中央部後方の各一横紋及び翅端は黒色。體長五分内外。これは本邦普通の種類にして、織形科植物の花上に捕へ得べし。



分五厘内外。これは東北地方に産するも稀なり。

分布—本州。

スキンホーカミキリ (八三)

Paraglenes swinhoi Bat.

體は灰藍色。前胸背の四紋、翅鞘基部の一紋及び後方のS字形紋は黒色。翅鞘基部に小黑點を散在す。



觸角は黒色、基部の二節は外面にて藍色を呈す。脚は灰藍色、脛節の基部及び末端は黒色。體長四分五厘—五分五厘。これは臺灣の平地に少なからず。

分布—臺灣、支那。

ジフニホシカミキリ (八二四)

Paraglenes theopha Bat.

體は美麗なる綠色乃至金綠色。前胸背の四紋(二個は側方にあり)、翅鞘の各三紋(後方のものはC字形を呈す)及び側縁の二縦隆は黒色。觸角

分布—本州。

フタオビチビハナカミキリ (八六)

Oniphilodera puziloi Solsky

體は暗赤褐。觸角、翅鞘の周圍、腹部、脛節、跗節等は赤褐色。翅鞘の二帯は黄色。體長二分三厘内外。これは日本



體は黒色、灰白の短毛を密生す。前胸背兩側の各一縦條及び稜狀部は灰白。翅鞘は暗灰、兩側の黒縦條は翅端に達せず。脚及び體下に灰白毛多し。體長三分

♀



四分。幼蟲はカツラの材部を食害す。札幌地方に普通なり。

分布—北海道、本州。

ヒゲナガシラホシカミキリ (八三)

Paraglenes japonica Yamamoto

背面は黒色、眼の周圍、頭頂の二小紋、前胸背兩側の各一縦條、中央の細き一線、翅鞘の各五紋等は白色、少しく靑色を帯ぶ。體下には細青白色の細密毛を密生す。觸角は黒色。體長四分

♀



ハンノアラカミキリ (八二〇)

Paraglenes chrysochloris Bat.

體は光澤ある鐵物性の淡綠。觸角、前頭の一紋前胸背の四紋、稜狀部、翅鞘の外側及び縦列せる四大紋、



脚及び腹部は黒色。中後の脛節は少しく綠色を帯ぶ。尾

端の兩側は綠色。體長四分—五分。これはシナノキ、カツラの切木に集來する所を以て見れば恐らくは同木はその幼蟲の食樹なるべし。

分布—北海道、本州。

カツラカミキリ (八二)

Paraglenes fortunei Saund.



♀
は黒色、基部に藍色の鱗毛を生ず。體長五分内外。これは北海道の高原地帯に普通なり。幼蟲はシナノキの害蟲なるが如し。
分布—北海道。

シロオビカミキリ……………(八三三)

Phymatodes albofasciatus Motsch.

♂
體は黒色。觸角、翅鞘及び脚は黒褐。翅鞘に灰色の短毛多く、中央に灰白の一帯あり。體長二分内外。これは札幌地方に多く、幼蟲は葡萄の害蟲なり。

分布—北海道、本州。

アカネカミキリ……………(八三六)

Phymatodes maackii Kr.

體は黒褐。觸角、翅鞘の基部、中後の兩胸、腿節の基部は赤褐。翅鞘の三分の二は黒褐にしてこの幼蟲はシナノキ、ニレ等の害蟲なり。札幌地方には普通なり。
分布—北海道、本州。

キオビアラカミキリ……………(八三〇)

Polyzonus fasciatus F.

♀
體は黒藍色。翅鞘の二帯は黄色。體下には天鵝絨様の灰黄短毛を密生す。體長七分内外。これは朝鮮に普通なり。
分布—朝鮮、支那。

ノコギリカミキリ……………(八三一)

Prionus insularis Motsch.

體は黒褐。前胸の兩側に鋸齒狀の突起あり。觸角、兩體及び脚は黄褐。胸下に黄褐の短毛を密生す。體長八分—一寸三分。これは札幌地方に普通なる種類にして、幼蟲はブナ、樅等の枯木を食す。人これに觸るれば胸部を摩擦してキキの高音を發す。



♀
中央に黄白の各二紋あり。體長二分七厘。この幼蟲は葡萄の害蟲なるも、餘り多からず。
分布—北海道、本州、アムール。

キクスヒカミキリ……………(八三七)

Phytoecia rufiventris Gant.

體は暗色、少しく藍色を帯ぶ。前胸背中央の瘤狀突起は赤黄。翅鞘に灰白の短毛を密生す。尾端の二腹節、前腿節及び前脛節の下方、中脛節及び後脛節の中央は赤褐。體長二分—三分。この幼蟲は有名なる葡萄の害蟲にして、成蟲は豫め菊の幹を切り、その内に卵子を産下す。北海道には産せず。
分布—本州、四國、九州、西比利亞。

コトラカミキリ……………(八三八)

Plagionotus pulcher Hesseig.



♀
體は黒褐。前頭、觸角、翅鞘の基部、腹面並に脚は黄褐。翅鞘の基部に近き一斜紋、中央の二帯及び翅端は黄色。腿節の中央は黒褐。中胸並に第一、第二腹節の兩側に各一個の黄色毛塊あり。
分布—北海道、本州。

ネジロカミキリ……………(八三九)

Pogonocherus seminivens Bat.

♂
體は黒色。觸角の基部は褐色、各節の基部は白色。翅底は白色、中央に暗色紋を具へ、翅端は黄色。體長二分二厘内外。



♀
體は黒褐。頭頂の一縦條、眼の前方の二紋、頭部側方の各二縦條、前胸背兩側の各二縦條、胸部の兩側、後胸側方の各二紋、腹部側方の二列に配列せる斑紋は白色。翅鞘に多數の大小白紋を散在す。體長六分—一寸。これは暖地に多しと雖ども北海道には産せず。
分布—北海道、本州、朝鮮、滿洲、支那。

スズキカミキリ……………(八三二)

Pezomachus hilaris Pasco.



♀
體は暗褐。翅鞘の中央は廣く灰白、その中に二

ナカジロサビカミキリ……………(八三四)

Pterolophus jugosa Bat.

體は暗褐。翅鞘の中央は廣く灰白、その中に二



個の灰色縦紋あり。脚及び體下は體上よりも少しく淡色。脚に白毛ありて、斑をなす。體長三分内外。これは本邦普通なる種類なるも北海道には産せず。

分布 本州、九州。

アトジロサビカミキリ……………(八三五)

Pterolophia zonata Har.

體は黒褐。觸角は赤褐、各節の基部に白毛を裝ふ。翅鞘の後半は灰白、その中央に各一個の黒隆起あり、翅底に近き隆條より黒色の毛塊を生ず。脚に白毛ありて斑をなす。



體長四分内外。これは薪木に捕獲し得べき普通種なり。

分布 北海道、本州。

ハヒイロカミキリ……………(八三六)

Rhagium inquisitor L.

體は灰色。觸角基部の大半は黄褐。末端は黒褐。前胸背中央の縦條、翅鞘の三縦條及び體下は黒褐。翅鞘に黄色部を具へ、間室には黒褐の小紋を散在す。脚は赤褐。體長五分—六分。この幼蟲はトドマツの切株に蠢入す。札幌地方には普通なり。

♀



分布 樺太、北海道、本州、九州、朝鮮、西比利亞、歐洲。

ルリロシカミキリ……………(八三七)

Rosalia lutea Har.

體は青色。觸角基部の二節は黒色、次の三節の各末端に黒色の毛塊あり。前胸背の前縁、中央



の一横紋、翅鞘の三大紋、腿節及び脛節の兩端は黒色。體下に青白色の短毛を密生す。體長九分五厘内外。この幼蟲は胡桃、柳等の害蟲なるが、札幌地方には稀ならず。

♀

分布 北海道、本州。

タイワンベニロシカミキリ……………(八三八)

Rosalia formosana Zinn.

體は天竺絨様の朱色。頭部、觸角、前胸背の四紋、翅鞘の基部、その後方の各二紋並に中央後

♀



方の太き一帯、脚基部の周圍、中胸背、腹部の末端節等は黒色。體長一寸内外。これは臺灣に産するも稀なり。

分布 臺灣。

アラメハナカミキリ……………(八三九)

Szechuanobia koltzai Heyd.

體は黒色、少しく緑色を帯ぶ。翅鞘は粗糙にして、その中央の一帯は黄色。觸角及び脚は濃赤褐。腿節の末端及び跗節は黒色。體長六分内外。これは樺太に産するも少なし。花上に捕へ得べし。

♀



體は暗黄、少しく緑色を帯ぶ。翅鞘に十個の黒紋あり。體長六分内外。これは札幌附近に普通なる種類にして、幼蟲はシナノキに寄生するが如し。

♀

Asperita decempunctata Gyll.

分布 北海道、西比利亞。

スギカミキリ……………(八四一)

Semanotus japonicus Lat.

體は栗色。觸角、脚及び腹面は黄褐。翅鞘に各一個乃至二個卵形の黄紋を裝ふ、翅端は淡色。

♀



體は黒色。背面に光澤を有す。體下は暗色。體長六分—七分。これは本邦稀ならざる種類なれども北海道には産せず。幼蟲は松、樅等の朽木を食す。この成蟲は一見吉丁蟲に似たるを以てタマシモドキの種名を有す。

♀

クロカミキリ……………(八四二)

Spondylis bupestoides L.

分布 本州、四國、九州、支那、西比利亞、歐洲。

トホシカミキリ……………(八四〇)

分布 樺太、西比利亞。



ヨツボシカミキリ……………(八四三)

Stenogrinus Anotatum Pat.

體は黄褐。翅鞘の中央に各二個の黄白紋を装ひ、翅端は少しく淡色。龜甲様の光澤を有す。體長四分内外。



これは栗の花に捕獲し得べく、又其幼蟲は栗の材部に蠢入す。何れの地方にも稀ならず。

分布—日本全土、支那、アッサム。

ヘリグロベニカミキリ……………(八四四)

Sternophistes spectabilis Motsch.

體は黒色。前胸背及び翅鞘は紅赤色、黒色の長



♀

よりて區別せらる。體長一寸内外。札幌地方にては花上に捕獲し得べきも少なし。

分布—北海道、本州。

ヨスチハナカミキリ……………(八四八)

Strangalia ochraceofasciata Motsch.

體は暗褐。觸角、前頭のX字形紋、翅鞘の四横帯は黒褐。觸角の基部は黄褐。頭部及び前胸背



♀

は暗褐にして、天鵞絨様の黄毛を密生す。脚は黄色。體長七分内外。これは札幌地方には花上に普通なるが、未だその食樹は判然せず。

分布—北海道、本州。

フタスチハナカミキリ……………(八四九)

毛多し。前胸背に五個、翅鞘の後方に各一個の黒紋あり。體長六分内外。これは本邦到る所に稀ならざる種類なるが、その幼蟲はナツメに寄生するが如し。

分布—北海道、本州、九州、支那。

ベニカミキリ……………(八四五)

Sternophistes tenuinickii Guér.

體は黒色。前胸背及び翅鞘は美麗なる赤色。前胸背の五紋は黒色。これはヘリグロベニカミキリに似たるも、前胸背の側方赤色にして、翅鞘



♀

に黒紋を缺くにより容易に區別し得べし。體長六分内外。これは暖地の産にして少なし。

分布—本州、九州。

アシフトハナカミキリ……………(八四六)

Strangalia decemmaculata Muru.

頭部黒色、眼の前方及び下方は赤褐。觸角黄褐、各節の末端黒色。前胸背及び翅鞘は赤褐、前者中央の一大紋及び後者の二帯は黒色。體下は黒色。前胸の大部及び第一、第二兩腹節の大半は黄褐。脚は赤褐、後腿節の末端、後脛節の後半及び後跗節は黒色。體長四分—七分。これは北海道には普通なるも本州には稀なり。

♀



分布—北海道、本州。

エゾマツカミキリ……………(八五〇)

Tetopium castaneum L.

體は黒色、黒毛多し。前胸背は頗る光澤を帯ぶ。翅鞘は光澤を缺き、短毛を密生す。個體により、翅鞘、觸角及び跗節の黄褐なるものあり。體長三分三厘—四分五厘。この幼蟲はエゾ

體は黒色。頭部及び前胸背に黄色の短毛を装ふ。翅鞘の各五紋は黒色。雄の後脛節は膨太す。體長五分内外。これは札幌附近に普通なる種類にして、花上に捕へ得べし。

分布—樺太、北海道、西比利亞。

オホヨスチハナカミキリ……………(八四七)

Strangalia (Strangalia) maindroni Pic

これはヨスチハナカミキリに似るも、體は遙に大にして、觸角の基部は黒褐、前胸背に黄毛を密生せず、脛節端及び後脛節の末端は黒褐なるに



♂



♀

マツ、トドマツ等の害蟲なり。札幌地方には普通にして、トドマツの伐木地に

到れば幾等も捕へ得べし。

分布—樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

アサカミキリ……………(八五一)

Thyestilla (Thyestes) gebleri Fald.

體は暗灰色。額片は光澤ある黄色。前胸背中央の縦條及び兩側の縦條、翅鞘の外側並びに縫合線は灰白。體長五分内外



♀

成蟲は蕨を食するも、幼蟲は大麻の幹に蠢入す。

分布—本州、四國、九州、朝鮮。

モ、グロハナカミキリ……………(八五三)

Toxotinus reini Heyden

體は黒色。觸角は黄赤色、基部は黒色。翅鞘は黄褐色。脚は大部黒色、前脛節、中脛節の中央及び各跗節は赤褐色。後胸側片に灰色の短毛を密生す。體長五分内外。これは秩父地方に稀ならず。



分布—本州。

ヤハズカミキリ……………(八五三)

Uruecha bimaculata Thoms.

體は褐色、黄褐色を密生す。前頭には黒色の縦溝あり。觸角は黄褐色。翅鞘の中央に天鵞絨様の黒褐色あり。體長六分五厘内外。これは中國地方に稀ならずも北海道には産せず。



合

分布—本州、四國、九州。

トラフカミキリ……………(八五四)

Xylotrechus chinensis Chev.

體は黄色。觸角、胸下、前胸背中央の横條並に後縁、翅鞘の横條等は黒色。觸角の末端及び前胸背の黒色部の間は赤褐色。體長五分一分。これは本邦何れの地方にも稀ならざる種類にして幼蟲は桑の害虫なり。

子



分布—北海道、本州、九州、支那。

ムネダダトラカミキリ……………(八五五)

Xylotrechus grayi White

體は黒色、前胸背の紋及び體下兩側の紋列は灰白。觸角は灰白、基部は暗褐色。翅鞘は暗褐色、各

ウスイロトラカミキリ……………(八五七)

Xylotrechus pallidipennis Mats.

體は黒色。前頭隆起の兩側及び前胸背後縁の兩側に黄色の毛塊あり。翅鞘は暗黄、末端及び前縁は濃色、雄は雌よりも少しく淡色、淡黄の二斜條あれども、餘り明瞭ならず。雄の觸角は褐色。體長三分五厘一分。これは札幌地方に産するも稀なり。



子

クビアカトラカミキリ……………(八五八)

Xylotrechus rufinus Kat.



子

體は黒色
前胸背は
暗赤色。
翅鞘(兩
者合し
て)のX

第三輯 翅目

翅鞘前方のN字形紋及び後方の一斜狀は灰白。

子



腿節は末端を除き赤褐色。中後兩脛節は大部赤褐色、末端黒色、體長三分四分五厘内外。これは暖地の産にして、幼蟲は桐の害虫なり。

分布—本州、九州、臺灣、支那。

ブダウトラカミキリ……………(八五六)

Xylotrechus pyrrhoderus Bat.

體は黒色。前胸背は赤褐色、稍々球形を呈す。翅鞘の紋狀部に近き所に黄褐色と黄色の二帶を具へ、前方の帶は細く斜走し、後方のものは横走



子

して太し。體長三分五厘一分四分五厘。これは葡萄の害虫なるが、地方的にして、餘り多からず。

分布—本州、四國、九州。

七〇 三錐象科 Brentidae

Brentidae

觸角は十一節、連鎖狀を呈す。口吻は延長し、兩齒を缺く。後頭は普通頸狀を呈し、頭部に十字形の深溝あり。稜狀部は不明。腹部は五節よりなり、第一及び第二節は甚だ長く、第三、第四兩節は甚だ短かし。體は強固にして、細長なり。口吻及び觸角は三錐狀に配置するを以てこの名あり。本邦に産するもの約三十二種あり。多くは倒木を食するを以て有害ならず。

クロオビミツギリザウ……………(八六〇)

Allaeonetrus brevicornis Zenina

體は光澤ある赤色。翅鞘は赤褐色、中央の横紋は黒色。各脛節は短太。體長三分内外。この種類は臺灣に産するも餘り多からず。

合



分布—臺灣。

ナミミツギリザウ (ミツギリザウ) (八六二)

Baryrhynchus loweri Roel.

體は光澤ある赤褐。翅鞘に各七個の黄紋を有す。雌の口吻は細長なるも、雄にては短太なり。體長六分内外。これは臺灣に普通なる種類にして、その幼蟲はバナナの害蟲なり。



分布 九州、臺灣。

ムツモンミツギリザウ (八六三)

Pseudoryhynchus insignis Lew.

體は光澤ある暗赤褐。翅鞘に判然せる各三個の黄紋と、翅端に近く二個の小黄紋を裝ふ。體長五分内外。これは本邦普通の種類なり。



分布 北海道、本州。

ヒゲナガザウ (八六六)

Phloeotus rufus F.

體は暗灰色褐色及び灰白紋を散在す。頭部の二縱條は黒色。體下は灰黄。體長五分五厘内外。これは暖地の産にして、北海道には産せず。



分布 本州、九州、臺灣、漆洲。

ヒメヒゲナガザウ (八六七)

Tropiditeres notulosus Sharp

體は暗灰色。白紋を散在す。觸角は黒色。前胸背の中央に白毛よりなる一縱條あり。翅鞘の各六紋は白色、第三間室にある三個の突起は黒色。脚は白色と黒色の斑をなす。體長一分六厘内外。これはクリ、リンゴ、ニレ等の老木に捕獲し得べし。



分布 北海道。

七一 長角象科

Anthribidae

觸角は細長、稀に體よりも遙かに長きものあり、頭の下方向くは口吻の兩側より出で、末端の三、四兩節は膨大して棍棒状若くは紡錘状を呈し、觸角孔は大形、その周縁は突出す。爪の下方に一齒あり、跗節は五節なれども、第四節は二分せる第三節内に隠れて判然せず、後肢は短大。翅鞘はやゝ腹部を覆ふ。多くは朽木を食するを以て有害なるもの少なし。稀に貝殻を食し、有益なるものあり。本邦に産するもの約七十種あり。

シロヒゲナガザウ (八六三)

Anthribus daimio Lew.

體は灰褐。前胸は白毛及び褐毛を以て綾様の紋を構成す。翅鞘中央の大紋及び翅端は灰白、第二間室に毛塊よりなる二横紋あり。體長三分八厘内外。これは



七二 象鼻虫科

Curetonitidae

觸角は膝状(稀に端直なるものあり)、普通其柄節は延長す、末端は棍棒状又は球桿状を呈す。口吻は延長し、その末端に口部あり。兩側甚だ小にして、圓錐状を呈すれども判然せず。後肢の基節は楕圓形を呈し、横置せられ、小なり。種類多く、或は果實に蠶入し、或は樹幹を穿ち或は葉を食し、或は花を害し、農林業者に大害を加ふるもの少なからず。本邦學名を有するもの數百種あり。

マダラハスチザウ (八六八)

Alosimus granulatus Minnh.

體は黒色。前胸背の四紋及び兩側は白色。翅鞘は灰白色。黒紋を散在す。體下及び脚に灰白毛あり。體長六分内外。これはアザミの葉上に捕へ得べし。



分布 本州、朝鮮、滿洲。

餘り多からず。分布 北海道、本州。

カタアカヒゲナガザウ (八六四)

Braolymus nigroviriegatus Roel.

體は暗褐、褐毛多し。翅鞘の肩部は赤褐。觸角、體下及び脚は黒褐。體長一分五厘内外。これはマルカヒガラを食して有益なり。餘り多からず。分布 本州、九州。



分布 本州、九州。

キノコヒゲナガザウ (八六五)

Cacoethinus ocellatus Sharp

體は赤褐、灰白毛を密生す。翅鞘には黒紋を散在す。體下及び脚は黒褐。後脛節の基部に赤褐紋ありて、これに白毛を生ず。體長三分。これは單に捕へ得べき普通種なり。分布 北海道。



分布 北海道。

ホシロアシナガザウ (八六九)

Aleides erro Pasg.

頭部及び前胸背は黒色。翅鞘は赤褐、翅底暗色。觸角及び腹部は黒色。脚は赤褐、黒褐の斑紋を裝ふ。前胸背に顆粒を密布す。體長三分。三分三厘。これは本州に普通の種類なるも、臺灣には稀なり。分布 本州、臺灣、支那。



分布 本州、臺灣、支那。

クロオヒアシナガザウ (八七〇)

Aleides nigrofasciatus Kôno

體は濃赤色。口吻の末端、翅鞘の二帯、腹部及び腿節の下面は黒色。體長一分八厘。これは北海道阿寒地方に産す。



する珍しき種類なり。

分布—北海道。

シロオビアカアシナガザウ……………(八七二)

Alcidus nipponicus Kôno

雌は黒色。前胸中央の一縦條及び側方は灰褐。翅鞘は赤褐、後方の一廣帯及び稜狀部の後方より帶紋の外側に向ふ一斜條は灰白。體下に灰褐の鱗毛多し。脚は赤褐、腿節の末端黒色。



體長二分内外(口吻を除く)。これは秩父地方に産するも多からず。

分布—本州。

ムスチアシナガザウ……………(八七三)

Alcidus roelofsi Iaw.

雌は黒色。前胸背中央の判然せざる一縦條、前方の二紋、翅鞘の各三縦條等は黄白の鱗毛を密布す。體長三分内外(口吻を除く)これは南日本及び臺灣に分布するも多からず。



鞘の接合線中央の各一紋及び翅底の大部は黒褐。體長一分内外。これは毒の害蟲なり。

分布—本州。

アカアシホソクチザウ……………(八七七)

Apion saipurensis Kôno

雌は黒色。胸下に白色の長毛多し。觸角及び脚は黄褐。體長七厘内外。これは札幌附近に産するも餘り多からず。



分布—北海道。

灣に分布するも餘り多からず。

分布—九州(？)、臺灣、ビルマ。

オホラジロアシナガザウ……………(八七三)

Alcidus sauteri Heller

雌は黒色。前胸背中央の一縦條、側方の各一縦條、翅鞘肩部の各一紋及び後端の一大紋は灰褐の鱗毛より成る。體下及び脚に灰褐の鱗毛多し。翅鞘に粗大の點刻列あり。體長六分—七分(口吻を除く)。これは臺灣の高原地帯に産するも多からず。



分布—臺灣。

分布—臺灣。

ラジロアシナガザウ……………(八七四)

Alcidus tritidus Pasco

雌は黒色。前胸背及び翅鞘の後半に灰白の鱗毛を密生す。前胸背に粗大の顆粒あり。翅鞘の前半には大點刻を具ふ。腹面に黄白の鱗毛を密生す。體長三分三厘内外。これは本邦普通の種類なるも北海道には産せず。



鞘、後方の一部、末端並びに後腿節の末端は暗褐色。體長一分五厘

二分。これは本州及び九州には普通なるも、北海道には稀なるが如し。

分布—北海道、本州、九州。

アカオトシブミ……………(八七九)

Aporoderus (Heterapoderus) brachialis Voss



雌は濃赤褐。前胸背に數條の横線を具へ、後胸は暗色。各腿節の末端は黒色。體長三分五厘内外。これは臺灣の平地に普通なる種類にして、雑食性なり。茶を害すといふ。



分布—四國、九州、臺灣、支那。

シラフヘツタンザウ……………(八七五)

Anyrax fasciatus Koel

雌は暗褐。脚は黄褐。頭部及び前胸背の兩側に灰色の鱗毛を密布す。翅鞘に灰白の小紋を散在し、中央に灰白の各一紋を裝ふ。體長二分五厘内外。これは伊豫地方にて梨を害す。



分布—本州、四國。

イチゴザウ……………(八七六)

Anthonomus bisignatus Koel

雌は赤褐、灰白の短毛多し。頭部、前胸背、翅

分布—臺灣。

ハシバミオトシブミ……………(八八〇)

Aporoderus coryli L.

これはオトシブミに酷似するも、翅鞘の點刻透かに弱く、隨つて間室は點刻溝よりも幅廣きにカラーリス形。♂
A. collaris Scop.



體色は種々變化すれども、頭部及び

體下は黒色、翅鞘は赤褐、前胸背は赤褐(黒紋を有することあり)又は黒色。腿節は赤褐、末端黒色なるもの多きも又全部黒色なるものあり。體長三分—四分。これは朝鮮に普通なるも本州には稀なり。

分布—本州、朝鮮、滿洲、西比利亞、歐洲。

セアカヒメオトシブミ……………(八八一)

Aporoderus (Compsapoderus) geminus Sharp

雌は黒色。翅鞘は濃赤褐、深き點刻列を裝ふ。

體長一分七厘内外。これは本州の中部以北に多し。北海道には稀なり。
分布—北海道、本州。



サツボレンシス形 雌
f. sapyrensis Kôno



附言—本種に上の一變形ありて、全體は黒色なり。札幌附近に産するも稀なり。



ニグリヴェントリス形 雌
f. nigritarsis Roel.

體は光澤ある黒色。脚及び腹部の黄褐色なるもの多し、されど全體黒色なるもあり。體長一分五厘内外。これは薔薇の害虫にして、本邦には普通なり。脚及び腹面の黄褐色なるものをルフィヴェントリス形と稱し、體下黒色なるものをニグリヴェントリスと云ふ。

ナミオトシブミ(オトシブミ)……………(八八二)
Apoderus jakeli Koel.



(a) 大形なるもの
(b) 小形なるもの



體は光澤ある黒色。前胸背の後縁及び翅鞘は赤褐色。體長二分五厘—四分。これは本邦最も普通なる種類にし。

ヒメクロオトシブミ……………(八八四)
Apoderus (Conusapoderus) nitens Koel.



ムツモンオトシブミ……………(八八五)
Apoderus (Leptapoderus) praecegens Sharp.



體は黒色。前胸背の後縁及び翅鞘の各三紋(内一紋は側面にあり)は黄赤。觸角、脛節及び跗節は黄褐色。體長二分五厘内外。これは本州の高原地帯に産するも少なし。

體長一分七厘内外。これは朝鮮に産するも稀なり。
分布—朝鮮、滿洲。



體は赤褐色、少しく黄色を帯ぶ。胸部は暗色。

ウスアカオトシブミ……………(八八七)
Apoderus (Leptapoderus) rubidus Motsch.

體は赤褐色、少しく黄色を帯ぶ。胸部は暗色。



ヨツホシオトシブミ……………(八八六)
Apoderus (Leptapoderus) quadrinotatus Fald.

體は赤色。前胸背後縁の二紋は黒色。翅鞘少しく淡色、各二黒紋を裝ふ。頭部の下面及び各脛節の基部は黒色。體



ブダウメサウ……………(八八八)
Aspilobrycheus laciniipennis Jak.



アラカハシキサウ……………(八八九)
Balanus arakawai Mats. et Kôno

體は黒色、少しく赤褐色を帯ぶ。全體灰白の鱗毛



クリシキサウ……………(八九〇)
Kalanus dentipes Roel.

體は赤褐色、灰褐色を密生す。前胸背に灰黄の三縱條あり。翅鞘に灰黄の短毛を生じ、その間に灰褐色の短毛を波狀紋様に混在す。體長二分五厘内外。これは栗の實に産卵して大害を加ふる普通種なり。



分布—本州、九州、朝鮮、西比利亞。

クロシキザウ *Kalaninus distinguendus* Roel. (八九一)

雌 體は黒色。翅鞘に黄色の小毛塊を散在す。體下に鱗毛より成る數個の黄紋を裝ふ。體下及び脚に白毛を粗布す。體



長二分内外(口吻を除く)。これは關東地方に稀ならざるも、北海道には稀なり。

分布—北海道、本州。

イハサキシキザウ *Kalaninus iwataki Mats. et Kôno* (八九二)

雌 背面及び胸側には灰黄の鱗毛を裝ふ。體下には灰白の鱗毛を密生す。口吻及び觸角は赤褐。體長二分三厘(口吻を除く)。これは石垣島に産する珍種なり。



分布—本州、九州、朝鮮、西比利亞。

コナラシキザウ *Kalaninus quereivorius* Kôno (八九三)

雌 全體黄褐の鱗毛を密布す。前胸背の太き二縱條は濃



褐。翅鞘に黒褐の小紋を散在す。觸角及び口吻は赤褐。體長三分内外(口吻を除く)。これは檜、栗等の實に産卵す。札幌近傍に稀ならず。

分布—北海道。

サカグチシキザウ *Kalaninus sakaguchi Kôno* (八九四)

雌 體は赤褐、灰褐の鱗毛を密生す。背面の鱗毛に多少の濃淡ありて、斑紋状をなす。第一、第二



兩腹節の側方に白色の斑紋あり。體長一分八厘内外(口吻を除く)。これは沖縄に産するも多からず。

分布—沖縄。

ウスイロシキザウ *Kalaninus usuiroshiki Kôno* (八九五)

Kalaninus shigizo Kôno

雌 全體灰黄の鱗毛を密布す。前胸背の二縱條及



び翅鞘の小波状紋は褐色。口吻及び觸角は赤褐。體長三分内外(口吻を除く)。これは四國に普通なる種類にして、栗の害蟲なり。

分布—四國。

ヒメザウ *Barris deplanata* Roel. (八九六)

雌 體は黒色、少しく光澤を帯ぶ。觸角、脛節並に跗節は赤



褐。體長一分三厘内外。これは東京附近に多き種類にして、成蟲は桑の新芽を食害し、幼蟲は桑の枝に蠶入して大害を加ふ。

分布—本州。

サメハタヒメザウ *Barris nigropictus* Kôno (八九七)

Byctiscus yonustus Pasq.

雌 體の背面は美麗なる赤紫色。稜状部、體下並に脚は黒藍色。觸角は黒色。體長二分五厘内外。これはイタヤ、紅葉等の害蟲なり。



分布—北海道、本州、西比利亞。

コクザウ *Calandra oryzae* L. (八九八)

雌 體は赤褐乃至黒褐。翅鞘の各二紋は淡色。體長一分三厘内外。これは本邦何れの地方にも普通なる種類にして、米、麥の大害蟲なり。



分布—世界共有。

ウスイロメナガザウ *Calomycterus variabilis* Kôno (八九九)

全體灰白、少しく褐色を帯ぶるもの、少しく緑

分布—本州、九州、朝鮮、西比利亞。

マルカクグチザウ *Illosyrus japonicus* Sharp (八九九)

雌 體は黒色。背面に灰色の鱗毛を密布す。前胸背



(口吻を除き)。これは中國地方に産するも少し。北海道には産せず。

分布—本州、支那。

シロホシヒメザウ *Barris reinii* Kôel (九〇〇)

雌 體は黒色。觸角は赤褐。前胸背の四隅にある大紋及び翅鞘中央の各一紋は白色。翅



端の一部にも白鱗を有す。體下に黄白の鱗毛を裝ふ。體長二分八厘内外

これは日本アルプスに産するも餘り多からず。

分布—本州。



分布—本州、九州、朝鮮、西比利亞。

ドロハマキチヨツキリ *Byctiscus congener* Jek. (九〇〇)

雌 全體美麗なる緑色、光線の工合により少しく銅色を現はす。體長二分三厘内外。こ



れはリンゴ、白楊、榆等の葉を紡錘状に巻き、その中に産卵す。本邦到る

所に普通なり。

分布—樺太、北海道、本州、九州、朝鮮、支那

西比利亞。

イタヤハマキチヨツキリ *Byctiscus congener* Jek. (九〇〇)



色を帯ぶるもの、又、翅鞘に不規則なる褐紋を散在するもの等あり。體長二分内外。これは臺灣に産する普通種なり。
分布 臺灣。

サビクチビロザウ *Caroixus japonicus* Koel. (九〇四)



體は赤褐、灰褐の細鱗を密生す。前胸背の三縱條、翅底の大部及び翅鞘後半の一廣帯は濃褐。體長二分五厘内外。これは本邦に稀なるが如し。
分布 本州、四國。
アカヘウタンザウ (九〇五)



體は銅色、少しく灰色を帯ぶ。翅鞘には灰白の小紋を散在す。體長二分七厘(口吻を除く)。これは本州に産するも稀なり。
分布 本州。

ホソヘウタンザウ *Cataglyphis olivaceus* Kôno (九〇六)



體は灰色、少しく銅色を帯ぶ。前胸背の三縱條は濃褐色。翅鞘に濃色の小紋を散在す。腹部は黒色。體長三分内外(口吻を除く)。これは長野附近に産するも多からざるが如し。
分布 本州。
マルヘウタンザウ *Cataglyphis obscurus* Sharp (九〇七)



體は褐色、少しく灰色を帯ぶ。翅鞘には濃色の斑紋を散在す。腹部は黒色。體長二分六厘内外(口吻を除く)。これは本州の高原地帯に産するも稀なり。
分布 本州。
ハナウドザウ *Cataglyphis viridimellens* Motsch. (九〇八)



體は灰色の鱗を密生し、少しく綠色を帯ぶ。觸角は暗褐。前胸に光澤ある黒色の三縱條を裝ふ。體長四分内外。これは北國に多く、ハナウドの葉上に捕へ得べし。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。



體は黒色若くは黒褐。觸角は赤褐。前胸背には黄紋を散在す。翅鞘は中央に各一個黄色の鱗毛塊を裝ひ、全面に同色の小紋を散在す。體長三分五厘、四分五厘。これはヤナギ、ニレ等の樹液に集まる普通種なり。
分布 樺太、北海道、本州、西比利亞。

オホクチカクシザウ *Catarrhinus septentrionalis* Koel. (九〇九)



體は黒色。背面に白鱗多し。觸角は黒褐。體下に黄白の鱗毛多



く、脚に白色の短毛あり。體長一分五厘内外。これは近畿地方に普通なる種類にして、藍の害虫なり。幼蟲は莖中にありて食害す。
分布 本州。
アカアシオホアラザウ *Chlorophanus auripes* Faust (九一一)

オホアラザウ (九一二)



體は黄綠色。前胸背の兩側及び翅鞘の外側は黄色。觸角は赤褐。脚は腿節の基部を除き赤色。體長四分五厘内外(口吻を除く)。これは京城附近に稀ならず。
分布 朝鮮、支那、西比利亞。
ムネジワオホアラザウ *Chlorophanus rugicollis* Kôno (九一三)

ハスチザウ *Oleonus japonicus* Faust (九一四)

體は黒色、全體短き白毛を密生す。觸角は黒褐。翅鞘に各二個の斜走せる黒帯(毛なき部分)を裝ふ。腹面に灰色毛ありて、斑紋をなす。體長五分三厘内外。これは薊の花上に捕へ得べ



トビイロアラザウ

分布 北海道、本州、歐洲。 (九五)



オホシロオビザウ

分布 臺灣。 (九六)

一縱條、側方の各一縱條、翅鞘肩部より接合線の中央に向へる一斜條等は白色。體長五分内外(口吻を除く)。これは暖地に稀ならざる種類なり。



分布 本州に産するや否や不明なり。 (九七)

マツシラホシザウ

體は暗褐。前胸背に四個の小白點を横列するも判然せず。翅鞘の中央より少しく上方に二個の白點を具へ、後方に



も小なる二白點を裝ふも判然せず。脚に灰白鱗を生じ、斑をなす。體長二分二厘内外。この幼蟲は松の衰弱せる樹幹若くは同伐木に侵入して、大害を加ふることあり。九州地

方には少なからず。 (九八)

シリシロザウ

分布 本州、九州。 (九八)



體は暗黒。前胸背の兩側並びに翅鞘の末端は灰白。翅鞘底に近き各二毛塊、前胸背の五毛塊は黒褐。體長三分八厘内外。これは柳の樹幹に捕

へ得べし。 (九九)

ハギツルクビオトシブミ

分布 樺太、日本全土、朝鮮、西比利亞、歐洲、亞米利加。 (九九)



全體黒色。雄の頭部は延長して鶴首狀を呈す。雌の頭部

類なるも北海道には産せず。 (一〇〇)

トドマツアナアキザウ

分布 本州、九州。 (一〇〇)



體色は濃赤褐。翅鞘の各紋及び體下は黒色。體長二分五厘内外。これは札幌附近に産するも餘り多からず。トドマツの害蟲なり。 (一〇一)

分布 北海道。 (一〇一)

イネザウ

分布 本州、九州。 (一〇二)



體は暗色、灰黄の鱗毛多し。觸角は赤褐。翅鞘に各一條の淡色縱條を具へ、末端に近く各一個の白色紋あり。體長一分六厘。これは本邦普通の種類にして、稻の害蟲なり。 (一〇三)

♀

♂

♀

分布 臺灣。 (九六)

體は赤褐色。口吻の末端は黒褐。體長二分七厘。これは臺灣に普通なる種類にして、甘蔗の害蟲なり。

はあまり延長せず。體長(雌)二分五厘、(雄)二分三厘内外。これは東京近傍に稀ならざる種類にして、萩の害蟲なり。 (九七)

分布 本州、四國、西比利亞。 (九八)

アリモトキサウ

分布 本州、四國、西比利亞。 (九八)



頭部は黒色。觸角、口吻、前胸背及び脚は黄褐。これは臺灣

翅鞘は美麗なる綠色。體長二分内外。これは臺灣に多し、甘蔗の大害蟲なり。 (九九)

分布 小笠原島、沖縄、臺灣、南洋、濠洲。 (九九)

チビイクビチヨツクリ

分布 小笠原島、沖縄、臺灣、南洋、濠洲。 (九九)



全體黒色。灰白の軟毛を裝ふ。觸角は黒褐。體長八厘内外(口吻を除く)。これは東京附近に稀ならざる種類なり。 (一〇〇)

分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

マダラアシザウ……………(九三六)

Ectatorhinus adamsi Fusc.

體は暗褐。頭部灰黄。脚は灰褐黄、腿節及び脛節に白環あり。體長三分五厘内至五分五厘(口吻を除く)。これは漆の木に普通なる種類なり。



分布 本州、九州。

ケアシヘウタンザウ……………(九三七)

Eusphorhinus granulatus Pasce.

體は黒色。側面及び體下に白毛の鱗毛多し。前



胸背の一縦條、翅鞘後方の一帯及び接合線上の太き一縦條は白色。翅鞘の後方に黒色の長毛を裝ふ。後脛節に灰褐の長毛あり。體長三分二厘内外(口吻を除く)。これは少なし。

分布 朝鮮、支那。

シロコナザウ……………(九三八)

Ejisonoides albinus Mats.



體は灰白の鱗を密生す。前胸背に三條の黒斑を具へ、

翅鞘に各一個の黒紋あり。體長二分内外。これは臺灣に普通なる種類にして、甘蔗に大害を加ふ。

分布 臺灣。

シロスチマルザウ……………(九三九)

Ejisonus lentus Erich.

體は白色。觸角の末端及び體背面の三縦條(頭部より翅鞘まで)は灰褐乃至暗褐。體長四分内外(口吻を除く)。これも臺灣に産し、甘蔗の害虫なり。

♀



分布 臺灣、比律賓。

オキナハクハザウ……………(九四〇)

Ejisonus mori Kôno

體は灰白、少しく褐色を帯ぶ。前胸背の大部、



♀

翅鞘背面の前半及び後半の大紋は暗褐。體長五分内外(口吻を除く)。これは沖縄の産にして、桑葉を害す。

分布 沖縄。

シロコブザウ……………(九四二)

Ejisonus turinus Gyll.

體は灰白。背面は側面より少しく淡色。後頭は黒色。體長五分(口吻を除く)。これは本邦普通の種類なるも北海道には産せず。

♀



分布 本州、九州、朝鮮。

フタオビコフキザウ……………(九三三)

Eugnathus cleroides Voss



體は黒色、灰褐の鱗毛を密布す。翅鞘の二横帯は灰白。

體長二分内外。これは臺灣の南部に産するも少なし。

分布 臺灣。

コフキザウ……………(九三三)

Eugnathus distinctus Koel.

♀



體は黒褐。内面光澤ある灰鱗を密生す。翅鞘の中央に各一個の淡色紋あり。體長一分五厘内外。これは豈科植物の葉を食害する普通種なるも、北海道には産せず。

分布 本州、九州、朝鮮、臺灣。

アヲヒゲナガザウ……………(九四四)

Eumyllocerus gratosus Sharp



體は美麗なる金綠色。觸角及び脚は黄褐、後者には綠色の細鱗を粗布す。體長二分内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布 本州、九州。

サビマルクチザウ……………(九四五)

Callisitta induta Hustache



體は黒色、短褐毛を裝ふ。雄の口吻著しく膨大せるも雌にては膨大せず。體長一分五厘(口吻を除く)。東京附近に産するも稀なり。

分布 本州。

マツオホザウ……………(九三六)

Elyolus haroldi Faust



體は黒褐。口吻は赤褐。翅鞘に黄白の毛塊ありて、二列に配置せらる。腹面に黄白の短毛を粗生す。體長四分五厘内外。これは松に大害を加ふることあり。

分布 本州、朝鮮、西比利亞。

アナアキオホザウ……………(九三七)

Elyolus perforatus Roel.

體は暗黒。觸角及び附節は暗褐。翅端に近く黄毛の二帯を具ふ。脚には白毛を裝ふ。體長五分(口吻を除く)。これは楡、柳の樹幹より滲出する液汁を吸收す。

♀



分布—北海道、本州。

タイワンオホアヲザウ……………(三六)

Hypomeces squamosus Schönl.

體は黒色、綠色乃至金緑の鱗毛を密布し、稀に灰褐の鱗毛を裝ふものあり。體長五分内外。

♀



これは綿、柑橘等の害虫にして、臺灣に多し。

分布—臺灣、支那、印度、亞非利加。

シミノコギリザウ……………(三九)

Lixina suturina Kôno

♀



體は濃赤褐。前胸背の兩側及び翅鞘の肩部は暗色。體長一分五厘(口吻を除く)。これは臺灣に産するも稀なり。

分布—臺灣。

シラクモゴバウザウ……………(九四〇)

Larinus formosus Petri

♀



これはオホゴバウザウに酷似するも、體は少しく細く、翅鞘の斑紋は雲形をなすによりて區別せらる。

體長三分五厘内外。これは阿波地方に稀ならずも本州には少なし。

分布—本州、四國。

オホゴバウザウ……………(九四一)

Larinus erisophilus Koel.

體は光澤ある黒色。翅鞘に白色の短毛塊を散在す。體下及び脚に灰白毛を裝ふ。體長三分八厘

♀



内外。これは本邦普通の種類にして、ゴバウの葉を食害す。

分布—北海道、本州。

オホスチムネザウ……………(九四二)

Lepyrus arcticus Payk.

♀



體は黒色、黄褐の鱗毛を疎生す。前胸背の二縱條、翅鞘の各二乃至四紋及び體下兩側の各數紋は灰黄。

體長五分五厘内外(口吻を除く)。これは樺太に稀ならずも、北海道にては大雪山の如き高山地に限り産す。

分布—樺太、北海道、西比利亞。

分布—北海道、本州。

ヲナガカツラザウ……………(九四七)

Lixus moiwanus Kôno

♂



體は黒色、灰白の短毛多し。前胸背の四縱條及び翅鞘の兩側は灰黄。體長四分五厘内外(口吻を除く)。これは札幌附近に産するも餘り多からず。

分布—北海道。

コカタビロザウ……………(五四八)

Lystarus elegans Kôno

♀



體は黒色。前胸背に白毛より成る五縱條あり。翅鞘の各間室には白毛列を裝ふ。體下には黄白毛を密生す。體長一分二厘内外(口吻を除く)。これは本州には餘り多からざる種類なり。

分布—本州。

フタキボシザウ……………(九四三)

Lepyrus japonicus Roel.

♀



體は黒色、灰褐の鱗毛を裝ふ。前胸背兩側の一縱條及び翅鞘中央のく字形紋は灰黄。體下に黄鱗毛を密生し、脚に白毛を裝ふ。體長四分五厘内外。これは北海道の南西部及び本州に産す。

分布—北海道、本州。

オホカツラザウ……………(九四四)

Lixus divaricatus Motsch.

全體黒色、灰黄の短毛を疎生す。前胸背の兩側及び翅鞘の兩側に灰黄毛を密生す。體長六分内外(口吻を除く)。これは薊の花上に捕へ得べき

♂



も稀なり。利尻島には稀ならず。

分布—北海道、本州。

カツラザウ……………(九四五)

Lixus impressiventris Roel.

體は黒色、灰白の短毛多し。前胸背の兩側に灰白毛を密生す。翅鞘に灰白の小毛塊を散在す。

♀



體長三分五厘内外(口吻を除く)。これは本邦に廣く分布する種類にして、薊の花上に捕へ得べし。

分布—日本全土、朝鮮。

ホシカツラザウ……………(九四六)

Lixus maculatus Roel.

♀



體は黒色。觸角は赤褐。翅鞘に灰白の毛塊を散在し、斑紋をなす。體長三分五厘内外。北海道及び本州に廣く分布す。

タイワンオホザウ.....(九四九)

Macrobrus longipes Drury

體は栗色。前胸背の後縁に濃色の大紋あり。前脛節の下面には黄褐の長毛を簇生す。體長一寸内外。これは臺灣に稀ならざる種類にして、ヤシの害蟲なり。



分布—臺灣、支那。

シラフヘウタンザウ.....(九五〇)

Meotiorhynchus querendus Sharp

體は黒色。背面に灰褐乃至暗褐の細鱗を密布す。前胸背の兩側は灰白。翅鞘に灰白の小紋を散在す。體長三分五厘内外。これは倒木下に捕獲し得べし。



分布—樺太、北海道、本州。

アカアシカタザウ.....(九五二)

Metapoecyrus immertus Bohem.

體は赤色乃至暗赤。背面に綠青乃至灰青色の小鱗を裝ふ。口吻並に腿節の末端は黒色。體長三分内外。



これは紅頭嶼に産するも多からず。分布—臺灣(紅頭嶼)、比律賓。

オビクチフトザウ.....(九五三)

Myloceerus canoivoides Kôno

全體褐色。觸角は赤褐。翅鞘の中央に濃褐の一紋ありてその直前に白帯を裝ふ。體長一分八厘。これは臺灣に産するも餘り多からず。



分布—臺灣。

ヒラークチフトザウ.....(九五三)

Myloceerus hilleri Faust

體は灰色、少しく褐色を帯ぶ。頭頂、前胸背並に翅鞘の大紋は濃褐。體長一分二厘内外(口吻を除く)。これは暖地に稀ならざる種類なり。分布—本州、九州。



ウスアラクチフトザウ.....(九五四)

Myloceerus guttatus Mats.

體黒色、帯緑灰色の鱗毛を以て被はる。翅鞘に暗色紋を散在す。體長二分五厘内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。



河に産するも餘り多からず。分布—臺灣。

ハイイロクチフトザウ.....(九五五)

Myloceerus krichlintonis Kôno

全體灰白、背面は少しく褐色を帯ぶ。前胸背前縁の側方の前方に延長せるを以て容易に其同類と識別し得べし。體長二分三厘内外。これは沖繩に普通の種類なるも、未だ他に發見せられず。分布—沖繩。



オホツカクチフトザウ.....(九五六)

Myloceerus olsankai Kôno

體は灰白。觸角は赤褐。前胸背前縁の中央の前方に突出するを以て容易に近縁種



より區別し得べし。體長一分五厘(口吻を除く)。これは伊吹山に産するも稀なり。分布—本州。

コオビクチフトザウ.....(九五七)

Myloceerus rostralis Kôno

體は黄褐、灰白色の細鱗を裝ふ。頭部、前胸背、翅鞘背面の前方、接合線及び中央の帯は褐色。觸角



は赤褐。體長一分三厘内外(口吻を除く)。これは阿里山附近に産するも多からず。分布—臺灣。

サカグチフトザウ.....(九五八)

Myloceerus sakaguchii Kôno



體は灰白。背面は少しく褐色を帯ぶ。翅鞘中央

の一斜紋は暗褐。觸角及び脚は赤褐を帯ぶ。體長一分二厘内外。これは沖繩列島に産するも多からず。分布—沖繩。

クロクチフトザウ.....(九五九)

Myloceerus setosus Kôno

全體黒色。觸角の鞭節は赤褐。翅鞘に黒色の長毛を裝ふ。體長一分七厘内外(口吻を除く)。これは臺灣の山地に捕へ得べきも少なし。分布—臺灣。



トサクチフトザウ.....(九六〇)

Myloceerus tosanus Kôno



體は黄緑、少しく灰色を帯ぶ。背面は褐色。觸角及び脚は赤褐、後

者は灰白鱗を装ふ。體長一分八厘内外(口吻を除く)。これは土佐に産するも少なし。

分布—四國。

モモブトイキビチヨツキリ……………(九六二)

Neodejorans femoralis Kôno



♀ 全體黒色、灰白の短毛を疎生す。口吻の末端は赤褐。後腿節は膨大

し、これに二齒を具ふ。體長一分二厘(口吻を除く)。これは臺灣の高山に産するも稀なり。

分布—臺灣。

イツボシオホザウ……………(九六三)

Ommatolampis paratrifoides Heller



♀ 體は赤褐、背面に天鵝絨様の赤褐短毛を密生

す。觸角(末端節を除き)、前胸背の數紋、翅鞘の各三大紋、體下の八紋等は黒色。體長一寸一分内外(口吻を除く)。これは臺灣に産するも多からず。

分布—臺灣、比島。

クロカタザウ……………(九六三)

Paelyrrhynchus infernalis Fairm.

♀ 全體黒色、光澤を帯び、頗る堅牢なり。體長四分内外。これは八重山に産する種類なるが、稀なるが如し。



分布—沖繩(八重山)。

ムツメカタザウ……………(九六四)

Paelyrrhynchus orifer Waterh.

♀ 體は黒色。頭部中央の一縱條、兩側、前胸背の丁字形紋、前胸の下面、後胸、翅鞘、腹部の四紋及び各腿節の二紋等は灰褐色。翅鞘の二列に配列せる六紋並に翅端は黒色。體長四分二厘。



♀ これは臺灣の南部にて捕へられたるも、比島より移入せられたるや

も知れず。分布—臺灣。

マルモンカタザウ……………(九六五)

Paelyrrhynchus sarctis Heller

♀ 體は黒色、頗る光澤あり。頭部の側面、複眼間の一紋、口吻の基部、前胸背の三紋及び側面の下方、翅鞘の各八紋、接合線上の二紋、體下の數紋並に各腿節の二紋は緑青色。體長五分二厘内外。これは紅頭嶼に稀ならざるが如し。

分布—臺灣(紅頭嶼)。



分布—臺灣(紅頭嶼)。

ソナンカタザウ……………(九六六)

Paelyrrhynchus sonani Kôno



♀ 體は黒色、頗る光澤あり。頭部中央の一紋、複眼の下方、前胸背の丁字形紋、前縁及び側面の下部、翅鞘中部、翅鞘中央の一帯、第三間室、側縁及び後方の短き一縱條、體下

の數紋並に各腿節の二紋等は金綠色。體長四分五厘。前種同様に紅頭嶼に産するも多からざるが如し。

分布—臺灣(紅頭嶼)。

コウトウカタザウ……………(九六七)

Paelyrrhynchus tolatorius Kano



♀ 體は光澤ある黒色。頭部の兩側、複眼間の一紋、前胸背の四紋及び兩側、翅鞘の各九紋、體下面の數紋

並に各腿節の二紋は緑色。體長五分五厘内外、これも前種同様に紅頭嶼に産するも稀ならざるが如し。

分布—臺灣(紅頭嶼)。

スチカタザウ……………(九六八)

Paelyrrhynchus yamianus Kano



♀ 體は黒色、頗る光澤あり。口吻の基部、頭部の兩側、前胸背の前縁、兩側及び側方の各一條、翅鞘の第三、第九

の四紋、體下面の數紋並に各腿節の二紋は金綠色。體長五分内外。これも前種同様に紅頭嶼に稀ならず。

分布—臺灣(紅頭嶼)。

アカクヒナガオトシフミ……………(九六九)

Paracentrocygnus nigricollis Roel.

♀ 體は濃赤褐。頭部(口吻を除き)は黒色。前胸背側方に黒色の縱條を裝ふ。雄の頭部は長き頸部

を有す。體長(雄)二分五厘

(雌)二分



三厘内外。これは本州に稀ならざるも、北海道には産せず。

分布—本州、四國。

オホツルクビオトシフミ……………(九七〇)

Paracentrocygnus longiceps Motsch.



♀ 體は黒色、少しく赤褐を帯ぶるものあり。翅鞘は暗赤褐、往々基部にて黒色を呈す。脛節及び跗節は赤褐。雄の頭部は著しく延長す。體長

(雄)四分内外、(雌)三分五厘内外。これは朝鮮に普通なるも本州には稀なり。

分布—本州、朝鮮、支那、西比利亞。

カトウヒゲナガオトシフミ……………(九七一)

Paratrachelophorus katonis Kôno

體は栗色、少しく黄色を帯ぶ。觸角は黒色、第

三節より第六節の

基部迄

黄褐色。脚

は黄褐色、

各腿節の

末端黒色。雄の頭部はクビナガオトシブミ同様

に延長す。體長(雄)四分内外、(雌)二分五厘内

外。これは臺灣の高原地帯に産するも稀なり。

分布—臺灣。



クビナガオトシブミ……………(九七三)

Paratrachelophorus longicornis Roel.

體は光澤ある黄褐色。複眼間の一紋、頭部の下面

前胸背の兩側及び各腿節の末端は黒褐色。觸角及

び脚は黄色。雄の頭部は延長してその後は長き

頸状を呈す。觸角の鞭節は延長し、末端は瘤状

に膨大す。雌の頭

部は普通のオトシ

ブミの如し。體長

(雄)三分—四分、

(雌)二分五厘—三

分。これは本州の高原地帯及び北海道の平地に



普通なり。

分布—北海道、本州。

クロヒゲナガオトシブミ……………(九七三)

Paratrachelophorus vossi Kono

全體黒色。腿節は赤褐色、跗節は暗褐色。雄の頭部

は前種同様に延長す。體長(雄)二分五厘—四分

(雌)二分五厘—三分。これは臺灣の山地に産す

稀ならざるが如し。

分布—臺灣。



ゴマダラオトシブミ……………(九七四)

Paratrachelophorus pardalis Vollenh.

體は黄色。頭部の八紋、前胸背の二縱紋、或は

分布—北海道。

オホカタヒロオトシブミ……………(九七五)

Paratrachelophorus (Erycaulophorus) vahnus

背面は赤褐色。頭部の一紋及び翅鞘の羽然せざる

数紋は黒色。翅鞘に各三個の瘤状突起を有し、

ニダログツタアツス形。♀

E. nigroguttatus Kono

その内中

央に近き

ものは最

も大なり

體下及び

脚は黄褐色

中、後兩

胸の側片は(側板を含む)黒色。體長二分五厘。

これは臺灣の高原地方に産するも稀なり。

分布—臺灣、支那。

トゲゴマダラオトシブミ……………(九七八)

Paratrachelophorus shiraki Kono

體は黄褐色。頭部の三紋、前胸背の六紋(内二紋

は側面にあり)、翅鞘の各八紋、後胸の二紋、後

胸前側板、第一、二、三腹節の側方にある各一

紋、後腿節の各一紋等は黒色。翅鞘の三紋には



體長二分五厘内外。これは本州に稀ならざるも

北海道には少なし。

分布—北海道、本州。

附言—左の一變形あり。

前胸背及び翅鞘大部の黒色なるものをナカムラ

イ形と稱す。宇都宮附近に産するも稀なり。

ナカムライ形。♀

E. nakamurai Kono



オホゴマダラオトシブミ……………(九七五)

Paratrachelophorus pardaloides Voss

これはゴマダラオトシブミに酷似するも體少し



♀

大形、地

色赤褐色、翅

鞘の黒紋中

内側の二個

は疣状に高

まる、稜状

部の後方に黒紋なきによりて區別せらる。體長

三分七厘内外。これは臺灣全島に稀ならざる種

類なり。

分布—臺灣。

オヒヨウゴマダラオトシブミ……………(九七六)

Paratrachelophorus (Gomadaranus) ulmi

體は黒色。頭部の二縱條、前胸背の三縱條並に

翅鞘の格子状紋は赤褐色。尾節板の周圍、觸角及

び脚は黄

褐色。後腿

節の末端

は黒色。

翅鞘に各

二個の疣状隆起を具へ、その中央に近きものは

大なり。體長二分内外。これは北海道に稀なら

ざる種類にして、オヒヨウの葉を捲く。



♀



♀

(a) 側面



(a)

側面

純状突起を裝ふ。體長三分内外。これは臺灣恒

春地方に産するも稀なり。

分布—臺灣。

アシナガザウ……………(九七九)

Phalodes rufipennis Roel.

體は光澤ある黒色。翅

鞘は赤褐色。雄の口吻は

延長すれども、雌に於

ては短かし。體長三分

内外。これは本邦普通

の種類なれども北海道

には産せず。クマガ、ナラの葉を捲きその内に

卵子を産下す。



♀

分布—本州、四國、九州。

ミヤマヒゲボソザウ……………(九八〇)

Phyllobius amurensis Sharp

體は黒色、灰白の長毛多し。背面、體下及び腿節の末端に金



縁乃至緑青色の鱗毛を密布す。體長三分

内外(口吻を除く)。これは北國に稀ならざる種類にして、特に山地に多し。

分布—北海道、本州。

コヒゲボソザウ……………(九八一)

Phyllobius brevitarsis Kono

體は黒色、緑青色の鱗毛を裝ふ。脚に灰白の長毛多し。



觸角柄節の大部及び鞭節の基部は赤褐。體長

一分八厘内外(口吻を除く)。これは日本アルプス地方に産するも多からず。

分布—本州。

ツチイロヒゲボソザウ……………(九八二)

Phyllobius incomplus Sharp

體は灰白、少しく銅色を帯ぶ。觸角は赤褐。翅鞘に判然せ



ざる小褐紋を散布す。體長一分八厘内外(口吻を除く)。

これは秩父地方に稀ならざる種類なり。

分布—本州。

レウキスヒゲボソザウ……………(九八三)

Phyllobius lewisi Sharp

體は黒色、背面及び體下に銅



緑色の鱗毛を密布す。觸角

及び脚は赤褐。體長一分八厘内外(口吻を除く)。これは東京附近に産するも餘り多からざる種類

なり。

分布—本州。

リンゴヒゲナガザウ……………(九八四)

Phyllobius longicornis Roel.

體は黄褐、黄縁鱗を密生



す。觸角及び脚は黄色。體長二分八厘。これは準樹そ

の他種々の果樹葉を食害す。

分布—北海道、本州。

トンナイヒゲボソザウ……………(九八五)

Phyllobius tonnaiensis Kono

體は黒色、縁青色の鱗毛を密



布す。脚及び觸角

は暗褐。體長一分八厘(口吻を除く)。これは樺太に産するも稀なり。

分布—樺太

ヒメコブオトシブシ……………(九八六)

Phymatoplerus javens Voss

體は黒色。觸角及び脚は黄褐、後腿節の末端黒



色。翅鞘に各一個の瘤

状突起を裝ふ。體長二分内外。これは本邦稀

ならざる種類なるも北海道に産せず。

分布—本州、四國、九州。

オホキボシザウ……………(九八七)

Pissodes galloisi Kono

全體黒色、黄褐の小鱗を疎布す。前胸背の二小



紋は黄褐、翅鞘に黄褐

の小紋を散在す。體長三分五厘内

外(口吻を除く)。これは四國伊豫地方に産するも少なし。

分布—四國。

マツキボシザウ……………(九八八)

Pissodes nitidus Roel.

體は赤褐。口吻、觸角及び跗節端は黒褐。前胸



の點刺内に白鱗を裝ふ。翅鞘は翅端に近く灰白

の一廣帯を具へ、中央に

近く灰黄の一紋を有す。

體長二分五厘内外。これ

は有名なる松の害虫にして、これが爲めに松の枯

死するもの少なからず。

分布—北海道、本州。

スグリザウ……………(九八九)

Pseudoneorhinus bifasciatus Roel.

體は灰白、少しく黄色を帯ぶ。口吻は黒色。前



胸に判然せざる暗色の三縱條を裝ふ。翅鞘に二

條の太き暗色帯を具へ、

長き鱗毛を粗生す。體長

二分内外。これは札幌地

方に稀ならざる種類にして、スグリの葉上に捕へ

得べし。

分布—北海道、本州。

ヒメクロヒラタザウ……………(九九〇)

Pseudocossus brevitarsis Woll.

體は光澤ある黒色。觸角



及び跗節は赤褐。體長二

分内外。これは本邦稀な

らざる種類にして、朽木

の皮下に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州。

アサザウ……………(九九一)

Rhinonchus percarpinus L.

體は黒色。體下に



白色の鱗毛を密布す。觸角及び脚は

赤褐、灰白の短毛

多し。翅鞘縁状部

の後方に白色の一

紋あり。體長一分餘。これは本邦普通の種類に

して、麻の害虫なり。

分布—北海道、本州、歐洲。

ナシチヨツキリザウ……………(九九二)

Rhynehites heros Roel.

體は赤紫色、光線の具合にて赤銅色を帯ぶ。觸



角は藍色、球桿部は黒色。脚は黒紫色。體長三分内外。これは本邦普通の種類にして、梨、桃、林檎等の果柄を切り大害を加ふ。

分布 北海道、本州。

ハヒイロヘウタンザウ

Sceplions uniformis Kôno



體は灰白、前胸背の三縦條及び翅鞘は少しく褐色を帯ぶ。體長二分二厘内外(口吻を除く)。これは沖縄に多きが如し。

分布 沖縄。

イツシキホソザウ

Zeythropsus iselitski Kôno

體は濃褐、灰色の軟毛を裝ふ。前胸背の兩側、



翅鞘及び胸下に黄緑の鱗毛多し。體長二分。これは大和地方に産するも稀なる種類なり。

分布 本州。

ウスアラオビザウ

Zeythropsus ornatus Mats.



體は濃褐、灰綠乃至黄青色の鱗毛を密布す、背面は少しく銅色を帯ぶ。翅鞘に濃褐の一廣帯あり。觸角及び脚は赤褐。體長二分内外。これは樺太に普通なるも北海道にては高山地帯に産するに過ぎず。

分布 樺太、北海道。

マツトビザウ

Zeythropsus scutellaris Koel.

體は黄褐、背面に黄褐毛多し。翅鞘は灰色、黄



褐の斑紋を散在す。體下に灰白毛を密生す。體長二分五厘内外。これは赤松の新芽を食害する普通種なるが、北海道に産せず。

分布 本州、九州。

オホザウ

Siphalus hypocrita Bohem.

體は灰色乃至暗灰色。觸角は暗色。前胸背の中央に明らかなる一縦條を裝ふ。翅鞘に各三條の斷續せる黒色縦條を具へ、その間に灰色の疣狀突起あり。體長七分一寸。これは本邦産最大



フタモンヘウタンザウ

Sympiezomias cribricollis Kôno



これはレウキスヘウタンザウに酷似すれども、體細く、翅鞘の斑紋は餘り明かならず。體長三分内外。臺灣にて甘蔗を害す。

分布 臺灣。

シロヘウタンザウ

Sympiezomias herzi Faust



全體白色の細鱗にて被はる體形前種に似るも無紋なれば容易に識別し得べし。體長三分五厘内外。これは沖縄に産すれども餘り多からず。

分布 沖縄、支那。

レウキスヘウタンザウ

Sympiezomias lewisi Koel.

二九七

の種類にして、穀斗科植物の害蟲なり。

分布 北海道、本州、朝鮮、支那。

アカアシチビコフキサウ

Sirones lineatus L.

體は黒色、灰白の細鱗を密布す。觸角、腿節の末節、脛節及び跗節は赤褐。體長一分三厘内外。これは樺太に多し。



分布 樺太、西比利亞、歐洲。

スチヒメカタザウ

Sphaerorhinus lineatus Kôno



體は暗赤褐。前胸の兩側に白色鱗を密布す。翅鞘は白色鱗を粗布し、同色鱗の各三、四縦條を裝ふ。體長二分内外。これは小笠原列島の父島

及び母島に産す。

分布 小笠原島。

ヒメカタザウ

Sphaerorhinus rugosiceps Kôno



體は赤褐、背面及び胸下に灰褐又は灰緑の細鱗を密布す。頭頂に縱

分布 小笠原島。

ヲガサハラザウ

Sphaerorhinus maculatus Mats.



體は黄褐。前胸背中央の太き一縦條は黒色。翅鞘は黄褐、兩側紋及び中央の各二紋は暗褐。腿節末節の内側にある大紋は暗褐。體長三分五厘。これは小笠原島にて甘蔗を害すること大なりと云ふ。

分布 小笠原島。

體は灰白、少しく褐色を帯ぶるものあり。前胸背の中央は黒

♀



褐色。前胸背の兩側及び翅鞘の各環状紋は褐色。體長二分七厘内外。

これは本州の南部及び九州に多し。
分布—本州、九州。

ハヒイロザウ……………(1004)

Tanyneus circumdatus Weidem.

體は灰黄の鱗毛を以て被はるゝを以て一見灰色の如く見ゆ。翅鞘の側方は灰白。體長五分内外。これは甘蔗の恐る可き害虫なり。

♀



分布—臺灣、ビルマ、支那、印度。

ガマツミセアヲオトシフミ……………(1006)

Tomaspis aceris Scholtzky

體は黒色、光澤なし。前胸背に剛毛を裝ふ。翅鞘は黒褐、褐色の短き鱗毛あり。體長八厘。これは北海道に稀ならざる種類なるも、微小なる爲め捕獲困難なり。落葉松の樹幹に蠢入して枯死せしむ。

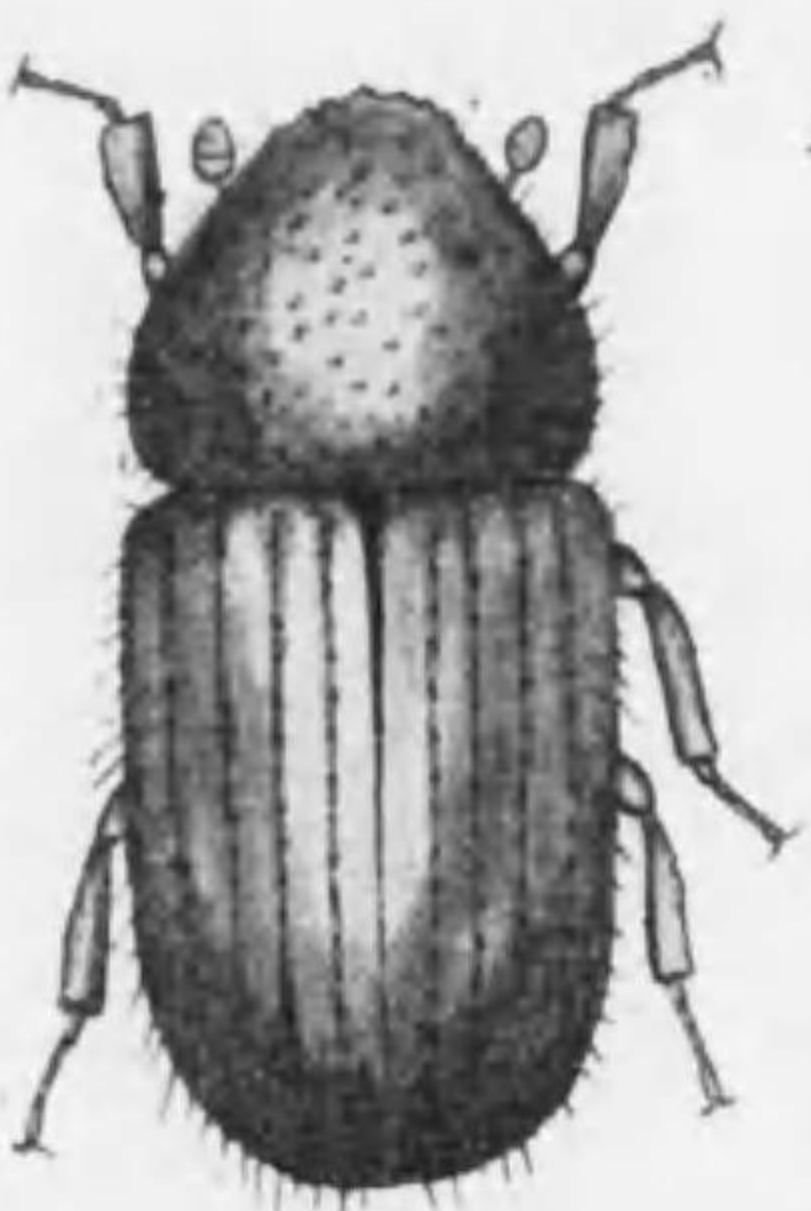
分布—北海道。

リングオチビコシンクヒ……………(1008)

Cryphalus malus Niss.

體は黒色。前胸背に褐色毛を裝ふ。翅鞘に褐色の鱗状毛を裝ひ、末端には褐色毛あり。體長六

♀



厘内外。これは草樹の樹枝に蠢入して枯死せしむる普通種なるも、微小なる爲め捕獲困難なり。
分布—北海道。

體は淡黄褐。觸角は黒色。翅鞘は暗藍色、低き點刻列を具ふ。體長二分七厘内外。これは臺北附近に普通なる種類にして、ガマツミの葉を捲く。

♀



分布—臺灣、支那。

ハンノコシンクヒ……………(1009)

Hylastes alni Niss.

體は黒色、光澤を缺く。觸角及び跗節は赤褐。

♂



翅鞘に鱗状毛を裝ふ。體長一分二厘。これは赤楊の樹幹に蠢入して枯死せしむる

普通種なり。

分布—北海道。

ヤチタモコシンクヒ……………(1010)

Hylesinus costatus Blandt.

體は黒色若くは黒褐。頭の前方は平たく、中央に光澤ある一縦隆あり。翅鞘の末端に黄色の鱗状毛あり。體長一分二厘。これはヤチタモの樹幹に蠢入して大害を加ふ。

♀



分布—北海道。

七三 小蠹蟲科 Ipsidae (Scolytidae)

頭部は球形にして、平時は前胸環内に隠る。觸角短かく、膝状を呈し、末端は太き球桿状となり、普通口吻の兩側より出づ。大體は三角形にして突出し、稍楔状をなす。眼は腎臟形にして、平たく、前胸背の球形なるもの多し。背小形の種類にして、大なるも三分を越えず。樹木に穿孔して大害を加ふるもの多し。本邦に産するもの數十種あり。

カラマツチビコシンクヒ……………(1007)

Cryphalus laticis Niss.

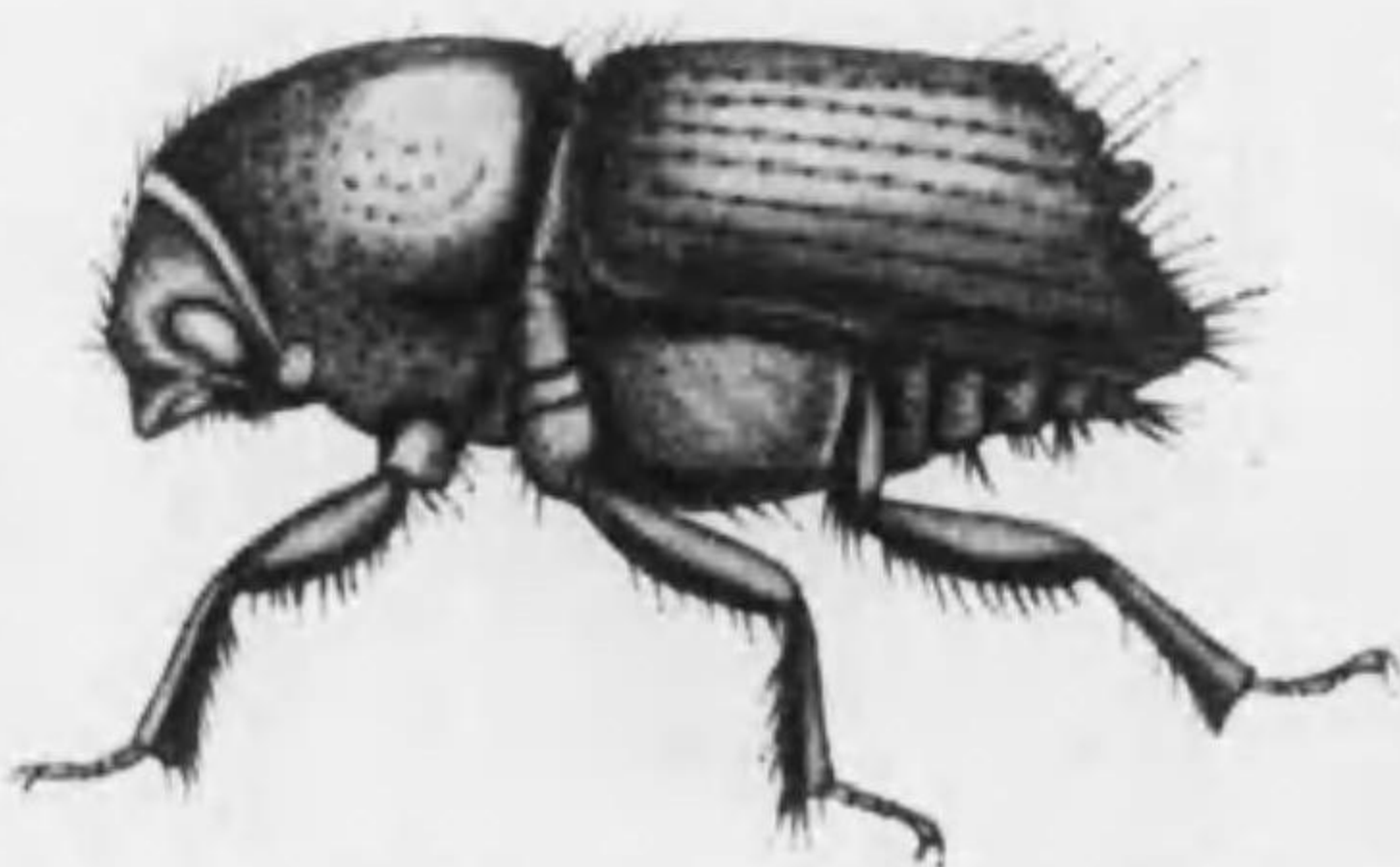
♀



ヤツバコシンクヒ……………(1011)

Ips japonicus Niss.

♀



體は黒色、光澤あり、前胸背の前方に黄褐の長毛を密生す。翅鞘は稍褐色を帯び、後端は深く卵形に刻られ、その兩側に四個の齒状突起あり。脚は黄褐、脛節は黒褐、體長一分五厘内外。これはエゾマツ、トクマツ等の樹幹に蠢入して大害を加ふ。
分布—樺太、北海道。

マツヒメコシンクヒ……………(1013)

刻あり、體長八厘一分。これは本邦に於ける最も恐る可き害蟲の一にして、華樹、楡、赤楊、葡萄等を食害す。



分布—北海道、本州。

クハマルコシンクヒ……………(1013)



雌は黒褐。頭は黒色。前胸背の前方は少しく淡色、小顆粒を散在す。翅鞘は灰色毛を被ひ、翅端は褐色を帯ぶ。體長九厘内外。

これは桑、楡、赤楊等の害蟲なり。

分布—北海道、本州、九州。

クスマルコシンクヒ……………(1014)

Xyleborus multatus Brandt.

體は黒色。頭に淺き點刻あり。觸角及び脚は黄褐、褐毛を被ふ。翅鞘に褐毛多し。前胸は翅鞘よりも長大、前縁に顆粒多く、後方に點刻あり。體長一分二厘内外。これは樟の樹幹にて捕へ得



♀

べし。

分布—北海道、本州、九州、沖縄。

カシハコシンクヒ……………(1015)

Xyleborus quercus Eich.

體は黄褐。頭、前胸の兩側、中央の一紋、翅鞘ニボニクス形。♀の兩側、中央の一縦條並びに體下は黒色。體長一分二厘内外。これは本邦普通の種類にして、楡、檜等の害蟲なり。



分布—北海道、本州。

附言—この属の特徴は大形扁平の觸角球桿部は一節より成るにあり。

七四 扁鍬形科 Psephenidae

鍬形蟲科に似るも、觸角は膝狀を呈せず、球桿部の各節は櫛齒狀を呈し、各葉は動かさず。大體は雌雄同形。翅鞘は全腹背を覆ふ。體の兩側は稍々平行せり。本邦學名を有するもの數種あるも、何れも稀なり。多くは亞熱帶産の種類にして、大部は臺灣に産す。

ナガヒラタクハガタ……………(1016)

Acerinus grandis Burm.

全體光澤ある黒色。體の側面及び脚に赤褐の長毛を密生す。面部の前方少しく凹陥す。體長一寸三分内外。これは臺灣全島に普通なり。ヒルスウツス形 ♀ Jurustus Kuwer.



分布—臺灣。

オニヒラタクハガタ……………(1017)

Atractocycus jathus Law.

全體光澤ある黒色。頭部に一對の角狀突起を裝ふ。前腿節の内側に褐色毛を密生す。體長五分五厘内外。これは四國に稀ならざる種類なれども本州には稀なり。



♂

分布—四國、本州。

ツノヒラタクハガタ……………(1018)

Ceracipes arrowi Heller



♀

體は黒色、少しく鉛色の光澤を有す。頭部に角狀の三突起を裝ふ。翅鞘に點刻

七五 鍬形蟲科 Lucanidae

觸角十節、膝状を呈し、末端の三節乃至五節は橢圓状をなし、各葉動かず、柄節は甚だ長し。大腮は發達し、特に雄にありては鍬形状をなすものあり。幼蟲は鱗蟬と稱せられ、朽木を以て食とす。本邦に産するもの約五十五種あり。

タイワンネブトクハガタ……………(1039)

Aegus formosus Bat.

全體は黒色。頭部は小點刻を密布し、光澤を缺く。翅鞘に各八條の深き點刻列を裝ひ、間室は



滑澤なり、第八間室より側縁に到る間には粗大の點刻を裝ふ。體長七分五厘。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣。

ネブトクハガタ……………(1040)

Aegus subulatus Waterh.

に黄色紋を具ふ。これはオホクハガタに類似すれども、前胸背の側縁及び雄大腮の形を異にするによりて區別せらる。體長一寸二分内外。札幌附近に産するも稀なり。

分布—北海道。

ヒメクハガタ……………(1034)

Eurytrachelus montivagus Law.

體は黒色、少しく赤色を帯ぶるものあり。腿節の基部に金色の基部に金色



紋を裝ふ。體長(雄)六分八厘内外、(雌)五分五厘内外。これは北國に稀ならずも、樺太には産せざるが如し。

分布—北海道、本州。

ヒラタクハガタ……………(1035)

Eurytrachelus platymelus Saund.

體は光澤ある黒色。體下及び脚は黒褐。腿節の基部に金色の毛塊あり。雄の大腮は長く、内側の基部一大齒を具へ、その上方には鋸齒状の小齒を列ぬ。體長(雄)一寸四分内外、(雌)一寸内

♀



全體黒色。雄の大腮は基部にて太く、二齒あり。翅鞘に各九條の深き溝を裝ふ。體長(雄)六分内外、(雌)四分五厘。これは本州及び九州に産するも餘り多からず。

分布—本州、九州。

ツヤハダクハガタ……………(1031)

Cernulus lignarius Law.

體は褐色。翅鞘には黄色の軟毛多し。前腿節の基部に長楕圓形の



黄紋あり。體長一寸三分内外。これは樹液に集來するも稀なり。早昔倒木の樹皮下にその越年せるものを捕獲し得べし。

分布—北海道、本州。

オホクガタ……………(1011)

Dorcus hopei Saund.

體は黒色。體下は黒褐。基部及び腿節は赤褐。



外。これは南國に普通なる種類なるも、北海道には産せず。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那。

ナミクハガタ(クハガタムシ)……………(1036)

Eurytrachelus rectus Motsch.

體は黒色、體下は光澤を有す。脚は黒褐、跗節に金色毛を裝ふ。雄の大腮は中央より少しく前方に一齒を裝ひ、末端には判然せざる一小齒あり。



♀



後胸片の兩側に黄毛を裝ふ。體長(雄)一寸六分内外、(雌)一寸二分内外。これは本邦何れの地方にも餘り多からざる種類にして、個體により著しく大形なるものあり。

分布—北海道、本州、朝鮮、支那。

エゾヒラタクハガタ……………(1038)

Eurytrachelus jezoensis Miwa

全體黒色。體下面は光澤を有す。前腿節の基部



り。體長九分内外。これは本邦普通の種類にして、枯木に捕へ得べし。

分布—日本全土、朝鮮、臺灣。

アカアシクハガタ……………(1037)

Eurytrachelus rubrofemoratus Voll.

體は黒色。翅鞘は黒褐。腿節及び後胸片は美麗なる赤褐。雄の大腮は末端に近く一齒を裝ひ、更にその前方に二小齒あり。體長(雄)一寸内外



(雌)七分五厘内外。これは本邦最も普通の種類にして、幼蟲は桜樹、櫻桃等の朽木に發見せらる。成蟲は樺、檜等の樹液を吸收す。

分布—日本全土。

スチクハガタ……………(1038)

Eurytrachelus stratiopennis Motsch.

體は黒色。翅鞘は粗糙にして、深き縦溝あり。



體下に判然せざる
黄毛を裝ふ。脚は
黒褐。體長(雄)六
分内外、(雌)五分
五厘内外。これは
楡、樺、檜等の樹液に集來する普通種なり。

分布—日本全土、朝鮮、臺灣。

サビクハガタ……………(一〇三九)

Gnaphaloryx velutinus Thomson



體は黒色、光澤
を缺く。全體灰
褐の短毛を密生
す。前腿節の内
側は赤色を帯
び、基部に金色
紋あり。體長六分五厘内外。臺灣埔里附近に産
するも稀ならず。

分布—臺灣、東印度。

ウスバクハガタ……………(一〇四〇)

Hemiscolerus formosanus Miwa

全體黒色。前腿節の基部に黄色の一紋あり。雄
の大臑は細長く、先端に近く一説齒を裝ふ。體



長(雄)一寸、(雌)六分。これは臺灣埔里地方に
産するも甚だ稀なり。

分布—臺灣。

オキナハミヤマクハガタ……………(一〇四二)

Lucanus ferrei Planet

體は暗褐、黄色の軟毛を裝ふ。各腿節の内外兩
面に大なる褐色紋あり。これはミヤマクハガタ
に似るも、雄の大臑内側の齒は小形にして、そ
の數多く、末端にある二齒の長く曲れるにより
識別せらる。體長(雄)八分—一寸七分、(雌)一
寸



寸—一寸三分。沖縄には稀なるも、臺灣には普
通なるが如し。

分布—沖縄、臺灣。

タイワンミヤマクハガタ……………(一〇四三)

Lucanus formosanus Planet

體は暗赤褐。翅鞘及び腹部は赤褐。各腿節の中
尖部は黄色。これはミヤマクハガタに似たる
も、大臑は細長にして、頭部の突起は高から
ず。體長一寸五分内外。臺灣に産するも稀な
り。



分布—臺灣。

ミヤマクハガタ……………(一〇四四)

Lucanus maculifemoratus Motsch.

體は褐色、黄色の軟毛を裝ふ。前腿節の内面に
黄色の一紋あり。これには髪形多く、雄の大臑突起



の著しく小なるものあり。體長(雄)一寸四分内
外、(雌)一寸内外。これは札幌附近に稀ならざ
るも、本州には稀なり。楡、樺、檜等の樹液を
吸收す。

分布—

分布—北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

アカノコギリクハガタ……………(一〇四四)

Metoponotus blanchardi Parry

體は黄褐。頭部の周縁、前胸背の周縁並びに二
紋、翅鞘の周縁、接合線、稜状部、腿節の末端
跗節等は黒色。體長(雄)一寸五分内外、(雌)九
分



チヤイロマルクハガタ……………(一〇四五)

Neolucanus insularis Miwa

體は栗色。頭部は濃色。大臑は黒色。翅鞘は淡
色。周囲は赤褐。前腿節の基部に黄色の一紋あ
り。體長一寸。これは石垣島に産する珍種な
り。

分布—臺灣、蒙古。

分布—臺灣、蒙古。



分布—沖縄(石垣島)。

アカマルクハガタ……………(一〇四六)

Neolucanus swinhoei Bal.

體黒色。翅鞘は美麗なる赤褐、光澤を帯び、基
部は黒色。體長一寸二分内外。これは臺灣埔里
地方には普通なり。



分布—臺灣。

オホツノクハガタ……………(一〇四七)

Odontolabis siva Hope

全體黒色。翅鞘及び體下は光澤あり。前腿節の
内側に長楕圓形の金色紋を有す。體長一寸七分
内外。これは臺灣に産するも多からず。



分布—臺灣、シルヘット。

ルルクハガタ……………(一〇四八)

Platycerus delicatulus Lew.

背面は暗緑乃至黒藍色。體下面は黒藍色。雄の腿節(末節を除き)及び中後兩腿節は赤黄。大腿は餘り發達せず。體長三分内外。これは日光附近に産するも
少なし。著者は女峰山の中腹にて唯だ一頭を捕獲したるに過ぎず。



分布—本州。

オニクハガタ……………(一〇四九)

Trismognathus angulatus Waterh.



體は黒色乃至黒褐。脚は赤褐、腿節は少しく濃色。體長六分三厘内外。これは本邦稀ならざる種類にして、特に北海道にては地方的に普通なり。

分布—日本全土。

キンオニクハガタ……………(一〇五〇)

Trismognathus subaeneus Motsch.

全體濃赤褐、金色の光澤あり。前腿節の内側に楕圓形の一黄紋を有す。雄の大腿は内側に齒狀突起を具へ、上面の前方には一齒を裝ふ。體長七分内外。これは朝鮮及び濟洲島に産するも多からず。



分布—朝鮮、西比利亞。

オキナハノコギリクハガタ……………(一〇五一)

Psathoremus dissimilis Koll.

これはノコギリクハガタに酷似すれども、體は



一層光澤を帯び且つ淡色なり。雄の大腿は鋸齒狀を呈し、唯だ少しく彎曲するに過ぎず。體長一寸一分内外。これは沖繩に稀ならざる種類なり。

分布—沖繩。

ノコギリクハガタ……………(一〇五二)

Psathoremus inclinator Motsch.

體は黒褐。脚は黒褐乃至赤褐。腿節の兩端は濃褐。雄の大腿は少しく彎曲し、鋸齒狀を呈す。小形なるものにおいて彎曲せず。雄の翅鞘少



しく赤色を帯ぶ。體長(雄)一寸三分内外、(雌)一寸内外。これは本邦到る處に産する普通種なり。幼蟲は朽木を食とするも、成蟲は櫟、檜、樅、柳等の樹液を吸收す。
分布—日本全土、朝鮮、臺灣。

七六 金龜子科 Scarabaeidae

トゲシカクハガタ……………(一〇五三)

Rhaetulus crenatus Waterh.

雄の大腿は鹿角狀を呈するを以てこの名あり。全體黒色。前腿節の基部に黄色の一紋あり。前胸背の兩側縁に小齒を列ぬ。體長(雄)一寸内外、(雌)七分内外。これは臺灣の山地に稀ならざるが如し。



分布—臺灣。

觸角短かく、七節乃至十一節より成り、膝狀を呈し、末端の節三乃至七節は總葉狀をなし、各葉は相動き得べし。前肢は肥大して地を開掘するに適し、跗節は五節より成る。體は多く卵形にして、強固、美麗の彩色を有するもの多し。幼蟲は俗に鱗蟬と云ひ、農作物の根を切り大害を加ふることあり。本邦學名を有するもの約三百三十種あり。

チャイロコガネ……………(一〇五四)

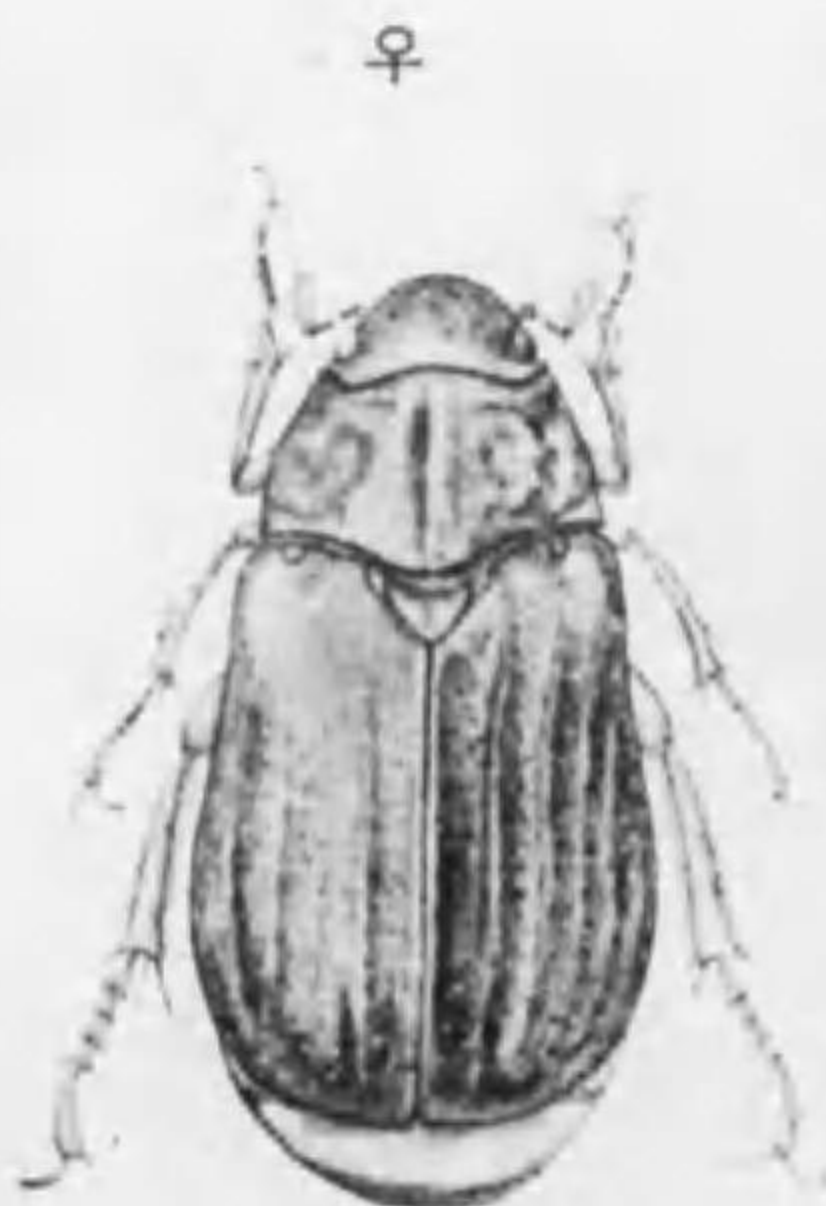
Adoretus tenuimaculatus Waterh.

體は暗褐、全體白色の鱗毛を密生す。觸角は黄褐。體下は黒褐。體長三分五厘内外。これは薔薇科植物の花上に捕獲し得べき普通種なり。



九州、朝鮮。

オホスチコガネ……………(一〇五五)



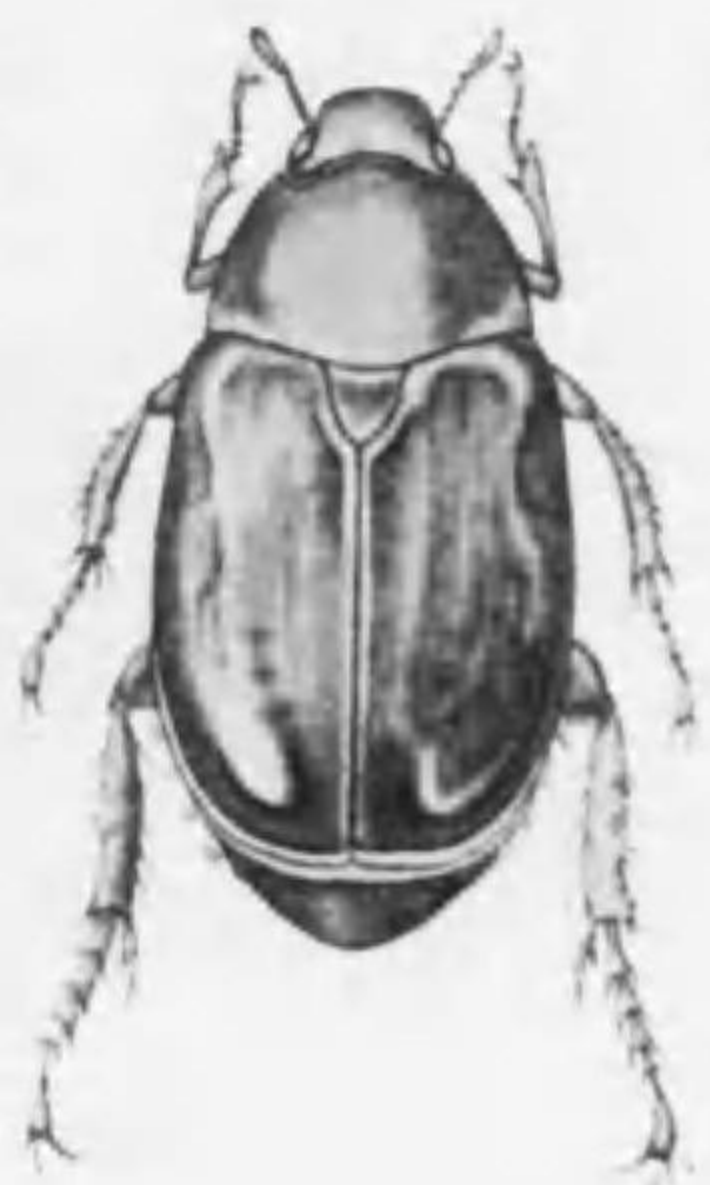
分布—日本全土。

ドウガネブイブイ……………(一〇五六)

Anomala cuprea Hope

體は銅銜色。體下は稍々赤銅色を帯ぶ。觸角は黒褐。胸下に灰白毛を密生し、腹面節の兩側に

同色の毛塊あり。脚に黄褐の剛毛多し。體長七分内外。これは杉、葡萄等の害虫にして、東京地方にありては葡萄の葉を食ひ、年々大害を加ふ。



分布 本州、四國、九州。

サクラコガネ

Anomala chiniana Har.

(一〇五九)



♀

體は光澤ある黄色、少しく緑色を帯ぶ。頭部、前胸背及び稜状部は黒線。觸角は暗黄。前胸背の兩側は黄色。

尾節は藍色。腹節の各後縁は赤褐。體長五分内外。これは櫻の葉を食ひ、大害を加ふことあり。

分布 日本全土。
附言 これはヒメコガネに酷似するも、腿節の黒褐ならざるによりて區別せらる。

ヒメサクラコガネ

Anomala geniculata Motsch.

(一〇五八)



♀

背面は淡黄褐、光澤あり。前胸背の一部は綠色。體下は黒紫色。體長四分五厘内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布 北海道、本州、九州。

キンスチコガネ

Anomala holosericea F.

(一〇五九)

全體暗光ある全綠色。腹面及び脚は銅紫色にし



♀

て、白色の長毛を裝ふ。體長六分七分。本種は主として北國に産する種類なり。

分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

ヒメコガネ

Anomala rufocuprea Motsch.

(一〇六〇)



♀

體色は一定せず、綠色、黒藍色、綠褐、赤褐等あり。翅鞘の周圍及び觸角は赤褐。體下は灰黄の軟毛を密生し、各腹節には黄白紋を横列す。腿節は常に黒褐なり。體長五分内外。これは大小豆、葡萄等の葉を食害する普通種にして、本邦最も多き金龜子なり。

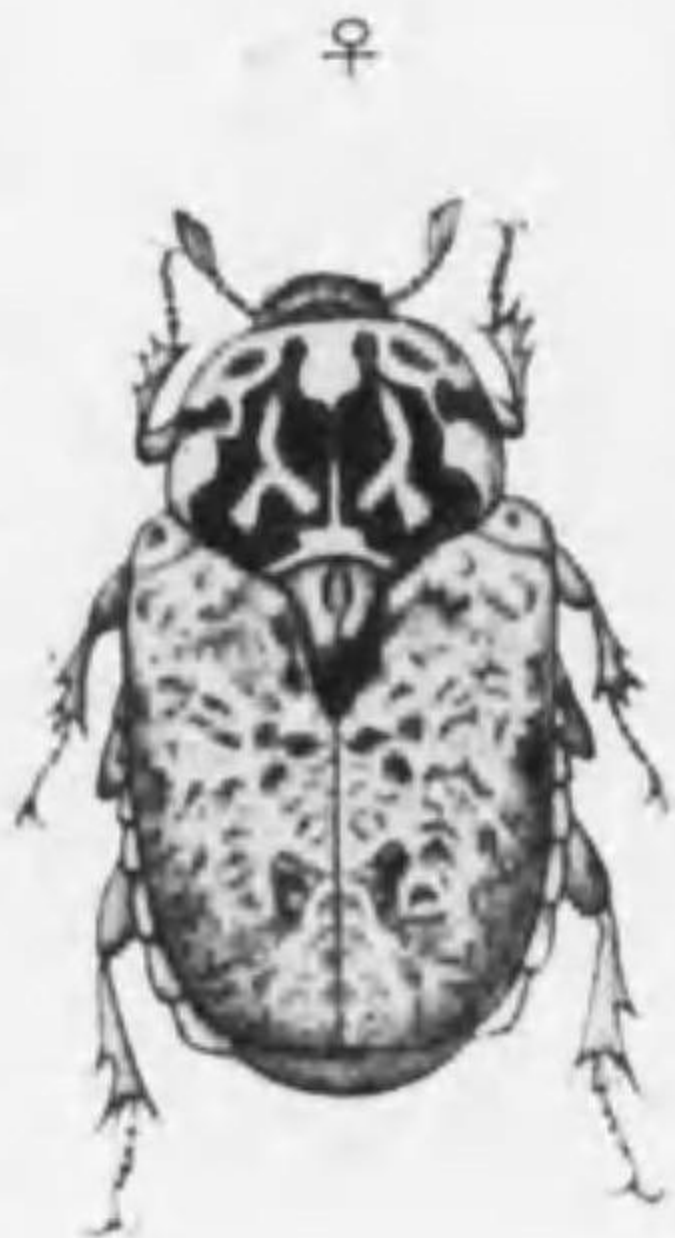
分布 日本全土。

アカマダラコガネ

Anthracophora rustivola Herzm.

(一〇六一)

背面は赤褐、黒紋を不規則に散在す。體下及び脚は黒色。後胸側及び腹側の各紋は赤色。體長六分五厘内外。これは九州地方に稀ならざるも東京地方には少なし。



♀

分布 本州、九州、朝鮮、蒙古、アムール。

オホフタホシマグソコガネ

Aphodius elegantis Alibert

(一〇六二)



♂

體は黒色。觸角は黄褐。翅鞘は黄色、中央に近く一大黒紋を裝ふ。脚及び體下に黄褐毛あり。體長四分五厘

内外。これは馬糞の中に捕へべきも餘り多からず。

分布 北海道、本州、九州。

マグソコガネ

Aphodius solskyi Har.

(一〇六三)



♂

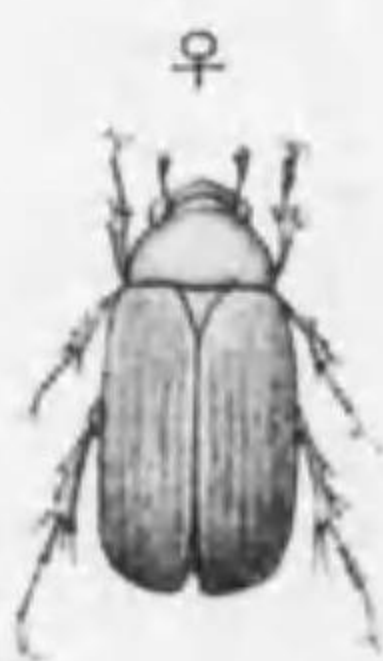
體は黒色。雄の翅鞘は黄褐、翅底及び三角紋は黒色、雌の翅鞘は黒褐、接合線及び翅端は黄褐。體長二分内外。これは本邦何れの地方にも産し、馬糞を食す。

分布 日本全土、西比利亞。

アカヒロウドコガネ

Autoserica (Muhderia) japonica Motsch.

(一〇六四)



♀

體は赤褐、天鵝絨様の光澤あり。體長三分内外。これは本邦最も普通の種類にして、桑、萩樹等の害虫に捕へ得べし。

分布 日本全土、朝鮮、臺灣。

タイワンダイコク (一〇六五)

ムネアカコガネ

Bolboerosoma nigropigritum Waterh.

(一〇六六)

全體黒色。口部、胸下及び脚に赤褐の長毛多し。前頭の中央に角状の一突起を裝ふ。前胸背の前半は急傾斜をなし、兩側には各一小突起を



♂

具へ、その直下に一凹陥あり。體長一寸一寸二分。これは臺灣には普通の種類にして、水牛糞に捕へ得べし。

分布 臺灣、支那、印度、馬來、亞弗利加。

ムネアカコガネ (一〇六六)



♂
 體は黄褐。頭及び翅鞘の後半は黒色。前胸背に四個の黒紋あり。脚及び體下は淡黄褐、黄色の長毛多し。體長四分内外。これは暖地の産にして、その數少なし。
 分布 本州、九州。

の兩側は銅色。翅底及び翅端に白色の數毛塊あり。體下及び脚は美麗なる赤銅色、黄白の軟毛を密生す。體長五分五厘内外。これは本邦何れの地方にも稀ならざる種類にして、花上に捕へ得べし。
 分布 日本全土。

ダイコクコガネ
Copris oculus Motsch. (一〇六八)

體は光澤ある黒色。觸角及び兩鬚は赤褐。胸下及び脚に赤褐の短毛を裝ふ。體長九分内外。
 分布 本州、九州、支那。

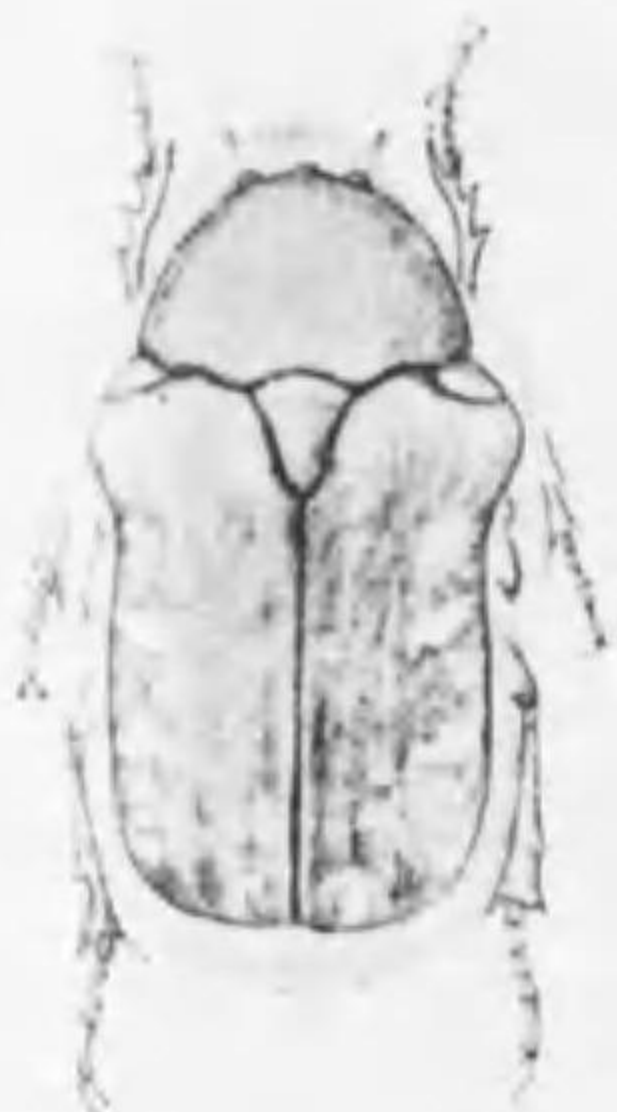


分布 本州、九州。

ヒラタハナムグリ
Dasyvulgus angusticollis Waterh. (一〇七〇)



♀
 體は黒褐、灰白の鱗毛を裝ふ。觸角の末端、額片及び附節は赤褐。體長二分内外。これは薔薇科植物の花上に捕へ得べき普通種なるが、北海道には産せず。



ハナムグリ
Cetonia pilifera Motsch. (一〇六七)

體は緑色。頭部は赤銅色。觸角は黒褐。前胸背



これは獸糞を丸め、その内に卵を藏む。青森その他日本アルプスには稀ならず。
 分布 本州、九州、支那。



♂
 體は光澤ある金属性の暗青色。背面は綠色を帯べる黒色。體長六分内外。これは動物の糞尿屍

センチコガネ(蛭蝋)
Geotrufus haevistriatus Motsch. (一〇七五)

は特殊の發達をなして著しく延長す。體長八分一寸。これは臺北附近に稀ならず。
 分布 臺灣、支那。



♀
 體は暗褐、全體帯緑の灰白鱗毛を密生す。觸角、兩鬚及び脚は黄褐。翅

タイワンアヲドウガネ
Euclyptus expansa Lat. (一〇七五)

體は光澤ある綠色、光線の工合により黄色を現はす。體下及び脚は藍色を帯ぶ。翅鞘側縁の隆隆



三二三

ヒメハナムグリ
Echinophia olivacea Motsch. (一〇七二)



第三輯 題目

分布 本州、四國、九州。

タイワンツノコガネ
Dieranocephalus honrgohii Fovall. (一〇九一)

體は灰色、茶色又は黄褐色。前胸背の二縱條、翅鞘の肩部及び翅端に近き短條は黒色。脚は褐色若くは濃褐。體長七分内外。これは臺灣に稀ならざる種類にして、暗んで燈火に飛來するが爲めその捕獲困難ならず。
 分布 臺灣。



アシナガカブトムシ
Kachirus macleayi Hope (一〇七三)

體は暗綠、光澤あり。翅鞘は黒褐、少しく綠色を帯び、多數の赤褐紋を散在す、これは雄の前肢の長く延長せる爲め他と混同することなし。體長一寸五分内外。これは臺灣に産すれども稀なり。
 分布 臺灣、印度。

分布 臺灣、印度。

タイワンアヲドウガネ
Euclyptus expansa Lat. (一〇七五)

體は光澤ある綠色、光線の工合により黄色を現はす。體下及び脚は藍色を帯ぶ。翅鞘側縁の隆隆

骨にて捕獲し得べし。本邦到る所に分布する普通種なり。

分布—日本全土。

クロハナムグリ……………(1076)

Glycyphana fulvipes Motsch.

體は天鵝絨様の黒色。翅鞘の中央の二紋は白色、翅端の一紋は黄色。體下は光澤ある黒色。

♀



後胸片の兩側及び各腹節の兩側に各一個の黄紋あり。體長四分五厘内外。これはタンポポその他繖形科植物の花上に普通なり。

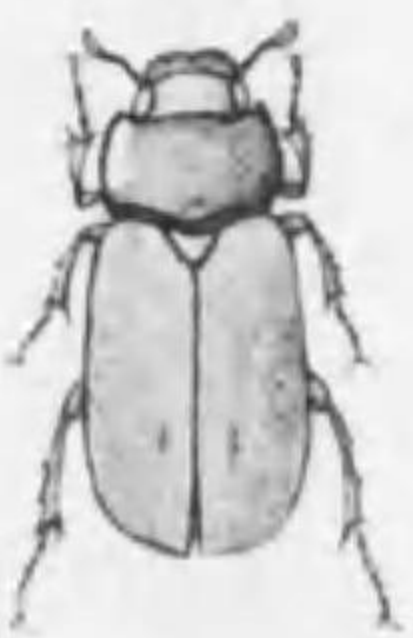
分布—本州、朝鮮、滿洲。

オホアシナガコガネ……………(1077)

Gnorimus viridipennis Law.

體は綠色、金屬性の光澤を帯ぶ。翅鞘は赤褐色、隆條は綠色。前胸背の二紋及び翅鞘の數紋は白色。體は褐色を帯び、黄褐色の長毛を裝ふ。體長六分内外。これは樺太に稀ならざるも、北海道

♀



體は黄色。頭部及び前胸背は赤褐色、光澤を有す。脚は黄褐色。胸下に黄白の軟毛多し。體長四分内外。これは本邦普通の種類にして、この幼蟲は殊に苗床にありて杉、松等の苗樹に大害を加ふることあり。

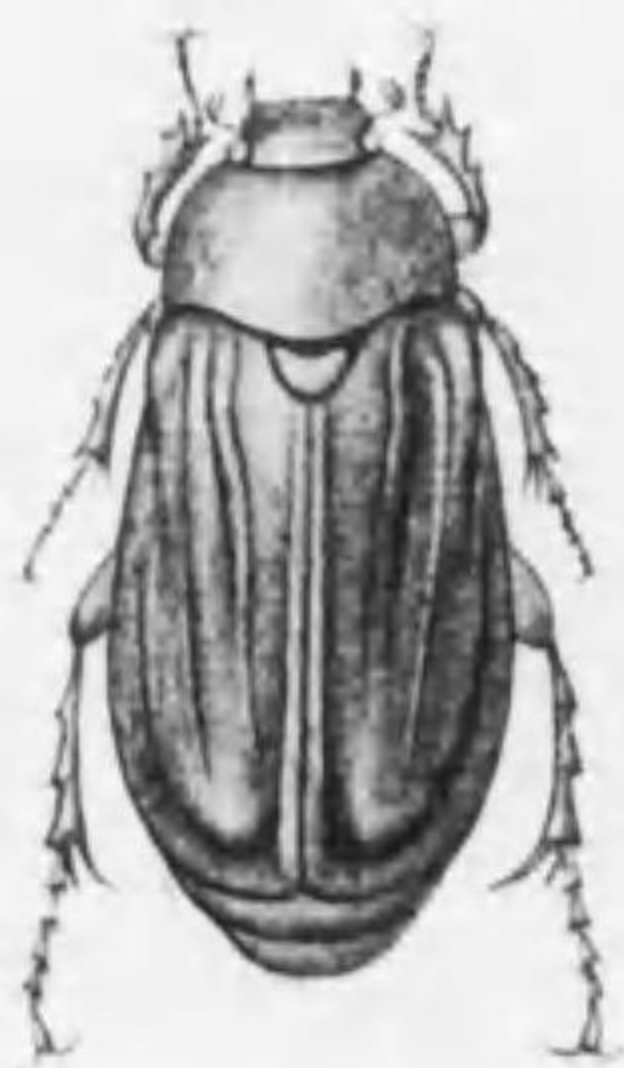
分布—日本全土。

クロコガネ……………(1081)

Holotrichia kotonoensis Bremske

體は光澤ある黒色。體下は黒褐色。胸下に黄色の長毛を密生す。脚は褐色。體長六分内外。これは本邦何れの地方にも多からず。幼蟲はリン

♀



以南には稀なり。ナナツバの如き菊科植物の花上に捕獲し得べし。

分布—樺太、北海道、本州。

シロスチコガネ……………(1078)

Granida albolineata Motsch.

體は赤褐色。前胸背の三縱條及び翅鞘の五縱條は

♂



體は暗色、全體灰緑の細鱗を密生す。觸角及び脚は黒褐色。體長二分内外。これは東京地方に稀ならざる種類なるも、北海道には産せず。多くバラ、ボタン等の花上に捕獲し得べし。

分布—本州、九州。

アシナガコガネ……………(1083)

Hoplia communis Waterh.

體は暗色、全體灰緑の細鱗を密生す。觸角及び脚は黒褐色。體長二分内外。これは東京地方に稀ならざる種類なるも、北海道には産せず。多くバラ、ボタン等の花上に捕獲し得べし。

分布—日本全土。

シロコガネ……………(1082)

Leptotia cethacea Niis. et Mats.

背面は白色。體下は黒褐色、白色の鱗毛を裝ふ。

♀



分布—本州、九州。

シロコガネ……………(1082)

Leptotia cethacea Niis. et Mats.

背面は白色。體下は黒褐色、白色の鱗毛を裝ふ。

♀



白鱗よりなる。胸下に黄毛を密生す。腹面は黒褐色、白鱗を裝ふ。脚は黄褐色、黄毛及び白鱗あり。體長一寸内外。これは本州にては可なり普通の種類なるも、北海道には稀なり。

分布—日本全土、沖縄。

クロヒラタコガネ……………(1079)

Gymnopleurus sinuatus Oliv.

全體黒色、少しく光澤あり。觸角の球桿部は黄赤。頭部前縁の中央に二小突起あり。前胸背の兩側に一大點刻あり。各腹節は彎曲し、外側は

♀



鋸状齒を有し、前腹節の外側末端に三齒を裝ふ。體長六分—七分。これは臺灣全島に稀ならざる種類にして、獸糞に捕獲し得べし。

分布—臺灣、支那、印度。

キイロコガネ……………(1080)

Hoplophylia laevis Motsch.

體長七分内外。これは臺灣に産するも少なし。

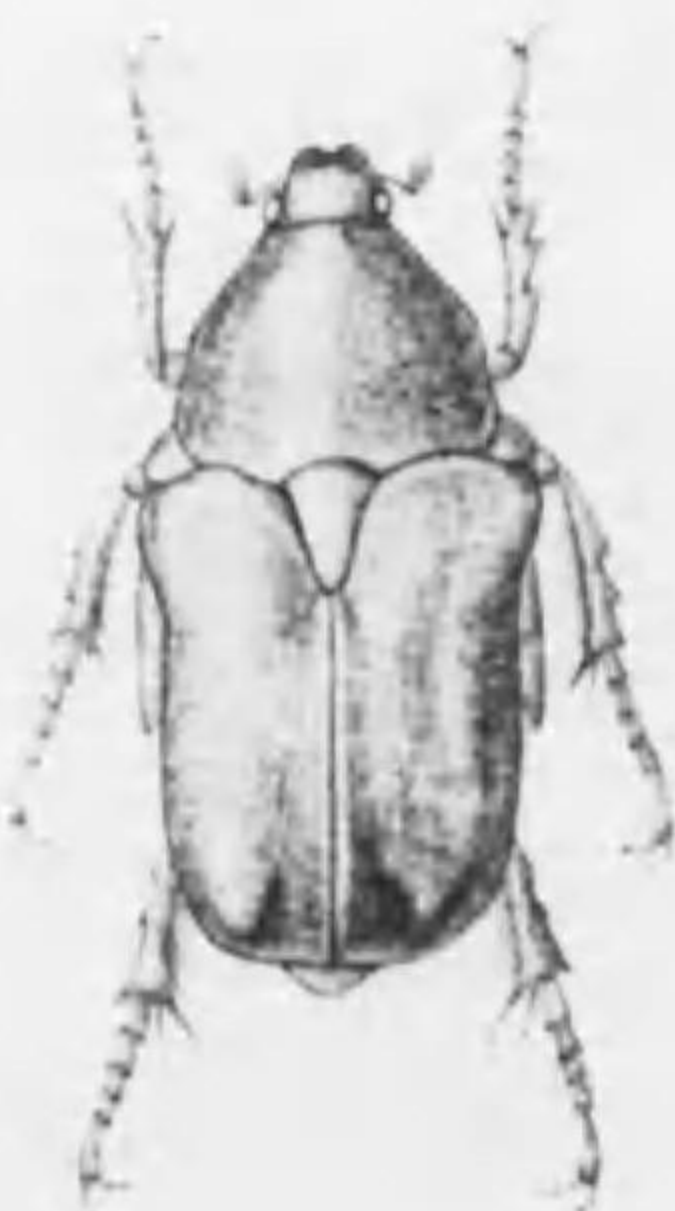
分布—臺灣。

シロホシオホナムグリ……………(1084)

Isoecia breviparsis Law.

體は黒紫色、光澤あり。觸角は黒褐色。背面に白紋を散在す。體下に灰白毛を裝ひ、體の兩側及び腹節に白紋多し。體長八分内外。これは本邦普通の種類にして、椴、樺等の液汁を吸收す。

♀



分布—日本全土、臺灣、支那、西比利亞。

ヨスチエグリコガネ……………(1085)

Macronota formosana Niis. et Mats.

體は黒色。翅鞘は濃褐色、二條の縱條及び翅端に近き一紋は黒色、數個の小紋は灰褐色。腹節の末

端及び脛節は赤褐。頭部の二縦條、前胸背の四縦條、體下兩側の數紋等は灰褐色。體長七分。これは臺灣埔里地方には少なからず。



分布—臺灣。

ホツボエグリコガネ……………(一〇八六)

Macronota hoppona Niss. et Mats.

體は黒色。頭部、前胸背、尾節板、體下面の兩側等に褐毛を密生す。頭部の一縦條、前胸の二縦條及び後縁は黒紫色。翅鞘の各四紋は褐色の

♂



ヒメスヂコガネ……………(一〇八八)

Mimela flavilabris Waterh.

體は綠色。上唇、觸角、前胸背の兩側、胸側、尾端及び脚は黄色。體下は暗色。翅鞘の接合線外側並に翅端は細く暗褐。脛節及び脛節の縦條は黒褐色。體長五分内外。これは九州に普通の種類にして、東京地方には稀なり、北海道には産

ふ。體長六分。埔里地方に産するも稀なり。分布—臺灣。



アラエグリコガネ……………(一〇八七)

Macronota viridula Niss. et Mats.

體背面は天鵝絨様の綠色。翅鞘に各四五個の小白紋あり。

♂



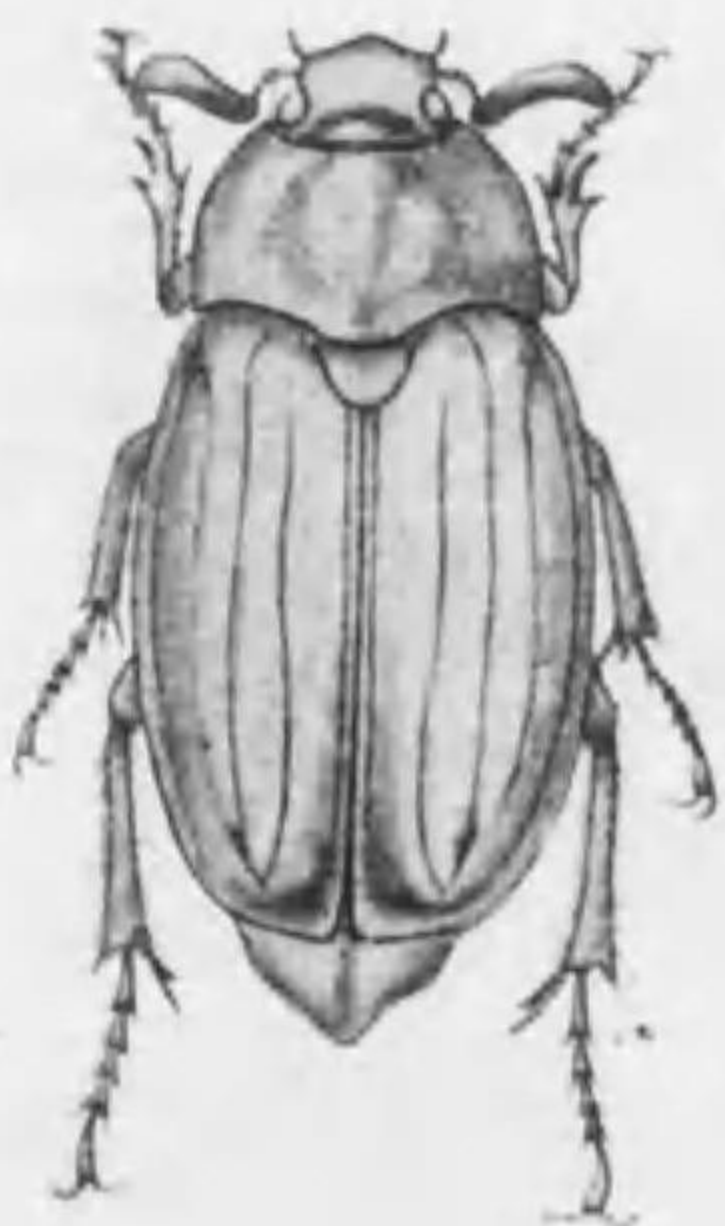
♀

オホコフキコガネ……………(一〇八九)

Melolontha frater Arrow

體は赤褐、灰白の短毛を密生す。胸下に黄色の長毛多し。體長一寸内外。これは東京地方に普通なる種類にして、樺、楡、檜等の葉を食す。

♀



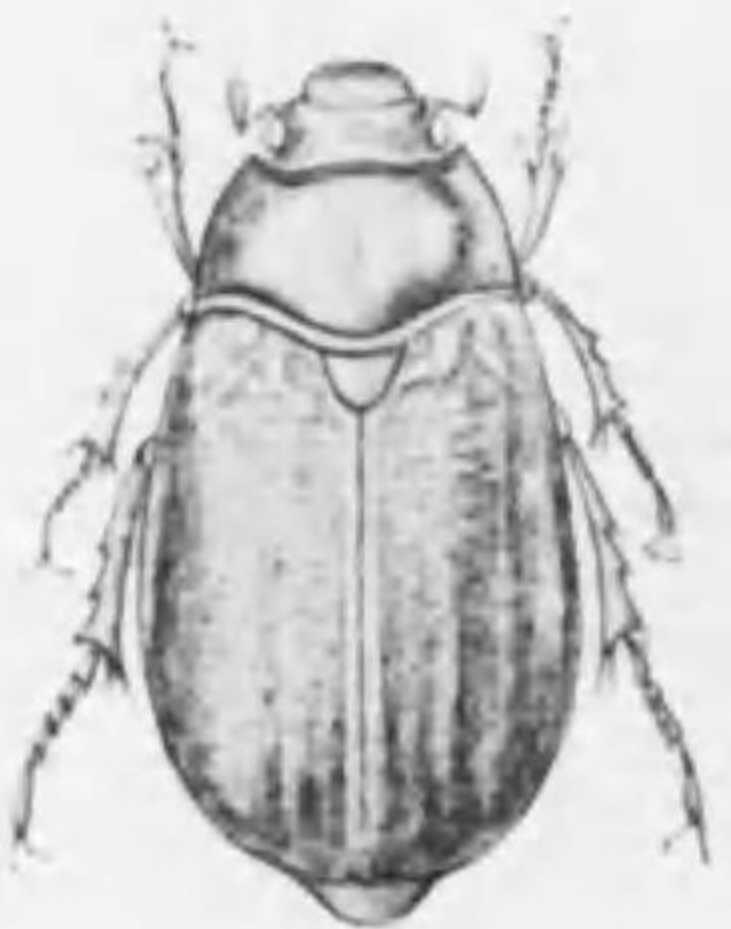
分布—本州、九州、支那。

せざるが如し。花上に捕へ得べし。分布—本州、四國、九州。

ナミコガネ(コガネムシ)(金魚子)……………(一〇九〇)

Miocola fusoides Hope

♀



體は光澤ある黒縁。觸角は淡黄褐。體下は黒褐。脛節に黄毛を裝ふ。體長六分内外。これは本邦

到る所に稀ならざるも北海道には産せず。前種同様に花上に捕獲し得べし。分布—本州、四國、九州、沖縄、朝鮮、臺灣、支那。

クロマルコガネ……………(一〇九一)

Onthophagus ator Waterh.



體は黒色。雄にては前胸背に三稜形の低き突起あり。觸角は黒褐、中央部は黄褐。跗節は赤褐。體下及

ツノコガネ……………(一〇九二)

Oryctes rhinocerus L.

體は黒色、光澤を缺く。雄にては前頭に一個の彎曲せる長角あり。觸角及び第一腹節の中央は赤褐。雌にては頭部に角状突起を缺く。體長三分内外。

♂



これは馬糞にて捕へ得べし。分布—北海道、本州。

タイワンカブトムシ……………(一〇九三)

Oryctes rhinocerus L.

體は暗赤褐、背面は黒色を帯ぶ。前頭には角状の一突起を裝ひ、その前方に二小突起ありて、黄褐毛を生ず。前胸背の前方に環状の一大隆起ありて、その周囲及び内側は少しく凹陥し、粗糙なり。體下及び脚に暗赤色の長毛多し。體長



♀

オホチャイロハナムグリ……………(一〇九四)

Osmodermna opica Leew.

體黒褐、光澤あり。頭部黒色。翅鞘は少しく赤褐を帯び、横皺を具へ、點刺を散布す。尾節板

一寸一分—一寸五分。これは臺灣に普通の種類にして、幼蟲は甘蔗の根を食害す。分布—臺灣、支那、印度。

♀



は黒色。體長一寸内外。これは日光附近に産するも稀なるが如し。

分布—本州。

コハナムグリ

Oxycetonia juvanda Fall.

(1095)

體は黒縁若くは黒褐。頭部は黒色。前胸背に黄毛を粗布し、兩側黒色。翅鞘に七八個の白紋を

♀



外。これは本邦何れの地方にも産す。花上に五分五厘内

捕へ得べし。

分布—日本全土、沖縄、朝鮮、支那、西比利亞。

オホトラハナムグリ

Paratrechina doeritzi Har.

(1066)

體背面は黒色。觸角は赤褐。前胸背の周縁及び三縱條は灰色。翅鞘の周縁及び接合線は褐色、

♀



黒色部の二横帯は灰褐。尾節板及び體下面は灰黄。脚は黄褐、後脛節並に後跗節は黒色。體長五分内外。これは高山地帯の花上に捕獲し得るも稀なり。

分布—本州、四國。

コカブトムシ

Phalerus chinensis Fall.

(1077)

分布—北海道、本州、支那。

カタモンコガネ

Phyllopertha conspurcata Har.

(1098)

體は黒色、少しく藍色を帯ぶ。翅鞘の兩側(前縁)は黒褐、肩部に同

♀



色紋を有するもの多し。體長三分五厘内外。これは本邦何れの地方にも稀ならず。花上に捕獲し得べし。

不規則に散在す。體下に灰色も多し。體長一寸

♂

アラウススチコガネ

Phyllopertha intermixta Arrow

(1099)

頭及び前胸背は黒縁色。翅鞘は黒褐。縦隆は列然せり。尾節板は黄

♀



褐。體下面は暗褐、少しく銅色を混ず。體長三分。これは菊科植物の花上に捕獲し得べき

も餘り多からず。

分布—北海道、本州。

セマダラコガネ

Phyllopertha orientalis Waterh.

(1100)

色彩に變化多く、黄褐地に褐紋を有するもの、黒色地に黄褐紋を有するもの等あり。翅鞘は黄褐、矢筈形に配列せる三段の暗色紋あり。體長三分内外。これは本邦稀ならざる種類なれども、北海道に産せず。同じく花

♀



上に捕獲し得べし。

分布—本州、四國、九州。

ヒゲコガネ

Polyphylla hirticollis Iw.

(1101)

體は赤褐。觸角は黒色。翅鞘に白色の鱗毛を裝ひ、爲めに白紋を散在するが如し。脚は黄褐、腿節並に跗節端は黒褐。體長一寸一分内外。こ

♂



れは稀なれども、播州地方には少なからず。

分布—本州、九州、朝鮮。

タイワンヒゲコガネ

Polyphylla formosana Nils. et Mats.

(1103)

體は濃褐。頭部兩側の一縱條、前胸背中央の一縱條、側方の中斷せる各一縱條及び兩側の環狀紋は灰黄の短毛よりなる。翅鞘に灰色の小紋を

三分。これは埔里附近に産すれども少なし。

♂



ルリマメコガネ

Popillia indigonacea Motsch.

(1104)

全體黒藍色、金屬性の光澤あり。腹節に稍々長き一列の白毛を

♀



裝ふ。體長三分五厘内外。これは臺灣に於ける綿の害虫にして何れの地方にも

少なからず。

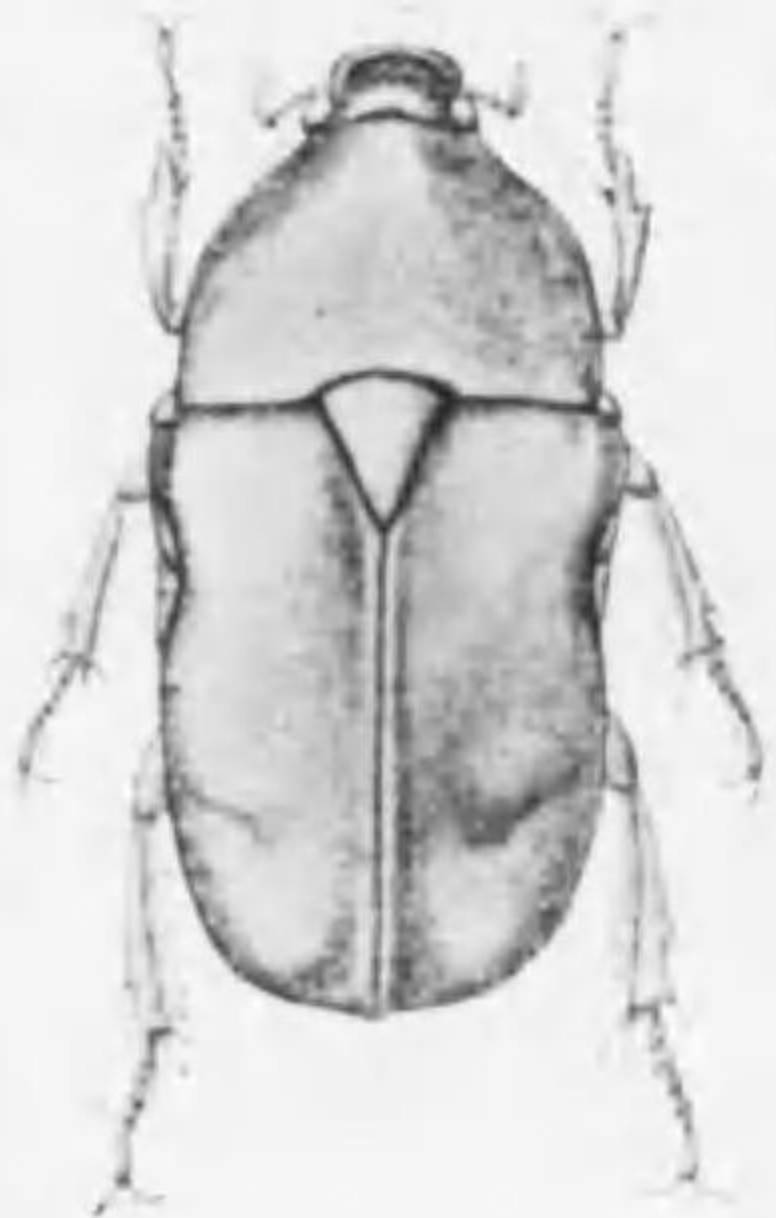
分布—朝鮮、臺灣、支那、アムール。

カナブン.....(二〇四)

Rhomborhina japonica Hope

體は青銅色、光線の方向により少しく褐色を帯ぶ。觸角は赤褐。脚は緑色。體長五分内外。こ

♀



これは櫟の液汁に集來する普通種なるも、北海道には産せず。
分布 本州、四國、九州、朝鮮、支那。

マメコガネ.....(二〇五)

Popillia japonica Newman

體は黒靨。觸角は赤褐。翅鞘は黒縁の周圍を除き黄色。體下は灰黄毛を密生し、各腹節の中央に黄白紋を横列し、尙兩側及び尾節板にも同色の毛塊あり。體長四分内外。これは豆科植物、

マメコガネ形 ♀ *Popillia japonica* Newman



し。本種は有名なるスカラベ蟲にして、フアブルの昆蟲記に屢々出て來るものなり。
分布 朝鮮、支那、歐洲。

ヒゲチャコガネ.....(二〇九)

Sericia (*Ophthalmosericia*) *leopis* Waterh.

體は黄褐。頭頂は黒褐。前胸背及び翅鞘に黒紋を散在し、白毛を粗生す。體長二分五厘内外。これは本邦に稀ならざる種類なり

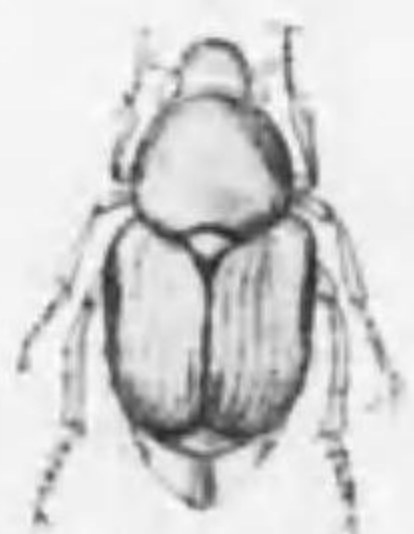
♂



本種は主として菊科植物の花上に集まるの性あり。
分布 樺太、北海道、本州、九州。

ヒロウドコガネ.....(二一〇)

♀



パニス・ビートルの名にて知らる。
分布 日本全土。

クロカナブン.....(二一〇)

Rhomborhina popillia Waterh.

體は光澤ある黒色。觸角は赤褐。中胸片の突起、前腿節及び中脛節に赤褐の長毛多し。體長

♀



一寸内外。これは東京地方に産するもその數少なし。前種同様に櫟の樹液を吸收す。
分布 本州、四國、九州。

Zerena *fabriana* *brunnea*

體は天鵝絨様の黒色。翅鞘は少しく赤味を帯ぶ。觸角、脚及び體下

♀



は赤褐。前胸背の後縁は褐色。體長二分五厘内外。これは本邦普通の種類にして、華樹、梨、桑、落葉松、亞麻等の葉を害す。
分布 日本全土、朝鮮、臺灣。

コガシラトビコガネ.....(二一一)

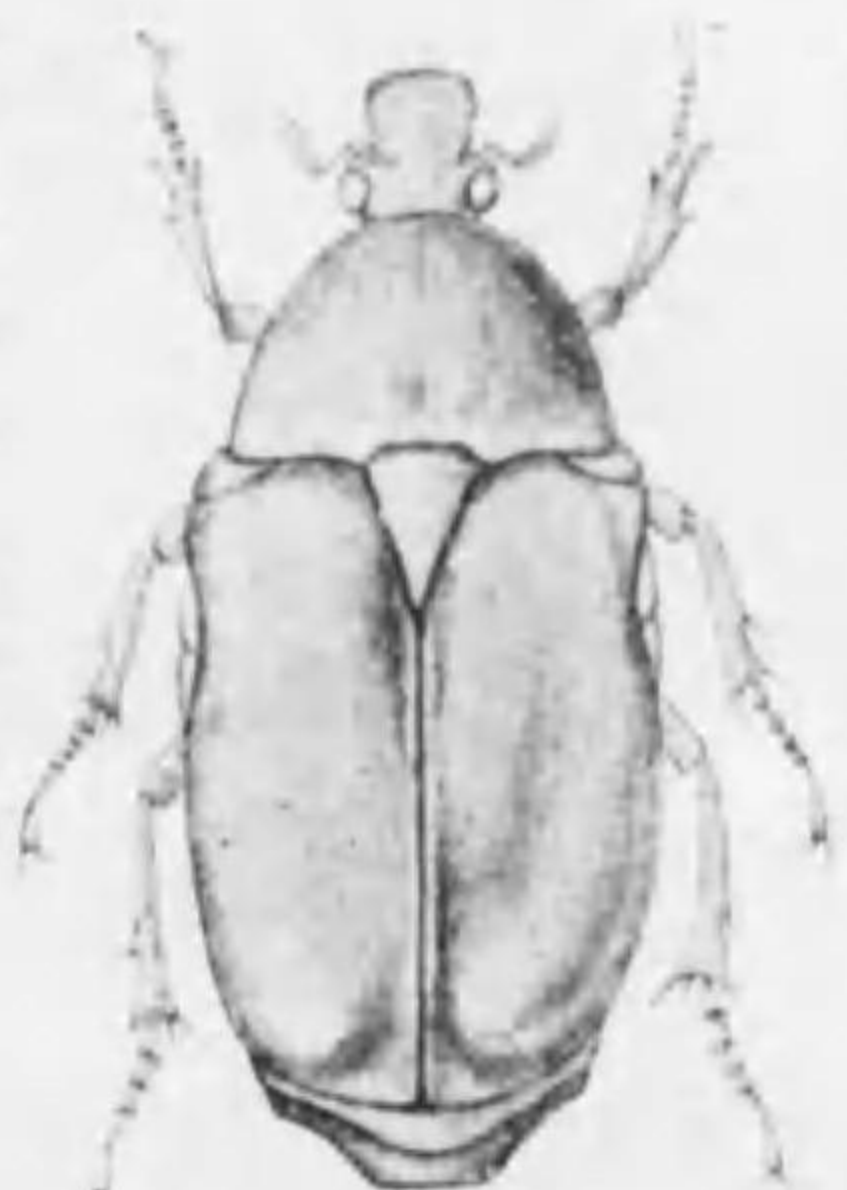
Sericania *minuta* *Lew.*

體は黄褐。頭は黒褐。額片は赤褐。觸角は黄色。腹部は褐色。體長三分五厘内外。これは地方的に普通なる種類なるも、一般には少なし。
分布 北海道、本州。



ヒメトラハナムグリ.....(二一二)

アヲカナブン.....(二〇七)
Rhomborhina unicolor Motsch.
體は光澤ある緑色。觸角は黒褐。腿節端及び跗節は暗褐。體長一寸内外。これは本邦普通なる種類にして、櫟、榆等の樹液を吸收す。北海道には普通なるも暖地には少なし。
♀



分布 北海道、本州、九州。

ノコギリヒラタコガネ.....(二〇八)

Seriche *zecei* *L.*

全體黒色。胸側及び脚に黒褐の長毛多し。頭部の前縁に六個の突起を裝ふ。前脛節の外縁には四個の齒狀突起あり。體長一寸内外。これは朝鮮に稀ならざる種類にして、暖地にて捕へ得べ

Trichius *abdominalis* *Mey.*

體は黒褐。觸角の大部、翅鞘の二帯及び翅底の一小部は黄色。前胸背に黒褐及び黄色の兩毛を混生す。尾端、體下及び脚には黄白毛多し。體長三分五厘内外。これは本邦稀ならざる種類

♀



なるも北海道には少なし。
分布 北海道、本州、九州。

コトラハナムグリ.....(二一三)

Trichius *fasciatus* *L.*

體は黒色。頭部及び前胸背に褐色の長毛を密生す。翅鞘は赤褐、各三個の黒色紋を有す。體下

♂



及び尾節板は灰黄の長毛を密生す。體長四分五厘内外。これは薔薇その他タンポポの花上に捕

へ得べし。

分布—北海道、本州、歐洲。

トラハナムグリ……………(一一四)

Trichius japonicus Jans.

コトラハナムグリに酷似すれども、體は少しく大形にして、翅



鞘の黒紋は大なり。體長五分内外。これは樺太に普通なるも北海道には稀なり。

同じくタンボポの如き花上に捕へ得べし。分布—樺太、北海道。

コブコガネ……………(一一五)

Erox opacoherventatus Motsch.

♂



體は黒色。觸角は赤褐。前腿節の中央に黄色の毛塊あり。體長一分八厘内外。これは石下若くは倒木下に捕へ得べきも、注意せざれば

その捕捉困難なり。分布—北海道、本州。

カブトムシ(獨角仙)……………(一一六)

Xylotrupes dichotomus L.

體は黒褐。翅鞘は少しく淡色。胸下及び脚は黄毛を装ふ。雌は角狀突起を缺く。體長一寸四分内外。これは本邦普通の種類なるも、北海道には産せず。暗んで樫の樹液を吸收す。



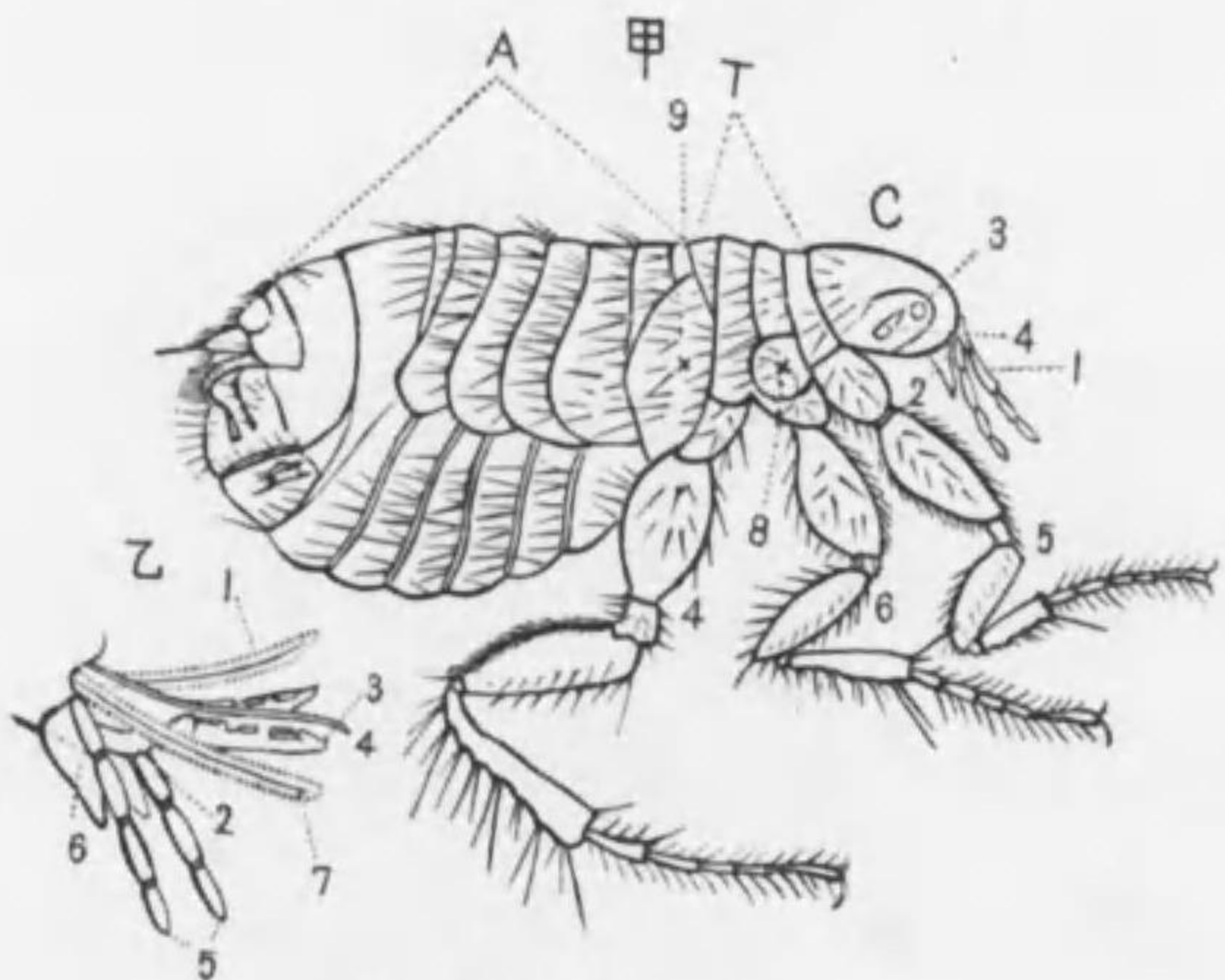
分布—本州、四國、九州、臺灣、支那。

第四 微翅目 APHANIPPTERA

第四 微翅目

Aphaniptera
(Siphonaptera)

口部は吸収及び刺蝮に適し、上唇を缺き、大腮は細長にして、鋭齒を具へ、下唇は關節を有す。觸角は甚だ短かし。三胸環は分離して自在に動く。四翅を缺き板狀の附屬物はその地位を占む。變態は完全なり。本邦に産するもの三科あり。何れも人畜に寄生し、稀に禽類に寄生するものあり。



Pulex irritans L.

- | | |
|-----------------|---------------------|
| (甲)側面 | (乙)口部 |
| (0)頭部 | (1)大腮 |
| (1)小腮鬚 | (2)下唇 |
| (2)小腮 | (3)下唇鬚 |
| (3)單眼 | (4)顎舌 (Hypopharynx) |
| (4)觸角 | (5)小腮鬚 |
| (5)前肢 | (6)小腮 |
| (6)中肢 | |
| (7)後肢 | |
| (8)中胸の附屬板(翅の痕跡) | |
| (9)後胸の附屬板 | |
| (T)胸部 | |
| (A)腹部 | |

一 鳥蚤科

Zenopsisyllitinae

胸部は第一腹節より短かく、後胸の側片は第一腹節外に延長す。小腮鬚は前基節よりも長し。下唇鬚には關節を缺く。第三觸角節に副節なし。前胸背に櫛齒列を缺く。雌は肥大せる腹部を具へ、宿主の皮下に生息す。本邦に産するもの一種あり。

トリノミ (1)

Echthnophaga gallinacea West.

體は赤褐、稍々圓形を呈し、長幅稍々同じ。複眼前方に一本、後胸側片に六本の剛毛あり。各腹節の亞背線の部分に剛毛を裝ふ。氣門は側部の中央下方にあり。體長(雄)二厘五毛、(雌)五



厘内外。これは鶏の鶏冠の皮下に潜入して、一種の腫瘍を生ず。これは又時に犬、猫、馬、人類にも寄生す。暖地に普通なれども、小形なる爲め捕獲困難なり。原産地は亞熱帯の米國なり。

分布—世界共有。

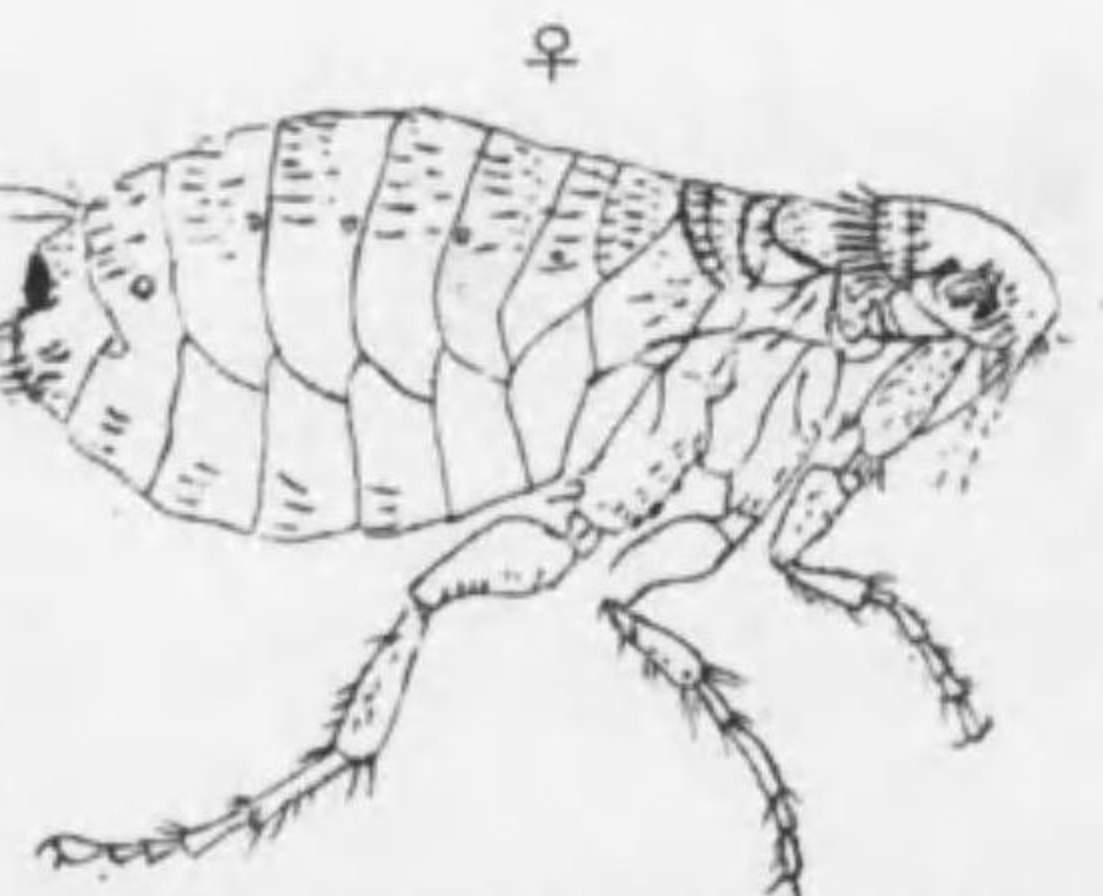
二 蚤科

Pallicidae

胸部は第一腹節より長く、各節は相緊接せず、後胸の側片は第一腹節外に延長することなし。小腮鬚は稍々棍棒状を呈し、前基節より短かし。下唇鬚には關節あり。第三觸角節には副節を裝ふ。頭部に普通一櫛齒列を有す。後脛節の刺毛は一双をなす。本邦學名を有するもの八種あり。

シロノミ (1)

Ceratophyllus fasciatus Bosc.



體は赤褐。前腹背に十八本乃至二十本の櫛齒を具へ、複眼の前方に三剛毛を裝ひ雌にては二剛毛あり、雄にては更にその前方に四剛毛を有す。尙、後脛節の内側

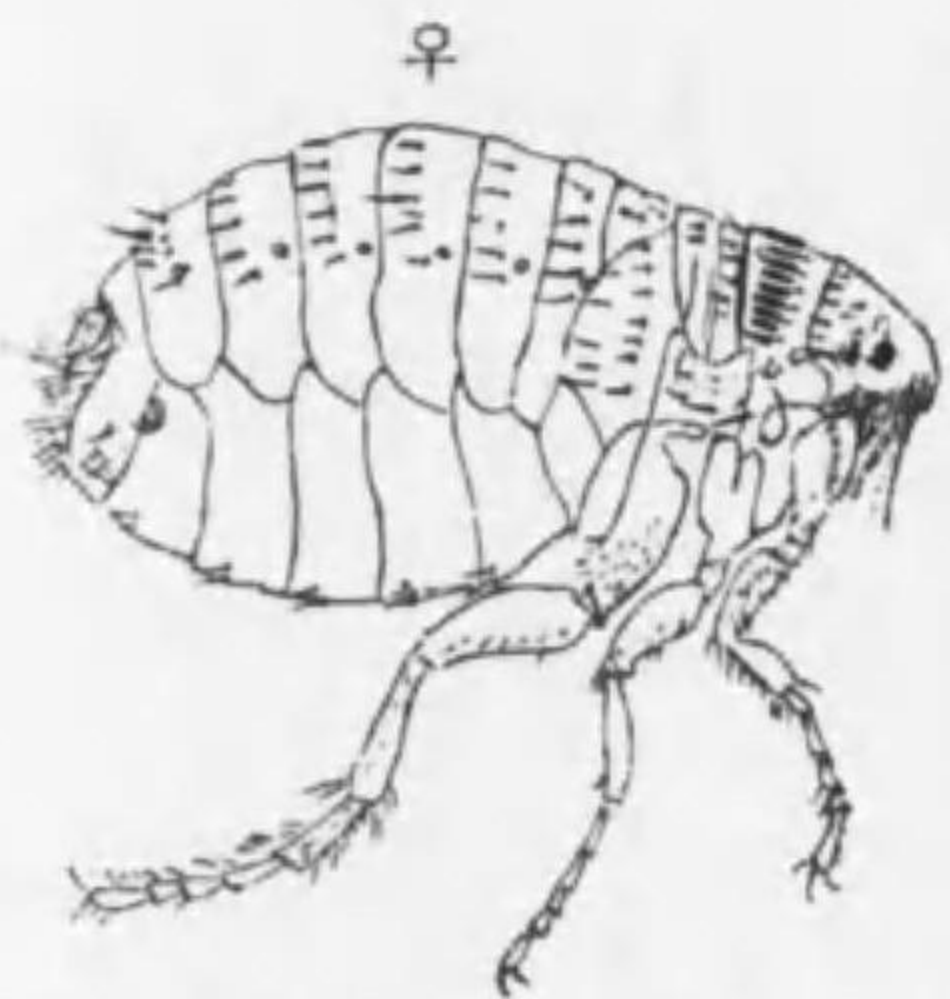
に三四剛毛あり。後跗節の割合は50—33—20—11—21。雄の抱握器は甚だ細長なり。體長五厘—七厘。これは鼠族に寄生し、時に又臭狸及び人類をも害することありて、同時にベスト菌を媒介す。この原産地は米國なり。

分布—世界共有。

イヌノミ(犬蚤).....(三)

Ctenocephalus canis Curt.

體は赤褐。頭は雌にては高さの二倍長(側部より見て)より短かく、頬齒の第一は第二の半長。雄にては抱握器の末端は肥大せり。體長五厘乃至一分。これは犬に普通なる種類なるが又人類にも少なからず。而してヒトノミの如く甚だしく跳躍せ



分。これは犬に普通なる種類なるが又人類にも少なからず。而してヒトノミの如く甚だしく跳躍せ

ず。この原産地は歐洲なり。

分布—世界共有。

附言—ヒトノミと一見異なる所は、前胸背に齒齒列を有せざるにあり。尙、ネコノミ(*C. felis* Ronchê)はイヌノミに酷似すれども、頭は高さの二倍長ありて、齒齒列の第一齒は第二齒の三分の二あるに對してイヌノミにては二分の一あるに過ぎず。

ヒトノミ(人蚤)(ノミ).....(四)

Pulex irritans L.

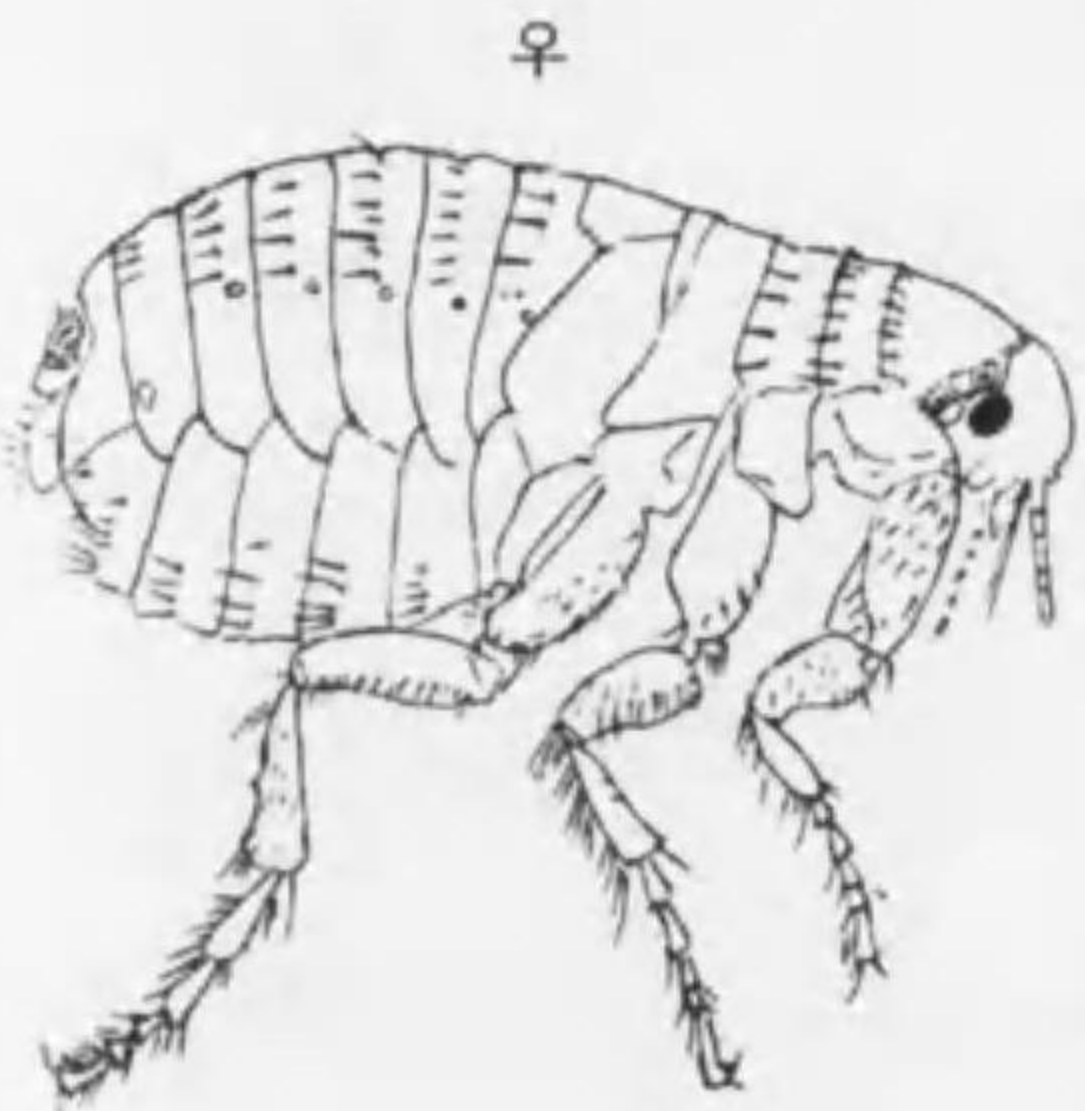
體は黄褐乃至赤褐。大腮は前基節の半以下に達す。頭は前方にて圓く、頬片には二剛毛を具へ、その一は小腮の直上、他の一は眼の直下にあり。頭頂には剛毛の横列なし。各腹節に剛毛の一行あり。後跗節の割合は5—30—18—12—32。體長(雄)五厘—六厘(雌)、七厘—一分内外。これは人間外にては犬、猫、狐、鼠、臭狸等に寄生す。

分布—世界共有。

インドノミ.....(五)

Xenopsylla cheopis Rothschild.

體は淡褐。大腮は稍々前基節の末端に達す。頭



三 鼠蚤科 *Ceratopsyllidae*

蚤科に酷似すれども、その異なる所は、小腮鬚は三角形を呈し、その末端は尖り、後跗節の剛毛は一対をなさずして、その数は一層多し。この科に屬するものは何れも鼠、ムササビ、蝙蝠その他の鼠族に寄生すれども、他の哺乳動物には寄生せざるが如し。本邦に産するもの數種あり。

の前歯には二十二本あり。各腹節の兩側に剛毛の二列を裝ふ。後跗節の割合は45—25—18—8—14。體長五厘—七厘内外。これは鼠族に寄生するも、主として鼠に多し。ベストを媒介する鼠蚤の一種なり。原産地は歐洲なり。

分布—世界共有。

ネツミノミ.....(六)

Ceratopsylla musculi Duges



體は赤褐、細長にして甚だしく側扁。頭部稍々圓錐形を呈し、雄にては一層細し。頭の兩側に四齒齒の一行あり。複眼は甚小。前胸

及び前胸に齒齒を缺く。頰には二剛毛あり。口邊の剛毛は小腮基部の直上にあり。眼邊の剛毛は眼の前方及び中央の直上にあり。眼は判然す。各腹節に剛毛の一行あり。後跗節に八剛毛の一行を裝ふ。後跗節の割合は40—30—16—10—20。體長(雄)五厘—七厘、(雌)七厘—九厘。これは最も鼠に多き種類にして、ベストを媒介する主なる蚤なり。

分布—世界共有。

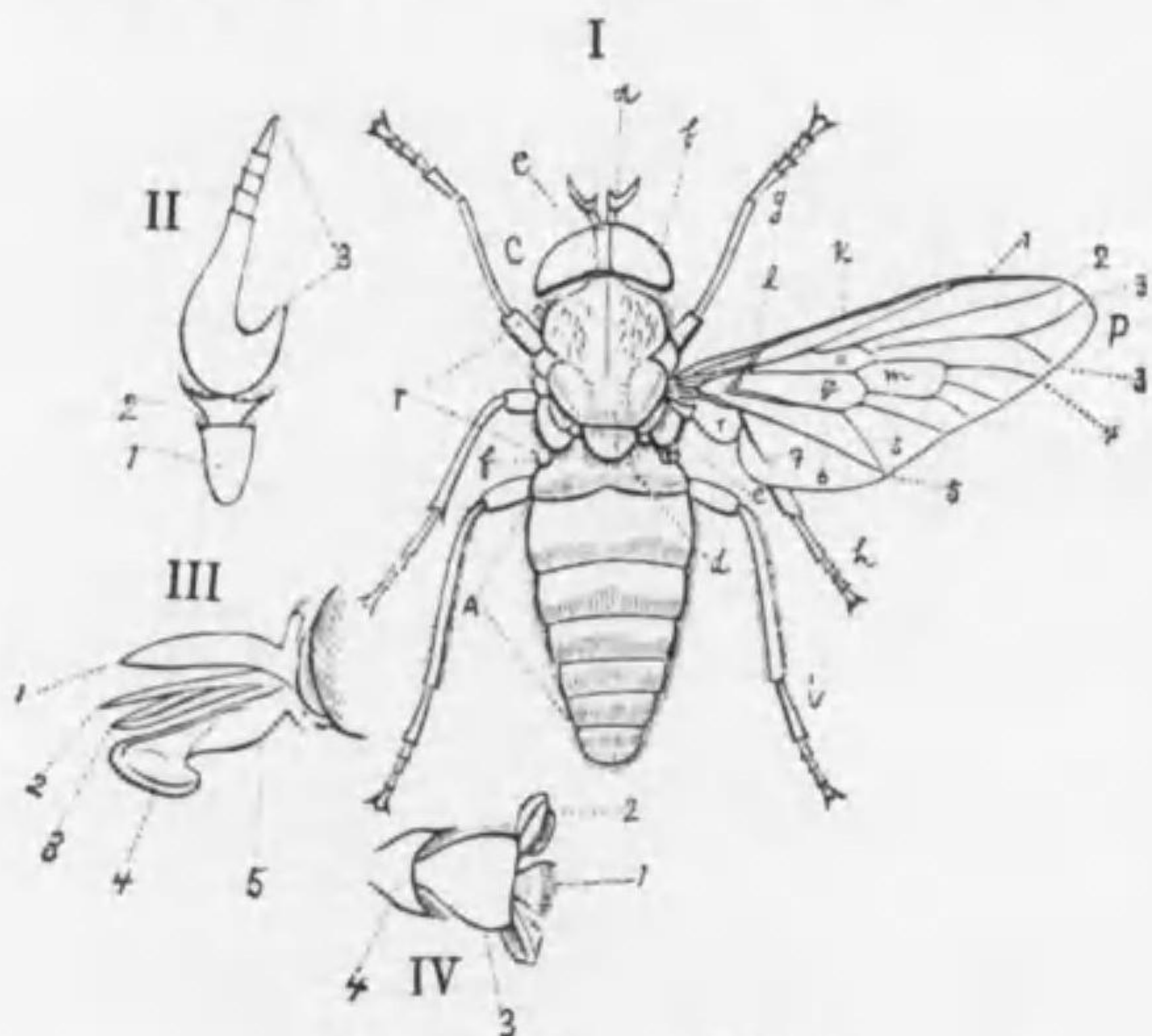
第五 雙翅目 DIPTERA

第五 雙翅目

Diptera

翅は一雙、翅脈少なく、後翅は退化して太鼓の撥状を呈し、稀に翅を缺くものあり。口部は口吻状に延長して吸収又は嚙蝕に適し、關節をなさず。前胸は癒合して動かす。幼蟲は蛆状にして、多くは頭脚を缺き、時に有頭なるものあれども稀なり。蛹は多く圓筒にして、其頭部の環状に破裂するものと、背部の直裂せるものとあり。時に胎生兒を産するものあり。大根蠅科若しくは潜蠅科の如く農作物に有害なるものあれども、又針蠅科及び長針蠅科の如く他蟲の體內に寄生して有益なるものも少なからず。本邦學名を有するもの約一千種あり。

アカウシアブ



Tabanus chrysurus Loew

- [I] 背面
 - (C) 頭部
 - (a) 觸角
 - (b) 複眼
 - (c) 頭頂
 - (d) 後狀部
 - (e) 鱗狀部
 - (f) 平均根
 - (g) 前肢
 - (h) 中肢
 - (i) 後肢
 - (k) 前緣脈
 - (l) 翅底脈
 - (m) 中室
 - (n) 前翅底室
- [II] 觸角
 - (1) 第一節 (2) 第二節 (3) 第三節
 - (A) 腹部
 - (T) 胸部
 - (P) 前翅
 - (1-7) 第一脈-第七脈
 - (r) 膜瓣
 - (q) 後翅底室
- [III] 口部
 - (1) 上唇 (2) 小腮
 - (3) 大腮 (4) 副舌 (5) 下唇
- [IV] 前肢の附節端
 - (1) 吸盤 (2) 爪
 - (3) 第五節 (4) 第四節

一 食蚜虻科

Tryphidae

頭は半球狀、胸と同幅。口吻肉状にして、四個の剛毛を有す。稜狀部大、粗毛なし。鱗狀部は小形。翅脈多く、中央に一過剩脈を縦貫す。停止の時翅を水平に全開するものと、半開するものとあり。幼蟲は汚水若しくは糞尿中に住し、又蚜蟲其他小蟲を捕食して農林業上に有益なるものあり。本邦學名を有するもの約三百種あり。成蟲は何れも繖形科植物の花上に捕へ得べし。

マヘキコシボソハナアブ

Baetia amphitroch WK.



四節の基部兩側に黄紋あり、尾端黄色。脚淡黄。雄にては第二及び三腹節の基部黄色。體長四分内外。山間の花上に普通なり。



クロバコシボソハナアブ

Baetia nubilipennis Anst.

體黄色。頭頂、觸角及び顔の一條は暗褐。觸角黄色。胸背暗褐。黄白短毛を粗生す。翅透明。平均根黄色。腹部紋褐色。脚に黄褐色を裝ふ。體長四分内外。これは臺灣に少なからず。



胸背の肩部灰白、兩側黄褐、中胸背兩側及び稜狀部褐色。翅暗色、翅端灰白、半透明。腹部暗褐、斑紋は黄色。脚は黄色にして、暗褐色あり。體長五分内外。これは沖縄にありては花上に普通なり。

ツマダロコシボソハナアブ

沖縄、臺灣、印度。



ナガヒラタアブ

Asarion porcina Coq.

體黒綠。頭褐色。顔は黄白色。觸角の直上に光澤ある黒色の弦月紋あり。觸角、兩胸側、腹及び脚は黄色。觸角

Basella pulcherrima Anst.

體光澤ある黒色、緑色を帯ぶ。顔黄色、突起は



黒色。觸角淡黄褐色。胸背に黄白短毛を装ひ、中胸側淡黄褐色。翅透

明、第一室及び翅端は暗色。平均棍暗黄。第二腹節頗る長し、斑紋は黄色。脚黄色、楯紋あり。體長四分内外。これは本州にては花上に普通なり。

分布 本州、臺灣、比島、瓜哇。

ホリシヤハチモドキハナアブ……………(六)

Ceriodes annulata Kertész



體は黒色。觸角暗褐色。第一、二節を合したるものと略同長。顔は黄色。

キアシクロハナアブ……………(八)

Chilosia flavipes Mats.

體黒綠色。觸角橙黄色、第一節及び楯は黄褐色。頭頂に黒毛及び暗褐色多し。口の上方に一突起を具ふ。顔の兩側に灰白短毛あり。口吻褐色。複眼に褐色短毛を粗生す。胸背に淡黄褐色多し。翅透明。腹部淡黄、褐色を密生し。第二節の後縁、第三及び四節の中央に黒毛あり。脚淡黄褐色、黒紋あり。體長四分五厘内外。これは本州に普通なり。



分布 本州。

ハチモドキハナアブ……………(七)

Ceriodes (Sphyrinorhoides) pleuralis Coq.



體黒褐色。觸角基部及び第二節の末端は褐色。顔黄色。胸部に褐色短毛を密生し

肩部に一黄紋あり。翅暗色、半透明。平均棍黄色。第二、三及び四腹節の後縁黄色。脚黄褐色。體長五分内外。これは稀なるが如し。

分布 本州。

モトドマリクロハナアブ……………(九)

Chilosia motodomariensis Mats.

體黒褐色、銅色光澤を帯ぶ。頭頂に長黄色毛を装ひ、頬及び複眼に灰白短毛を密生す。前胸背に黄褐色、中胸背に黒毛を密生し、胸側に灰白長毛を有す。翅透明、灰色を帯び、中央に判然せざる雲状紋あり。平均棍淡黄褐色。第一、二腹節の基部灰白、同色長毛多く、第四節後縁にも灰白

マトクロハナアブ……………(一)

Chrysosagaster tenuipalpus Mats.



體黒色、青銅色の光澤あり。觸角黒褐色。口部少しく紫藍色を帯び、黄褐色の短毛を装ふ。胸背に灰白短毛を粗生す。翅透明、黄色を帯び、縁紋淡黄褐色。平均棍暗黄。腹部暗褐色、第二節の兩側に灰白の一紋あり、半透明の觀あり、第二節基部及び第一節は灰白。脚褐色。體長二分五厘。これは少なし。

分布 本州。

フタホシヒゲナガハナアブ……………(二)

Chrysotoxum biguttatum Mats.



體黒色。頭頂及び後頭部に灰白紋あり。顔黄色、中央に黒條なり。觸角黒色。前胸、中胸及び後胸背の兩側に各一個の黄紋を具ふ、中胸の側片に一黄紋あり。翅透明、前縁は廣く暗褐色。

カラフトヒゲナガハナアブ……………(三)

Chrysotoxum fasciolatum Dege.



體黒色。頭頂の二紋及び後頭部は灰色、暗褐色を装ふ。顔は橙黄色。黒紋あり。觸角黒褐色。複眼に灰白短毛を装ふ。胸背前後兩角並に稜状部の前縁は橙黄色、灰色四縱條あり、褐色及び黄白毛を有す。翅透明。第二、三、四及び五腹節に黄色弓状帶あり、第三、四及び五節の後縁は淡黄褐色、灰黄毛多く、絹光あり。脚橙黄色。體長六分内外。これも織形科植物の花上に普通なり。

分布 樺太。

ヤマトヒゲナガハナアブ……………(四)

ウスグロハナアブ……………(一〇)

Chilosia yessoica Mats.



雌は黒緑。顔光澤ある黒色。觸角は黒褐色。第二節赤黄。複眼に短毛を生ず。胸背に濃色の三條を縦走し、稜状部後縁に長白毛を生ず。翅透明。鱗狀黄白色。腹部末端に灰黄毛を装ふ。脚黒色、黄紋あり。雄にては胸背の縦條不明なり。體長四分五厘内外。札幌地方に多し。

分布 北海道。

Chrysoxnum festivum 1.



體黑色。頭頂に灰色紋ありて、黒褐毛を装ふ。顔橙黄色、黄毛を具へ、黒紋あり。複眼には毛を缺く胸背前後兩角並に稜状部は橙黄褐、灰白毛及び黒褐毛を生ず。平均棍黄白。翅透明、褐色縦條あり。腹部の斑紋は灰白灰白短毛多し。脚橙黄色。體長四分五厘内外。これは早春花上に普通なり。

分布 本州。

オホヒゲナガハナアブ *Chrysoxnum grande* Mats. (一五)



體黒褐、胸部銅色の光澤を帯ぶ。頭橙黄色。觸角黒褐、端刺黄色。顔は黄褐。胸背の前後兩角に赤黄紋、中央に灰色二縱條を具ふ。翅透明、黄色を帯ぶ。第二、三

四及び五腹節の兩側に黄褐の一斜帶あり、第六節は淡黄褐、中央に人字形の褐紋あり。各腹節の後縁及び脚は黄色。體長六分五厘内外。これは樺太に稀ならず。

分布 樺太、北海道、西比利亞。

サツボロヒゲナガハナアブ *Chrysoxnum sapporensis* Mats. (一六)



本種はヒゲナガハナアブに酷似するも、各腹節後縁は細く褐色、腹面の三黄帯は中央に黒紋を有するによりて區別せらる。體長五分内外。同じく花上に捕へ得べし。

分布 北海道。

ヒゲナガハナアブ *Chrysoxnum shirakii* Mats. (一七)

體黑色。顔黄色、一黒縦條を具ふ、顔に二黄紋あり。觸角黒褐。觸角端及び頭頂黒紫色。胸背の兩側に一黄縦條を装ふ。翅透明、翅底及び前後縁に稜状部は黄色、中央は黒色。腹背に黄色



の四弓狀帶ありて何れも中央にて遮斷せらる、第二、三及び四腹節の後縁は黄色、第五節は黄色、中央に人字形の黒褐紋あり。胸下黒褐、兩側に淡黄紋を装ふ。脚黄色。體長四分五厘内外。これも繖形花上に普通なり。

分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ツマキモモフトハナアブ *Oriothina ajacis* Mats. (一八)



體は雄黒褐、同色長毛を簇生す。顔に灰白短毛を密生し、突起は黒色。觸角は褐色。第三節は大、腎臟形を呈す。翅透明黄褐を帯ぶ。平均棍黄白。腹部暗褐第三、四及び五節に黄褐長毛を装ひ、第二節以下各節の後縁は黄褐。觸角黒褐、黄褐紋あり。體

長四分。これも花上に捕へ得べし。少なし。

分布 本州(日光)。

オホモモフトハナアブ *Oriothina japonensis* Mats. (一九)



體、雄淡黄褐。胸背の中央に長き灰色縦條を具へ、兩側に短き一縱條を装ひ、黄毛を密生す。頭に銀色短毛多し。觸角褐色。翅透明。平均棍淡黄褐。腹部灰黄、各節の前後縁及び第二節の中央條は暗褐、第二節の兩側に黄毛を具へ、全面に淡黄褐の短毛を密生す。脚暗褐、淡黄褐毛を装ふ。雌の後腿節は細し。體長六分内外。これは餘り多からず。

分布 樺太、北海道、本州。

アカアシモモフトハナアブ *Oriothina (Mallota) rubripes* Mats. (二〇)

體黑色、暗褐長毛を密生す。頭頂に黒褐長毛多し。觸角黄褐。複眼に黄褐の短毛を装ふ。肩の



周圍及び稜状部後縁は黄褐。翅透明、翅底は暗黄。平均棍黄色。第一、二腹節の兩側、第四、五節並に第三節の後縁に淡黄褐の長毛を装ふ。脚淡黄褐。體長五分内外。これは中國地方に産するも稀なり。

分布 本州。

オホマルヒラタアブ *Didea alnei* Fall. (二一)



體黑色。顔及び端刺は黄色。顔の中央の一縱條並に觸角は黒褐。胸背の前後及び兩側に黄毛を密生す。稜状部暗黄。翅透明。第二腹節の兩側に各一個棍棒狀の黄紋あり。第三及び四節に太き黄帯を具

へ、第二腹節に三個三角形の黒紋を具へ、第三節以下黒色、但し第三節には黄紋あり。脚に黄毛多し。體長五分内外。大形種にして、稀なり。幼蟲は野蟲を捕食す。

分布 本州、支那、西比利亞、歐洲。

カラフトマルヒラタアブ *Didea fasciata* Mueq. (二二)



マルヒラタアブに似るも、異なる所は、體小形、黒藍色、觸角暗色、中胸背光澤を帯び、縱條なく、少しく黄毛を装ひ、稜状部藍色を呈し、平均棍黄色、腹黑色、四黄帯を有し、第二帯はその中央にて切斷せるにあり。體長三分内外。

分布 樺太、北海道、本州、臺灣、歐洲、印度。

ニツクワウヒラタアブ *Didea (Brachyopus) nikkoensis* Mats. (二三)

體黄褐。觸角淡黄褐。頭に黄褐及び暗褐短毛を装ふ。胸背黒色、兩側及び稜状部は黄褐。平均棍黄色。翅透明、黄褐を帯び、翅端に近く一暗



色紋を具ふ。腹背の初三節黒色、各兩側に橙黄紋を具へ、第四節に丁字形の暗色紋を有し各腹面節の中央には暗褐色の弓狀帯あり。脚黄褐色、黄紋を装ふ。體長四分五厘内外。これは少し。分布 本州(日光)。(二四)

タイワンヒラタアブ

Didactylus (Dielis) formosana Mats. (二四)



體は雄橙黄色。顔は金光を放ち、黄毛を装ふ。觸角黄褐色。胸背暗褐色を帯び、中央には三黒條を具へ黄褐色の短毛を密生す。翅透明、黄色を帯ぶ。平均棍黄褐色。第一、二、三、四、及び五腹節の前後に黒帯あり、腹面は黄色。脚淡黄褐色、黒褐色を装ふ。體長五分。これは臺灣には普通なり。幼蟲は甘蔗の好蟲及び綿蟲を捕食して有益なり。分布 臺灣。(二五)

オホヒラタアブ

Didactylus latus Coq. (二五)



體暗褐色。頭黄色。觸角暗黄、第三節の上方及び端刺は暗褐色。胸背に褐色三縱條を具へ、兩側に黄毛を密生す。翅透明。各腹節前後の兩縁黒色の第三及び四節にあるものはへ字形又第二節には三黒條を装ひ、第二腹面節の三角紋、第三及び四節帯は黒色。脚黄色。體長五分内外。これは花上に捕へ得べきも多からず。幼蟲は好蟲を捕食す。分布 本州、九州。(二六)

ツマキヒラタアブ

Didactylus latus Coq. (二六)



體黒褐色。頭黄色。觸角黄色、第二節に黒毛を簇生す。胸背に四黒縱條を装ひ、兩側に少しく黄褐色毛を装ふ。翅透明、黄色を帯ぶ。腹黒色、第三及び四節の中央に弓形の黄帯を装ひ第四節の後縁は黄色、第五節は黄色。腹面は末端を除き黒色。脚黄色、腿節黒褐色。體長五分。これは餘り多からず。分布 本州、九州。(二七)

オホコシホソハナアブ

Dorus opans F. (二七)



體黒褐色。顔の兩側、胸背前

側の一縁、胸側の一縁、平均棍及び脚部の斑紋は黄色。頭及び顔に黒紋あり。觸角黄褐色。胸背に黄褐色短毛あり。翅透明、前縁の半部暗色、不透明。腹節は恰も細腰蜂の觀を呈す。脚黄褐色。體長五分内外。これは少し。分布 北海道、歐洲。(二八)

ノラハナアブ

Eristalis oerivalis F. (二八)



ハナアブに似るも、小形、淡色。翅の中央にある紋は小にして淡し。腹背は黒色、第一節は灰色、第二節は黄色、之れに工字形の黒紋を装ふ、第四及び第五節の後縁は細く赤黄、雄にて

シロスチハナアブ

Eristalis nigricans Mats. (二九)



は第三節黄色、中央紋及び後縁に近き一帯は黒色。體長四分内外。これは本邦最も普通なる種類にして、花上に捕へ得べし。幼蟲は細き長尾を有し、汚水に住す。分布 北海道、本州、九州、支那、歐洲。(二九)

トヨハラハナアブ

Eristalis nemorum L. (三〇)



體黒色。顔黄白、中央に一黒條あり。口部は黒色。觸角暗褐色。複眼に黒毛を密生す。胸背に黄毛多く、中胸背灰黄、黒色の三縱條あり。稜狀部半透明、暗黄色、黒毛を装ふ。翅透明、暗褐色あり。平均棍灰黄。第一腹節は灰黄、黄毛多く、他節黒色、黄毛を粗生す。脚に白紋あり。體長四分二厘。これは花上に普通なり。分布 樺太、歐洲。(三〇)

クロハナアブ

Eristalis ocularius Coq. (三一)

體黒色。複眼赤褐色、紫褐色の小紋を散在す。顔黒褐色、銀光を放つ。觸角下方に黒色の一突起あ



り。觸角は黒褐、第三節の下方は黄色。胸背は黒色、灰白の五縦條を具へ、暗褐色を装ふ。翅透明。平均根黄白。腹背の基部は黄白。脚光澤ある黒色、黄紋あり。體長三分内外。これは中國地方に普通なり。菊科植物の花上に多し。

分布 本州、九州。

オキナハハナアブ

Eristalis okinawensis Mats.

(三二)



體淡黄褐。頭頂暗褐。顔に黄白及び暗褐色を混生す。複眼に褐色多し。胸背は灰黄四黒條を装ひ、暗黄毛を有す。平均根黄白。翅は透明。第二及び三腹節後縁並に第四節の中葉並に第五節の中央帯は暗褐、第四節の後縁並に第五節は黒褐。脚に黄白紋あり。體長四分五厘内外。これは沖縄に普通なり。

分布 沖縄。

カラフトハナアブ

Eristalis scabalinensis Mats.

(三三)



體灰褐。顔灰白、同色毛を密生す。觸角は褐色。胸背に暗色の三條あり、黄褐色多し。稜狀部灰黄、後縁に灰白毛を混ず。平均根黄色。翅透明、中央に暗褐色紋あり。腹黒褐、第一節灰色、第二乃至第四節の後縁は黄褐、その前縁は更に灰色、暗褐色を装ひ、第一節、各節の後縁並に兩側に黄白毛あり。脚黒色。體長四分内外。これは織形科植物の花上に普通なり。

分布 樺太。

ハナアブ

Eristalis tonax L.

(三四)

體黒褐。翅透明、中央に淡き黄褐紋あり。第二腹節の兩端にある三角紋、第三節兩側の基部にある横紋並に各節の後縁は黄色。脚褐色。體長五分内外。春夏秋を通じて花上に普通なる種類にして、其性遊蕩なり。幼蟲は汚水及び糞尿中に生息し、俗にオナガウジと稱す。



分布 世界共有。

ルリハナアブ

Eristalis viridis Coq.

(三五)



體黒綠色、腹部少しく増殖色を帯ぶ。頭は灰白。頭頂に黒線條を具ふ。顔の突起は黒色。觸角黄色。前胸背に四黒線條あり。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。平均根灰白。第

二腹節に工字形の黒紋あり。脚黒色、脛節の基部黄白、跗節の基部黄褐。體長三分内外。本州にては花上に普通種なるも北海道には産せず。

分布 本州、九州。

タイワンハナアブ

Eristalodes kohusi Meji.

(三六)



體灰白色。顔の突起黒色。觸角黄色。胸背に四



黒線條を装ふ。稜狀部暗黄、光澤あり。翅白色、透明。平均根黄白。腹黄色乃至淡黄褐、各節後縁は黒色。雄の第二及び三腹節兩側に黄褐の圓紋を有す。脚暗褐、黄紋を具ふ。體長三分五厘内外。これは臺灣に普通なり。花上に捕へ得べし。

分布 臺灣、瓜哇。

マドヒラタアブ

Emmerus japonicus Mats.

(三七)

體光澤ある黒色、少しく綠色を帯ぶ。觸角黄色。顔に白毛を装ふ。胸背に黄白毛あり。翅透明



縁紋黄白、不透明、腹暗褐。第二腹節の兩側には稜形の黄紋を具へ、第三節には楕圓紋あり、腹面黄色。脚黒褐、黄色部あり。體長二分五厘内外。これは京都地方にて花上に捕へ得べきも少なし。

分布 本州(京都)。

オキナハマドヒラタアブ

Emmerus okinawensis Mats.

(三八)



體藍色、金屬性の光澤あり。顔に黄色毛を装ひ、複眼に黄色の細毛を有す。觸角は橙黄色。端刺黒色。胸に黄褐毛を生じ、稜狀部に灰黄毛を装ふ。腹部黒色、第二及び三節に各一白紋を有し、腹部の兩縁は青色を帯ぶ。脛節太く、黒色、脛節黄色、末端に黒環あり。跗節黄色、基部に褐色環を有す。翅透明。平均根黄色。體長二分五厘内外。これは沖縄に産す

るも少なし。

分布 沖縄。

ハビジマハナアブ

Emmerus strigatus Fall.

(三九)



體黒綠、銅色の光澤あり。顔に灰白毛、頭頂に褐毛を有す。觸角黒色、第三節大。口吻黄褐。眼に白毛を粗生す。胸背に四暗褐條を具へ、黄褐の短毛多し。平均根黄白。翅透明、灰色を帯ぶ。腹部に黒色の短毛を装ひ、斑紋は暗色、これに灰白毛を密生し、又第四節の後半にも同色毛多し。脚に黄褐紋を具へ、後脛節太し。體長二分七厘内外。これは札幌地方に産するも少なし。

分布 北海道、本州、九州、歐洲、北米。

シロスチナガハナアブ

Emmoptona freyguense Mats.

(四〇)

體黒色。顔黄白、細様の光澤あり。觸角黄褐。頭の周圍は白色。胸背の前縁角に各一個の白瘤紋を装へ、その後方に一字形の白紋あり。胸側